

講義内容 2007

医療健康科学部

全 学 共 通 科 目	宗教教育
	人文分野 社会分野 自然分野 総合分野
	外国語 保健体育
	専門教育 科目
	日本語 日本事情

講 義 内 容

目 次

I	全学共通科目	9
	1 宗教教育科目	9
	2 教養教育科目	25
	(1) 人文分野	25
	(2) 社会分野	53
	(3) 自然分野	86
	(4) 総合分野	95
	3 外国語科目	107
	4 保健体育科目	151
II	専門教育科目	171
III	「日本語」・「日本事情」科目	237

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗 教 教 育 科 目

1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	放1必	通年	4	奥野 光賢	9
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	吉津 宜英	10
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	下室 覚道	11
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	松田 陽志	11
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	晴山 俊英	12
文化と宗教	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	通年	4	佐藤 憲昭	13
社会と宗教	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	通年	4	矢野 秀武	14
自然と宗教	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	通年	4	小川 順敬	14
坐禅	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	半期	2	佐藤 秀孝 熊本 英人	15

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	放1必				
担当者名	おくの みつよし 奥野 光賢				

講義のねらい

本学は仏教の教義、中でも曹洞宗の教えを建学の理念とする私立大学である。したがって、この講座が開講されている意義をまずしっかりと認識してもらいたい。講義は、仏教の基本的教義と歴史の解説を中心とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、下記に指定する教科書によって進める。教科書に入る前に、宗教学上における仏教の位置など基本的事項について概説する。

(前期)

- (1～2) 信教の自由について
- (3～4) 宗教の分類
- (5～6) さまざまな宗教
- (7～9) 仏教の誕生—釈尊の伝記
- (10～12) 釈尊の説いた道—四諦・八正道
- (13) 前期のまとめ

(後期)

- (14～15) 戒・定・慧、戒と律
- (16～17) 仏教の流れ—原始仏教・部派仏教・大乘仏教
- (18～19) 小乗仏教と大乘仏教
- (20～21) 大乘仏教の教え—六波羅蜜
- (22～23) 四摂法・四無量心について
- (24～25) 曹洞宗の歴史と教えについて
- (26) 後期のまとめ

履修上の留意点

受講者の人数の関係上、授業は講義方式で進める。但し、一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。授業においてくわしく触れることになるが、この授業はけっして宗教として「仏教」の信仰を勧める授業ではない。その点くれぐれも誤解のないようにして欲しい。なお、授業中の私語、携帯電話の受信等は厳禁とする。指示を守れない人は退出させるので、あらかじめ留意しておいて欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。試験は教科書・参考書等の持ち込みを不可とする。

教科書

松本史朗『仏教への道』(東京書籍) 定価1,400円(税別)を教科書とする。その他、プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

「医療健康科学部」という性格に鑑み、時間的余裕があれば、「安楽死」「尊厳死」といった問題等についても考察してみたいと思う。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	吉津 ^{よしず} 宜英 ^{よしひで}				

講義のねらい

まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどんなイメージを抱き、どんな意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もありましょう。これまで宗教に無関心な人や、宗教批判者もありましょう。私は宗教に対して肯定的な人にも、否定的な方にもまず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、また多くの神々を信仰したり、仏教のように仏を重んじるものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義ではまず宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起き、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると公共の福祉に反する社会的問題も引き起こします。講義全体としては仏教を含めた宗教の功罪両面を考察してゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会や世界の様々な問題を取り上げます。新霊性運動(new spirituality movement)という新しい宗教運動にも注目します。また靖国神社問題を始めとする政教分離の課題、宗教原理主義の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、クローン人間の問題、遺伝子工学と宗教倫理などのテーマを順次取り上げていきます。毎回、あるタイトルを掲げて講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいものです。

成績評価の方法

毎回出席を取ります。年間2、3回課題の提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しません。できるだけ参考資料としてプリントを配布します

参考書等

講義の中で随時参考図書を紹介します。

その他

私が講義中であっても挙手して質問や意見を述べて下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ時は退場を要請します。講義開始時間から30分過ぎていたら教場に入らないで下さい。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	下室 覚道 <small>しもむろ かくどう</small>				

講義のねらい

日本は仏教国といわれるが、どれほどの人が仏教について理解しているであろうか。本講義では、仏教の開祖である釈尊の生涯や基本的な教え、そして仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えていきたい。また、仏教と現代社会のさまざまな問題についても考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教え、仏教の伝播について学んでいく。特に伝播過程において日本の曹洞宗の開祖である道元禪師についてはより細かく取り上げていきたい。また、仏教と現代社会の問題においては、臓器移植や人権の問題に関して随時紹介していきたい。

成績評価の方法

授業の出席状況、レポート、年度末試験により評価する。

教科書

プリントを随時配布する。

参考書等

松尾剛次『仏教入門』（岩波ジュニア新書）
水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	松田 陽志 <small>まつだ ようし</small>				

講義のねらい

本学が建学の理念とする仏教・禅の考え方について講義する。インドに生まれた仏教はアジア各地にさまざまに変容しながら伝えられた。釈尊（釈迦牟尼世尊）の生涯を仏伝（釈尊の伝記）の記述などによってたどりながら、インドのヒンドゥー文化圏の中で、釈尊の抱えた課題とその説き示した初期仏教の内容を捉えることで、われわれが身近に感ずる仏教の性格との違いについて考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に本学が禅・曹洞宗を母胎として創立されたことを歴史的に概観したあと、釈尊の生涯を仏伝の記述によって理解する。釈尊以後の仏教教団によってまとめられる仏伝が、釈尊の教えの独自性を、釈尊の生涯を記述するなかでどのように表現しようとしたのかを、具体的に検討する。特に釈尊の生きたインドのヒンドゥー教の性格や、その中で釈尊自身が何を求めて出家し、成道において何をさとり、伝道の旅の中で人々に対しておこなった説法の意義について考える。またインドを離れ中国・日本へと伝えられた仏教がどのようにその教えを展開・変容させていったのかについても講義する。

履修上の留意点

インドの宗教風土の中で釈尊の求めたものと、現在の日本や中国での仏教（大乘仏教）のとりえ方に違いがあることを踏まえ、講義を通じて自分が考える「仏教」がどのような性格を持っているのかということを考えてもらいたい。

成績評価の方法

毎回の出席点に加えて、前期末のレポートと年度末試験によって評価する。

教科書

特に指定しない。配布プリントにしたがって講義する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB 除く）234年				
担当者名	はれやま しゆんえい 晴山 俊英				

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

教科書

特になし。板書が中心となる。

参考書等

授業において必要があれば適宜指示する。

その他

試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしません。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

科目名	文化と宗教	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選				
担当者名	<small>さとう のりあき</small> 佐藤 憲昭				

講義のねらい

私たちは自分の好みに合わせて、例えば、服装の色を選択しているが、冠婚葬祭などにおいては当該社会に伝承され、社会で期待されている色彩の服装を身につけるのがふつうである。色彩の問題は服装ばかりではなく、多方面に及んでいる。しかも色彩の象徴的意味は、民族が異なると正反対の意味をもつなど、決して人類に普遍的なものではない。この講座では、内外の事例を紹介しながら、カラー・シンボリズムとその周辺の諸問題に焦点を合せて考察し、「文化と宗教」の問題に接近してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。
 1. 人類学の視点と方法、2. 文化の概念、3. 文化の特質と機能、4. 文化と社会構造、
 5. 文化人類学・民俗学における色彩の研究小史、6. 通過儀礼におけるカラー・シンボリズムとその周辺の諸問題、7. 仏教儀礼におけるカラー・シンボリズムとその周辺の諸問題、
 8. 王権のカラー・シンボリズム、9. 宗教的職能者のカラー・シンボリズム、10. 総括。

履修上の留意点

ときどき出席をとるので、欠席をする場合（または出席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。なお、不合格の場合には、出席点とレポート点（4年生のみ該当）を加算して最終評価を行う。4年生のみの提出レポートは、次の通りである。【課題】教科書を読み、その感想文を作成する。【字数】2000字。【提出先と時期】12月までの授業時に随時受けつける。【その他】ワープロ作成可。ただし、授業時以外は受理しない。4年生は必ず提出のこと。

教科書

佐々木宏幹『神と仏と日本人――宗教人類学の構想――』（吉川弘文館）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	社会と宗教	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選				
担当者名	やの ひでたけ 矢野 秀武				

講義のねらい

宗教は、心の次元の事柄であり、深い精神性に関わり、また言い尽くしがたい個々人の思いや人生と密接なつながりをもっている。しかし、それらの信仰心や宗教活動は、特定の時代や地域、あるいは性差による違いなど、社会的・文化的な影響を帯びているものでもある。さらに、宗教思想や宗教活動が、社会に何らかの影響を及ぼすこともある。本講義では、このような宗教と社会との様々な関わりについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はおもに、宗教集団の形成や変容の過程、カルト問題、現代文化における儀礼・祭礼や精霊信仰などをとりあげ、宗教社会学と宗教人類学に関わる基礎知識を学ぶ。後期は、戦争やテロリズムなどの社会的暴力、ナショナリズム、民主主義、法律、教育、福祉活動といったテーマと宗教の接点を取りあげ、宗教が私的な信仰心の側面だけではなく、社会一般の制度と関わる公的側面を持っている点について解説する。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名	自然と宗教	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選				
担当者名	おがわ としゆき 小川 順敬				

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとどなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拝の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。
この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価は原則として、年2、3回の「小レポート試験」と年度末の筆記試験により行います。なお小レポートとは別に、夏期休暇前に「夏期レポート」課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	坐禅	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴史外考社福心経商現営A放選				
担当者名	<small>さとう しゅうこう くまもと えいじん</small> 佐藤 秀孝・熊本 英人				

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思ひ、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積み重ね、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵一坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。特に、最初の3回は作法の説明がありますので必ず出席してください。また、まじめに授業を受けられることを要望します。事前登録科目ですので、他の受講希望者の迷惑となりますから、カラ登録や受講途中放棄はやめてください。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅一講本一』(更生社) 2,226円

2. 教 養 教 育 科 目

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
文学【1〔日本文学「古典」〕】	放選	通年	4	八島 由香	25
文学【2〔日本文学「近代」〕】	放選	通年	4	川島 淳史	26
文学【3〔日本文学「古典」〕】	放選	通年	4	佐原 作美	26
文学【4〔日本文学「古典」〕】	放選	通年	4	坂口 博規	27
文学【5〔日本文学「近代」〕】	放選	通年	4	石割 透	28
文学【6〔日本文学「近代」〕】	放選	通年	4	松田 直行	29
文学【7〔日本のことば〕】	放選	通年	4	萩原 義雄	30
文学【9〔外国文学「ラテンアメリカ文学」〕】	放選	通年	4	真下 祐一	31
文学【10〔日本文学「古典」〕】	放選	通年	4	藺部 幹生	31
文学【12〔日本文学「近代」〕】	放選	通年	4	小林 治	32
文学【1〔日本文学「古典」〕】 －フレックスB開講－	経A法A営A放選	通年	4	田中 伸作	32
文学【2〔日本文学「近代」〕】 －フレックスB開講－	経A法A営A放選	通年	4	中西 亮太	33
文学【3〔日本文学「古典」〕】 －フレックスB開講－	経A法A営A放選	通年	4	伴野 英一	33
論理学 【1〔科学方法論と現代論理学〕】	放選	通年	4	鈴木 聡	34
論理学 【2〔科学方法論と現代論理学〕】	放選	通年	4	山口 祐弘	35
論理学 【3〔科学方法論と現代論理学〕】	放選	通年	4	河谷 淳	36
論理学 【4〔科学方法論と現代論理学〕】	放選	通年	4	滝口 清栄	36
論理学【5〔知の技法〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	伊古田 理	37
論理学 【6〔科学方法論と現代論理学〕】	放選	通年	4	鈴木 聡	38
論理学【7〔知の技法〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	植野 公稔	39
論理学【〔科学方法論と現代論理学〕】 －フレックスB開講－	経A法A営A放選	通年	4	伊古田 理	39
論理学【〔科学方法論と現代論理学〕】 －フレックスB開講－	経A法A営A放選	通年	4	麻生 享志	40

倫理学【1〔人間観〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	古田 知章	41
倫理学【2〔応用倫理学〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	黒崎 剛	42
倫理学【3〔価値観〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	滝沢 正之	43
倫理学【4〔応用倫理学〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	麻生 享志	44
倫理学【5〔制度とモラル〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	滝口 清栄	45
倫理学【6〔東洋倫理〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	末木 恭彦	45
倫理学【7〔応用倫理学〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	黒崎 剛	46
宗教学【1〔比較宗教文化〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	池上 良正	47
宗教学【2〔聖と俗〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	田中 かの子	48
宗教学【3〔世界観と儀礼〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	小川 順敬	49
宗教学【4〔日本人の宗教〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	矢野 秀武	49
宗教学【5〔生活と宗教〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	菅原 壽清	50
宗教学【6〔民俗宗教の諸相〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	浅川 泰宏	51
宗教学【〔比較宗教文化〕 －フレックスB開講－	経A法A営A放選	通年	4	田中 かの子	52

(2) 社会分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会学 【1〔現代社会を考える〕】	放選	通年	4	呉 炳三	53
社会学 【2〔現代社会を考える〕】	放選	通年	4	呉 炳三	54
社会学 【3〔現代文化を考える〕】	放選	通年	4	呉 炳三	55
社会学 【4〔現代文化を考える〕】	放選	通年	4	呉 炳三	56
社会学 【5〔社会生活を考える〕】	放選	通年	4	小畑 和	57
社会学 【6〔社会生活を考える〕】	放選	通年	4	呉 炳三	58
社会学【〔現代社会を考える〕】 －フレックスB開講－	経A法A営A放選	通年	4	呉 炳三	59
社会学【〔現代文化を考える〕】 －フレックスB開講－	経A法A営A放選	通年	4	橋爪 敏	60
文化人類学【1〔文化と人間〕】	放選	通年	4	森 雅文	61
文化人類学【2〔文化と人間〕】	放選	通年	4	加藤 之晴	62
文化人類学 【3〔諸民族とコスモロジー〕】	放選	通年	4	杉井 純一	63
文化人類学 【4〔諸民族とコスモロジー〕】	放選	通年	4	矢野 秀武	64
文化人類学 【5〔諸民族とコスモロジー〕】	放選	通年	4	鈴木 一馨	65
文化人類学 【6〔社会変化と価値観〕】	放選	通年	4	小川 順敬	66
文化人類学 【7〔社会変化と価値観〕】	放選	通年	4	内山 明子	67
文化人類学 【8〔社会変化と価値観〕】	放選	通年	4	内山 明子	68
文化人類学【〔文化と人間〕】 －フレックスB開講－	経A法A営A放選	通年	4	川上 新二	68
文化人類学 【〔諸民族とコスモロジー〕】 －フレックスB開講－	経A法A営A放選	通年	4	杉井 純一	69
法学・憲法 【1〔法と社会生活〕】	放選	通年	4	長谷川 日出世	70
法学・憲法 【2〔法と社会生活〕】	放選	通年	4	和知 恵一	71
法学・憲法 【3〔法と社会生活〕】	放選	通年	4	沼田 雅之	72

法学・憲法 【4〔法と社会生活〕】	放選	通年	4	鶏徳 啓登	73
法学・憲法【5〔法と権利〕】	放選	通年	4	沼田 雅之	74
法学・憲法【7〔法と国家〕】	放選	通年	4	新田 浩司	75
法学・憲法【8〔法と国家〕】	放選	通年	4	新田 浩司	76
法学・憲法【10〔法と国家〕】	放選	通年	4	織田 晃子	77
法学・憲法【11〔法と権利〕】	放選	通年	4	茂野 隆晴	78
法学・憲法【12〔法と権利〕】	全学科（フレB除く）選	夏季集中	4	池田 実	79
法学・憲法【〔法と権利〕】 －フレックスB開講－	経A法A営A放選	通年	4	鶏徳 啓登	80
法学・憲法【〔法と社会生活〕】 －フレックスB開講－	経A法A営A放選	通年	4	長谷川 日出世	81
経済学 【1〔現代社会と市場経済〕】	放選	通年	4	畠中 貴	81
経済学 【2〔現代経済と人間〕】	放選	通年	4	森田 成也	82
経済学 【3〔現代経済理解へのガイド〕】	放選	通年	4	佐藤 綾野	83
経済学 【4〔現代経済理解へのガイド〕】	放選	通年	4	佐藤 綾野	84
経済学【〔現代経済と人間〕】 －フレックスB開講－	経A法A放選	通年	4	沼田 郷	85

(3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
基礎数学	放1必	半期	2	熊坂 さつき	86
基礎物理学	放1必	半期	2	佐藤 昌憲 北沢 日出男	87
基礎化学	放1必	通年	2	原田 和正	87
生命科学	放1選必	半期	1	清水 善和	88
情報処理技術	放1選必	半期	1	近藤 啓介	89
物理学序論	放1選必	半期	1	佐藤 昌憲 北沢 日出男	90
化学序論	放1選必	半期	1	山本 裕右	91
科学基礎論	放1選必	半期	1	熊坂 さつき	91
科学基礎論	放1選必	半期	1	佐藤 昌憲	92
科学基礎論	放1選必	半期	1	瀬尾 育式	92
科学基礎論	放1選必	半期	1	原田 和正	93
科学基礎論	放1選必	半期	1	氏家 盛通	93
科学基礎論	放1選必	半期	1	吉川 宏起	94

(4) 総合分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
総合III 【1〔人権と社会問題〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	ピアス、D. M.	95
総合III 【2〔欧米の教育と日本の教育〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	岡崎 寿一郎	96
総合III 【3〔フランス現代文化史〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	桑田 禮彰	97
総合IV 【1〔現代アメリカ事情〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	林 明人	97
総合IV 【2〔シアトル市のNPOとまちづくり〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	西村 祐子	98
総合IV 【3〔ポスト・モダンの世界〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	丸小 哲雄	99

科目名	文学【1〔日本文学「古典」〕】	開講	通年	単位	4
担当	放選				
担当者名	八島 ^{やしま} 由香 ^{ゆか}				

講義のねらい

『堤中納言物語』を〈読む〉

講義の内容・
授業スケジュール

『堤中納言物語』は、十編の短い物語と一つの断章からなる、短編物語集です。これらの物語は、全体が短く展開がリズムカルなため、さほど長い時間をかけることなく読み終えることができる“やさしい物語”だということが出来ます。しかしその反面、短編であるがゆえの簡略化された無駄のない物語展開には、物語文学における様々なパターンが踏襲され、多くの表現技法が駆使されている“むずかしい物語”でもあるのです。そのため、できる限り多くの先行する物語の用例を提示することによってパターンや表現技法を学び、当時の社会の習慣や風俗をふまえながらひとつひとつの物語を丁寧に読み解くことで、『堤中納言物語』を“やさしく”なおかつ“むずかしく”〈読む〉、これを講義の目的とします。

このように、一編ずつ時間をかけて〈読む〉ため、『堤中納言物語』におさめられているすべての物語を〈読む〉ことは出来ないかもしれませんが、できるかぎり多くの物語と向き合っていきたいと考えています。

履修上の留意点

出席に関して。出席数が年間を通じて講義数の三分の二に達しない場合、単位を認定しません。また、講義開始時間から二十分以上の遅刻は遅刻と認めませんので、二十分以上遅れた状況で教場に入室することは許しません。二十分以内の遅刻は二回で欠席一回と数え、遅刻が前・後期各五回を数えた時点で単位を認定しません。事前に届け出があり、なおかつその理由が認めうる早退に関しては、遅刻同様の扱いとします。

私語に関して。あまりにもはなはだしく、他の受講生に対して迷惑だと判断した場合、講義内であろうとも教場から退出していただきます。その場合の出席並びに遅刻は認めず、欠席扱いとします。

成績評価の方法

レポートと出席状況によって評価します。また、講義内に小レポートで感想・意見を求めることもあります。こちらは評価の対象ではありません。

教科書

大槻修校注 『堤中納言物語』（岩波文庫） 460円

参考書等

適宜、教場で指示します。

その他

教科書に関して。教科書を用いての講義形式のため、必ず教科書を購入し、講義に持参して下さい。また、必要に応じてプリントを配布いたします。

初回の講義（ガイダンス）に関して。初回は講義内容や評価方法の説明をするガイダンスのため、二回目の講義から出席をとります。ただし、講義内容や評価方法、並びに履修上の留意点（出席）などの詳しい説明は、以後繰り返しての説明はいたしません。

受講を希望する四年生に関して。上記の「履修上の留意点」で述べた出席とは別に単位に関する説明があります。これも初回のガイダンスで説明をします。

科目名	文学【2〔日本文学「近代」〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	川島 ^{かわしま} 淳史 ^{あつし}				

講義のねらい

日本の近代文学はどのように成立し、発展していったのか。明治二十年代から四十年代までの時代状況を見据えつつ、近代文学の成立過程を考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、森鷗外・樋口一葉・泉鏡花・広津柳浪・内田魯庵・徳富蘆花・夏目漱石などの作品を取り上げ、考察する。

履修上の留意点

予告された作品は必ず読んでおくこと。講義の終わりに短い感想文を書いてもらうこともある。

成績評価の方法

レポート・出席状況・小テストなどによって評価する。欠席が三分の一に達した者は、いかなる理由があろうとも単位は認定しない。

教科書

必要に応じてプリントなどを配布するが、文庫本などの入手しやすいものは各自購入してもらう。

参考書等

その都度、講義の中で指示する。

科目名	文学【3〔日本文学「古典」〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	佐原 ^{さはら} 作美 ^{さくみ}				

講義のねらい

古来日本人の間で最もよく知られ、親しまれて来た昔話に「かぐや姫」の話がある。これは言うまでもなく『竹取物語』がもとになっているものであるが、授業ではこの『竹取物語』読みながらそこに見られる日本人の心性や思想の有りようなどを探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

『竹取物語』の全文を最初から鑑賞しながら読んでいく。その際登場人物の心理やその動向などを見ながら、今日的な意味あいもあわせ考えていきたい。また、『万葉集』や『風土記』や『今昔物語集』などに見られる関連説話をも目を通していきたい。

履修上の留意点

作品を味読することが大切なので何度も繰り返し読んでほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席（重視）などを見て総合的に評価する。

教科書

野口元大校注、日本古典集成『竹取物語』、新潮社刊、定価2625円

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	文学【4〔日本文学「古典」〕】	開講	通年	単位	4
担当	放選				
担当者名	さかぐち ひろき 坂口 博規				

講義のねらい

平安末期の歌人西行法師の作品を考察し、西行が中世精神の開拓者と評価される由縁を講じる。西行は真言僧であり、その宗教意識や宗教活動が和歌に如何に表現されているかを考え、また西行は「花月の歌人」と評されるが、その耽美的精神は日本の美意識の基調をなしている点も考えたい。西行という一人の歌人の作品や人間像を通して、和歌・説話・修験道・真言教理・無常観・漂泊の旅等々をキーワードに、日本文学の特質を多方面から考察したい。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに西行の生涯を概説（1～10）し、その宗教意識や活動を考察（11～15）、西行は後世の遁世者の理想と仰がれる由縁を考える（16～18）。また西行の花月への愛着、漂泊の旅人の精神や人間像は、後世芭蕉をはじめとして多くの歌人・俳人たちの傾倒するところであり、そこに日本文学の伝統を形成することにも言及する（19～25）。

履修上の留意点

授業は適宜配布するプリント教材により講義形式で行う。レポート作成の資料となるものであるから出席に努めてほしい。

成績評価の方法

定期試験時にレポートを提出してもらい、その成績に出席点を加味して評価する。

教科書

授業において適宜プリントを配布する。

参考書等

教授において適宜紹介する。

科目名	文学【5〔日本文学「近代」〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	いしわりとおる 石割 透				

講義のねらい

<秘密><人工空間><変身>をめぐって－日本近代文学における－
日本近代文学において、特に明治三十年代以後の作品を対象にして、個々の人間の内に潜む<秘密>、夢想される人工楽園、理想郷、人工庭園、また<ドッペルゲンガー>、女性の<男装>、<変身>、<模造人間>の表象のもつ意味を考えていき、その奥に潜む時代の問題を検討していく。扱う作品は、島崎藤村「破戒」、田山花袋「蒲団」、谷崎潤一郎「刺青」、永井荷風「地獄の花」「闇の叫び」、島崎藤村「旧主人」、谷崎潤一郎「秘密」、芥川龍之介「鼻」「開化の殺人」「奉教人の死」「庭」「河童」「二つの手紙」、他菊池幽芳、江戸川乱歩などを自由に絡めて検討していき、日本近代の問題を浮きあがらせていく。

講義の内容・授業スケジュール

個人を自覚することとは、個人の内なる<秘密>を自覚することであるとの前提をもとに、まず、日露戦争前後の日本文学を検討していく。谷崎潤一郎「刺青」あたりから始め、前期は「みだれ髪」「乳姉妹」「地獄の花」から「破戒」「蒲団」「秘密」。後期に人工庭園、ドッペルゲンガーなどについての作品をとりあげていく予定。「幫間」「二つの手紙」「奉教人の死」「金色の死」「パノラマ島奇譚」など

履修上の留意点

前もって、その授業で扱かう内外の作品をできるだけ読んで授業にのぞむこと。図書館などに積極的に足を運ぶように。

成績評価の方法

年2、3回のレポート提出。出席状況を重視する。

教科書

特に指示しないが、扱うほとんどの作品は、文庫本で読める。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式で進める。プリントなどは必要な際に、その都度準備する。

科目名	文学【6〔日本文学「近代」〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	松田 ^{まつだ} 直行 ^{なおゆき}				

講義のねらい

現代作家の小説を題材として、小説の〈いま〉を読み解き、また小説から〈いま〉を読み解く。自由な解釈を許されたテキストとして小説をとらえ、いくつかのキーワード（テーマ）を設定して、多様な読解の可能性を探る。教養教育科目なので、専門的な文学研究よりも「たくさん読んでたくさん書く」を目標に、受講者が各自の興味に応じて調べ、考え、感じることができるよう配慮したい。授業時間以外に相応な時間を必要とする科目になるので、それを楽しむことのできる学生の受講を望む。

 講義の内容・
授業スケジュール

キーワード（テーマ）は以下の通り。(1)「ケータイ」、(2)「お笑い」、(3)「公園」、(4)「世田谷」、(5)「家族」、(6)「1970年代」、(7)「心の病気」。

履修上の留意点

作品は日程を定めて各自で事前に読んでくるように指示する。日程は授業で随時指示するが、欠席した場合などはインターネットの講義内容KOMSYの詳細情報表示で確認するように。作品を読んでいるかを確認するために、授業の最初に作品内容に関する小テストを行い、それが合格点に満たない場合は出席として認めない。

成績評価の方法

定期試験は行わず、授業の中で実施する小テストやレポート課題、選択制の研究課題などをポイント制にして加算し、出席状況も考慮して採点する。

教科書

購入の便宜を考えて、授業で取り上げる以下の作品をすべて文庫本で教科書として指定しておく。山本幸久『笑う招き猫』集英社文庫¥580、伊藤たかみ『アンダー・マイ・サム』講談社文庫¥560、吉田修一『パーク・ライフ』文春文庫¥410、村山由佳『天使の卵ーエンジェルス・エッグ』集英社文庫¥410、長嶋有『猛スピードで母は』文春文庫¥400、村上春樹『風の歌を聴け』講談社文庫¥400、村上春樹『ノルウェイの森』講談社文庫〈上・下〉各¥540、新潮社編『空を飛ぶ恋ーケータイがつなぐ28の物語』新潮文庫¥420。

科目名	文学【7〔日本のことば〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	萩原 義雄 <small>はぎはら よしお</small>				

講義のねらい

広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかずにいたことを含めて、自身の教養をより高めていくことを目標に進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
国語・国文学作品に於ける研究とその展開
- 02の講義内容 和語と漢語
- 03の講義内容 漢字教育にみる日本語(「常用漢字表」の行方)
- 04の講義内容 国語辞書(近代国語辞書、大槻文彦編『大言海』)
- 05の講義内容 漢和辞書(近代漢和辞書、諸橋轍次編『大漢和辞典』)
- 07の講義内容 地名辞書(近代地名辞書、吉田東吾編『大日本地名辞書』)
- 08の講義内容 植物辞書(近代植物辞書、牧野富太郎編『日本植物大辞典』)
- 09の講義内容 和英辞書(近代英和辞書、ヘボン『和英語林集成』)
- 10の講義内容 明治近代語の研究、雑誌『太陽』を読む
- 11の講義内容 大正近代語の研究、芥川龍之介著作集を読む
- 12の講義内容 昭和現代語の研究、井上靖著作集を読む
- 13の講義内容 平成現代語の研究、村上春樹著作集を読む
- 14の講義内容 「パロディ」化の作品とは
- 15の講義内容 絵本と言語
- 16の講義内容 漫画・アニメにみることばの言語表現
- 17の講義内容 書道と言語(唐顔真卿と明朝体文字)
- 18の講義内容 文字遊び(回文・逆きことば・しりとり等)
- 19の講義内容 文字の不思議さ(漢字=正字・通俗字、増画と省画、欠字=『干禄字書』、かな(誕生と広がり)、ローマ字)
- 20の講義内容 豊富な語彙を学ぼう(『分類語彙表』)
- 21の講義内容 文法はグラグラと揺れている
- 22の講義内容 文章体の特徴を知ろう
- 23の講義内容 音韻を響きと弾み
- 24の講義内容 共通語と方言語はどう変容していくのか
- 25の講義内容 日本語の系統
- 26の講義内容 言語生活からみた新聞記事・雑誌
- 27の講義内容 愈々、独り立ち

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう!また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

(4) 成績評価方法

月毎に上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し内容を発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご知願います。

教科書

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	文学【9〔外国文学「ラテンアメリカ文学」〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	ましも ゆういち 真下 祐一				

講義のねらい

アルゼンチンのホルヘ・ルイス・ボルヘス、メキシコのオクタビオ・パス、チリのパブロ・ネルーダといった20世紀のイスパノアメリカ文学を代表する詩人たちの作品、文学論、文化・文明論を中心に現代スペイン語圏の文学を紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主にパス、後期はボルヘスをとりあげます。

履修上の留意点

講義だけでなくグループ発表も行う予定です。

成績評価の方法

授業への出席と試験あるいはレポートによって評価します。

教科書

オクタビオ・パス『弓と豎琴』ちくま学芸文庫

科目名	文学【10〔日本文学「古典」〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	そのへ みきお 菌部 幹生				

講義のねらい

日本の古典文学の中から、『世継物語』を講読する。『世継物語』は、全56話の短い説話集であるが、大和物語・枕草子・栄花物語・古本説話集などとの共通説話を多く含み、中古から中世をつなぐ古典文学の世界を考えるうえで有用な作品である。この作品の講読を通して、時代の価値観の変遷や文学作品のあり方を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 古典文学史。3 説話文学の変遷。5～24 『世継物語』の講読。25 教場試験。26 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達(該当者・テーマ・提出期限等)を行うので必ず出席すること。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	文学【12〔日本文学「近代」〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	小林 <small>こばやし</small> 治 <small>おさむ</small>				

講義のねらい

優れた文学作品の条件とは何だろうか。一例としてリアリティを挙げても、現実を写してありのままらしく見えるものほど実はリアルではなく、技巧によってそれらしく仮装された規範にすぎないことも多い。このような文学特有の陥穽を見通す視点から、文学について再考することを試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

対象に予定している作家は、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄、ルポルタージュ文学の先駆者としての上野英信である。主に教科書と配布プリントを使用する。

履修上の留意点

具体的上記の作家の作品を読んでいく中で、文学作品という現象を通じて見えてくるものは何か、あるいは文学が表現し得るものは何かを考えていくので、講義を受ける前にあらかじめ対象作品だけは読んでおいていただきたい。作品名の詳細は講義を進めていく中で、時々指示するが、とりあえず下記の作品と教科書で指定する作品は必読である。

安部公房『砂の女』
島尾敏雄『出孤島記』
上野英信『追われゆく坑夫たち』

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容を総合し、さらに出席状況を加味して評価する。

教科書

安部公房『R62号の発明、鉛の卵』（新潮文庫）552円
安部公房『水中都市・デンドロカカリヤ』（新潮文庫）514円

参考書等

授業時に指示する。

科目名	文学【1〔日本文学「古典」〕】 －フレックスB開講－	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選				
担当者名	田中 <small>たなか</small> 伸作 <small>しんさく</small>				

講義のねらい

軍記物語の代表として知られる『平家物語』は、平家一門をとりまく人々のドラマを実に生き生きと描き出している。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学作品であると言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。

また、史実が文学に取り込まれたとき、どのような世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化的な問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教科書

『平家物語抄』（おうふう）

科目名	文学【2〔日本文学「近代」〕】 －フレックスB開講－	開講	通年	単位	4
担当	経A法A営A放選				
担当者名	なかにし りょうた 中西 亮太				

講義のねらい

この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の歌集を読み、論じていきます。その過程で、受講者が近代短歌への理解を深めることを目指します。五句三十一文字を基本型とする短歌は、明治以降、庶民がみずからの心やみずからの体験した出来事を表現する文学ジャンルとして親しまれました。また一方で、多くの歌人は、この短い定型詩を近代文学として屹立させるべく、新しい表現世界を切り開いてきました。その両面を、この講義では見ていきます。講義で取り上げる歌を一首紹介しておきます。「野に捨てた黒い手袋も起きあがり指指に黄な花咲かせだす」（斎藤史『魚歌』）

講義の内容・授業スケジュール

取り上げる歌集は、与謝野晶子『みだれ髪』、石川啄木『一握の砂』、北原白秋『桐の花』、斎藤茂吉『赤光』、前川佐美雄『植物祭』、斎藤史『魚歌』、塚本邦雄『水葬物語』、中城ふみ子『乳房喪失』等を予定しています。授業の流れとしては、前期で明治期と大正の前半、後期で大正の後半と昭和期を扱う予定です。

履修上の留意点

当然のことではありますが、ただ出席するだけでなく、積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。

成績評価の方法

前期末と後期末に、試験を実施します。

教科書

高野公彦編『現代の短歌』（講談社学術文庫）
また、授業中、必要に応じて参考プリントを配付します。

参考書等

『短歌シリーズ・人と作品』（桜楓社）
このシリーズで、後世の研究者が書いた晶子・啄木・白秋・茂吉などの評伝や秀歌鑑賞文を読むことができます。

科目名	文学【3〔日本文学「古典」〕】 －フレックスB開講－	開講	通年	単位	4
担当	経A法A営A放選				
担当者名	ほんの ひでかず 伴野 英一				

講義の内容・授業スケジュール

いわゆる文運東漸期前後から、洒落本を中心として近世戯作文芸を概観する。実際に作品を読むことで、文芸における「滑稽」がどのように表現されるのかを考察する。また、当時の遊里風俗など、作品成立の時代的背景についても適宜触れてゆく。

履修上の留意点

欠席が三分の一に達した場合は単位不認定となる。

成績評価の方法

年度末の定期試験を主とし、出席状況、受講態度を総合的に評価する。臨時にレポートを課す場合がある。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

その都度、講義中に指示する。

科目名	論理学【1〔科学方法論と現代論理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	すずき さとる 鈴木 聡				

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことである。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容は次のものを予定している。

1. 文論理
 - (a) 文論理の意味論 (b) 文論理の統語論
2. 第一階量化論理
 - (a) 第一階量化論理の意味論 (b) 第一階量化論理の統語論
3. メタ論理
 - (a) 健全性定理の意義 (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

配布プリント

参考書等

本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→……という形式で行う。

科目名	論理学【2〔科学方法論と現代論理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	山口 祐弘 <small>やまぐち まさひろ</small>				

講義のねらい

伝統的論理学から現代記号論理学に至る論理思想を学び、正しく考え語るための方法と態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

- ①論理学とは何か ②思考の基本原則 同一律 ③矛盾律 ④排中律 ⑤充足理由律
⑥原因の探求 ⑦帰納と類推 ⑧仮説演繹法 ⑨概念の形成 ⑩カテゴリーと判断
⑪演繹推理直接推理 ⑫定言三段論法 ⑬仮言および選言三段論法 ⑭ディレンマとパ
ドクス
⑮中間テスト

後期

- ①記号論理学の発想と起源 ②命題の記号化と論理式 ③真理表とトートロジー
④標準形 ⑤公理体系 ⑥定理の演繹 ⑦公理体系の完全性と無矛盾性 ⑧命題論理学の
限界
⑨述語論理学 ⑩公理体系 ⑪伝統論理学の反省 ⑫直接推理の記号論的考察
⑬三段論法の記号論的考察 ⑭論理とことば ⑮定期試験

履修上の留意点

講義内容をよく理解し、日常の思考活動を反省しつつ論理的に考える態度を養うこと。

成績評価の方法

中間試験、定期試験の成績による。

教科書

「新しい認識への論理」山下太郎 公論社

参考書等

論理学綱要 三島新吉 内田老圃鶴新社

科目名	論理学【3（科学方法論と現代論理学）】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	かわたに あつし 河谷 淳				

講義のねらい

ゼミ発表や就職活動において自分の考えを文章や口頭で表現するような場合、そこでは一定の「流れ」が要請されている。また、友人との何気ない会話にしてみても、反省してみるならば暗黙の前提命題からの「流れ」の帰結であることに気づく場合がある。アリストテレス以来の歴史を持つ論理学とはそうした前提から結論への妥当な「流れ」（推論の形式）とはどのようなものであるのかを考える学だと言うことができる。この授業の目的は、「論理的である」とは一体どういうことなのかを考え、さらに、練習問題を解くことで様々なタイプの推論の妥当・非妥当性を判定するトレーニングをつんでもらうところにある。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。
 前期：伝統的論理
 (a) 論理学の基本概念（概念・命題・推論）
 (b) 演繹推理（定言・仮言三段論法の妥当性の判定）
 (c) 帰納推理（ミルの方法、仮説演繹法）
 (d) 虚偽論
 後期：現代論理（記号論理）入門
 (d) 命題論理（日常言語の記号化と推論の証明）
 (e) 述語論理（日常言語の記号化と推論の証明）

履修上の留意点

継続して授業に出席することは言うまでもなく、毎回の授業内容を積極的に復習することが望ましい。

成績評価の方法

前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験（40点満点×2）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

科目名	論理学【4（科学方法論と現代論理学）】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	たきぐち きよあき 滝口 清栄				

講義のねらい

私たちはさまざまな情報のうずのなかで生活している。それは身近な日常生活から社会や世界の動きにまで及んでいる。これら多岐に及ぶ情報の伝達と表現は言葉によって行なわれている。また送り手も受け手も思考を通して情報に関わっている。この渦の中で私たちは納得したり、あるいは納得しなかったりする。このように振り返るなら、私たちは言葉と思考のあり方に敏感になるのではなかろうか。ひとたびこの点について注意を払うようになると、日常生活そしてさまざまな学問的な営みの基礎として、論理学が大切なものと思えてくるであろう。本講義では、思考の基礎をしっかりとしたものとすよう、思考の諸法則を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって形式論理学に重点をおいて講義を進めていく。前期では、概念、命題、演繹推理を中心に、そして後期は機能推理、虚偽論、そして命題論理を扱う。

履修上の留意点

理解を深めるために練習問題をできるだけ多く解くように努める。出席をよくしてほしい。

成績評価の方法

年間5回の小テストで成績を出す。

教科書

山下太郎他著『新しい認識の論理』（公論社）3,200円

参考書等

講義中に紹介する。

科目名	論理学【5〔知の技法〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>				

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。
 教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）
 副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	論理学【6〔科学方法論と現代論理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	すずき さとる 鈴木 聡				

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことだからである。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は次のものを予定している。

1. 文論理
 - (a) 文論理の意味論 (b) 文論理の統語論
2. 第一階量化論理
 - (a) 第一階量化論理の意味論 (b) 第一階量化論理の統語論
3. メタ論理
 - (a) 健全性定理の意義 (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

配布プリント

参考書等

本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→……という形式で行う。

科目名	論理学【7〔知の技法〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	植野 <small>うえの きみとし</small> 公稔				

講義のねらい いま、私たちの社会生活では、論理的であることを求められる場面に出会うことが多い。本講座の目的は、こうした現状に対処できるだけの論理的思考力を受講者のみなさんが身に付けられるように、その基本練習の場を作ることにある。言葉相互の論理的な繋がりについて自覚しながら読み、考え、そして書くことができるようになるためには何が必要なのかを、毎時間、自分自身で課題に取り組みながら気づいていってほしい。なお、いわゆる現代記号論理学については、必要最小限のこと以外、扱わないものとする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に則して授業を進める。原則として、各回とも、事項に関する説明と問題練習によって授業が構成される。前期では、論理の骨格をなす接続語や指示語の適切な使い方と、首尾良く考えを展開するための推論のあり方について練習を重ねる。また後期では、演繹的な推論について練習を重ね、就職試験等でも取り上げられるような、いわゆる推理部門の問題にも対処していける力を養うことにしたい。受講人数にもよるが、できるかぎり、復習を兼ねた形の添削課題を出し、受講するみなさんの練習の質を高められるようにしたいと思う。

履修上の留意点 本講座では、受講者本人による練習が何よりも重要であるので、コンスタントに参加してほしい。問題練習での間違いを恐れる人々もいると思われるが、間違いをきっかけにしてステップアップしてってくれるのなら、本講座に関するかぎり、間違いをおかすこと自体には何ら問題はない。

成績評価の方法 事項の習熟度を確保するための中間・期末テスト、および期末に取り組んでもらう小論文課題（2000字程度）によって評価する。なお、練習が重要な講座のため、原則として、1学期につき欠席が3回を越える場合は、単位の認定ができないものとする。

教科書 野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

科目名	論理学【〔科学方法論と現代論理学〕 －フレックスB開講－	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選				
担当者名	伊古田 <small>いこた まさる</small> 理				

講義のねらい 現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。
具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール (1) 古典的三段論法 (2) 公理系I～命題論理 (3) 公理系II～述語論理 (4) コンピュータと論理

成績評価の方法 年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。
詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書 野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名	論理学【(科学方法論と現代論理学)】 －フレックスB開講－	開講	通年	単位	4
配当	経A法A堂A放選				
担当者名	あさお たかし 麻生 享志				

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで(1) 論理とは何かを考え、(2) 変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3) 日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなす、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料(60%)にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習(ないし論述筆記)。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。(ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	倫理学【1〔人間観〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	ふると ともあき 古田 知章				

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために―
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―

新しい時代の人間観

1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
2. 自己の内面性と他者の問題
3. 人格 ―ロックを手がかりに―
4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	倫理学【2〔応用倫理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	黒崎 剛 <small>くろさき つよし</small>				

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」―「価値」や「義務」、「習慣」といった―の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理―講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」―人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	倫理学【3〔価値観〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	滝沢 <small>たきざわ まさゆき</small> 正之				

講義のねらい

倫理学の基本的な考え方を紹介する。
 我々はすでに何が善いことで何が悪いことであるかをだいたい知っている。日常生活にはそれで支障はない。しかし、その善悪についての信念をあらためて反省してみると、いろいろと問題含みであることに気づく。
 そこで、ポイントごとに、それらの問題を考えていくことになる。その際、主に近世の哲学者イマヌエル・カントの倫理学を手がかりにするので、これの解説をしつつ、問題に向かうことになる。
 たとえば、道徳的な善し悪しの判断と、個人の趣味はどう関係するのか。不純な動機から（「誉められたい」など）善いことをすることをどう評価するのか。人間を殺してはいけないのに、動物を殺してもいいのか。その他もろもろ。

講義の内容・授業スケジュール

前期にカント倫理学の基本概念を解説する。それを踏まえたうえで、後期には以下のような問題を扱う予定。動物愛護の問題、人間の自由の問題、国家と道徳の問題。
 細かいスケジュールは講義中に示す。

履修上の留意点

特定の教科書を使用せず、講義が中心となる。欠席が多いと試験等が大変になるので注意されたい。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

適宜プリントを配布する予定。
 また、講義中に適宜指定する。

参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）
 また、講義中に適宜指定する。

科目名	倫理学【4〔応用倫理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	麻生 ^{あきお たかし} 享志				

講義のねらい

応用倫理は、究極的に「どう生きるか」という自分の生き方につながっていくものと考えます。（これを倫理学・哲学で”実存的”問いと呼んだりする）ですから、講義を通じて、自己の問題として興味を持ち、考えてもらう、という事を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学（理論的倫理学）の基礎から、応用倫理学の「ごく特殊なもの」まで、幅広く紹介していきます。わたくし自身の興味や人生観にも、触れていきたいと思っています。生命倫理的内容からはじまる応用倫理的話題、労働・人生の意味・交通ルール・まちづくり住環境など、多面的に考えていく予定です。

履修上の留意点

最低限の常識的なルールを守り、あとは、講義を“楽しんで”もらえたらいいと思います。

成績評価の方法

前期試験（45%）、後期レポート（レポート試験）（55%）
前期は哲学史に関わる記述問題、後期レポートは講義の感想を原稿用紙3-4枚程度を予定

教科書

久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』公論社刊（前期試験受験に必須）

参考書等

特になし

その他

初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	倫理学【5〔制度とモラル〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	滝口 清栄 <small>たきぐち きよさき</small>				

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返っておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。
こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、前期に古代ギリシアから近代初頭、後期にはそれ以降を扱う。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（前期の最終授業時）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	倫理学【6〔東洋倫理〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	末木 恭彦 <small>すえき やすひこ</small>				

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。倫理学という学問は生れなかったが、それに相当する思索は東洋の伝統思想の中に生まれていた。東洋の伝統思想がどのようにどれだけ現代の倫理に貢献するか、諸君と一緒に考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何かを講義する。その後、今年は環境と倫理の問題について考える。環境問題は現代の大きな問題である。しかし、環境の問題は既に古代から芽生えていた。中国の古代にも、環境問題をめぐる議論が行われた。その中国古代の環境をめぐる議論を顧て、現代の環境と倫理の問題にどのような貢献するか考えてみる。

履修上の留意点

ノートはしっかりと取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。

教科書

浅野裕一『中国古代の文明観』（岩波新書）

科目名	倫理学【7〔応用倫理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	くろさき つよし 黒崎 剛				

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもなつて提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理——講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	宗教学【1〔比較宗教文化〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	池上 ^{いけがみ} 良正 ^{よしまさ}				

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず近代的用語としての「宗教」が成立した過程を検討し、この用語の特性と限界を考える。近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験を行なう。

教科書

特に指定しない。

参考書等

『岩波講座・宗教』（全10巻）（岩波書店）。『エリアーズ著作集』（せりか書房）。上田閑照・柳川啓一編『宗教学のすすめ』（筑摩書房）。脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）。加藤隆『新約聖書の誕生』（講談社）。ランジュ『ユダヤ教とはなにか』（青土社）。

科目名	宗教学【2〔聖と俗〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	田中 <small>たなか</small> かのこ <small>かのこ</small>				

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながら、「宗教」を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期は、現代社会の理解に欠かせないゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」を探究する。

履修上の留意点

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

成績評価の方法

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポート。

教科書

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2006年、改版

その他

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

科目名	宗教学【3〔世界観と儀礼〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	おがわ としゆき 小川 順敬				

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なののでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずで。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価は原則として、年2、3回の「小レポート試験」と年度末の筆記試験により行います。なお小レポートとは別に、夏期休暇前に「夏期レポート」課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	宗教学【4〔日本人の宗教〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	やの ひでたけ 矢野 秀武				

講義のねらい

宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前半はおもに、日本の諸宗教の概説、冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教とその変化を中心に取り上げ、宗教人類学・宗教社会学の視点から解説を加える。後半では、宗教の思想的側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教科書

なし

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名	宗教学【5〔生活と宗教〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	すがわら としきよ 菅原 壽清				

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名	宗教学【6〔民俗宗教の諸相〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	あさかわ やすひろ 浅川 泰宏				

講義のねらい

宗教は、「人間生活の究極的な意味をあきらかにし、人間の問題の究極的な解決にかかわりをもつと、人々に信じられている営みを中心とした文化現象」（岸本秀夫）と説明されるように、あらゆる社会に存在する普遍的文化であり、同時に人間の根源的思考様式のひとつです。本講義では、現代社会およびそこに生きる個人を、「宗教」という観点からとらえ、考える力を養うことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

まず現代社会における「宗教」のすがたをデータ等から確認し、続いて、宗教学の基本的な考え方を学びます。その上で、身近な宗教的いとなみである民俗宗教に焦点をあて、「祭り」、「死者供養」、「巡礼」等のトピックを通して、「宗教」という観点から現代社会を考えるための実践的なトレーニングを行います。

履修上の留意点

講義内容についての考察を記入したコメントカードを、毎回提出していただきます。そのため、皆さんには講義を消極的・受動的に「聴く」のではなく、積極的・能動的に「理解」し、「考える」姿勢を求めます。

成績評価の方法

レポート（60点）とコメントカード（40点）によって評価します。
なお、評価にあたっては、理解力、論理的思考力、独創性を重視します。

教科書

指定しません

参考書等

棚次正和・山中弘編 2005 『宗教学入門』 ミネルヴァ書房
関一敏・大塚和夫編 2004 『宗教人類学入門』 弘文堂
井上順孝編 2005 『現代宗教事典』 弘文堂
池上良正他編 2003 『岩波講座 宗教』（全10巻）岩波書店

その他

詳細については、初回授業時のガイダンスで説明します。

科目名	宗教学【(比較宗教文化)】 －フレックスB開講－	開講	通年	単位	4
配当	経A法A堂A放選				
担当者名	田中 <small>ななか</small> かのこ <small>かのこ</small> 子				

講義のねらい

人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限りない可能性があるということを、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくしたち自身も、そのなかの、かけがえのない一通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などという、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにはかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解につながれば幸いである。

講義の内容・
授業スケジュール

講義担当者の生活体験をとまなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。

履修上の留意点

板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものにすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。仏教と他宗教との関連性に注目。

成績評価の方法

出席状況、創意・文章力・工夫の楽しみ方を評価する課題レポート。

教科書

拙著『比較宗教学－「いのち」の探究－』（北樹出版）2006年、改版

参考書等

「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。

その他

予定外の試みや受講生の要望などによっては、プログラムを変更することもあります。

科目名	社会学【1〔現代社会を考える〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	呉 炳三 <small>おびさん</small>				

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：

はじめに—社会学とは— (1)

I 行為論：(2) 社会学における行為、(3) 行為者としての個人、(4) 社会化と人間形成、(5) 日本の行為論

II 集団論：(6) 集団の概念、(7) 官僚制理論、(8) 小集団論、(9) 集団の類型、(10) 日本の集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相：

(11) 家族、(12) 恋愛、(13) 結婚、(14) 若者・IT文化、(15) 少年犯罪、(16) 自殺、

(17) ジェンダー、(18) 少子・高齢、(19) アダルトチルドレン、摂食障害、

(20) 就職、転職、リストラ、(21) フリーター、ニート、引きこもり、(22) 性同一性障害など

以上、講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参することと、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	社会学【2（現代社会を考える）】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	呉 炳三 <small>おびんさん</small>				

社会分野

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）社会学の基礎概念：

はじめに—社会学とは—（1）

I 行為論：（2）社会学における行為、（3）行為者としての個人、（4）社会化と人間形成、（5）日本の行為論

II 集団論：（6）集団の概念、（7）官僚制理論、（8）小集団論、（9）集団の類型、（10）日本的集団論

（後期）現代社会の特徴的な諸相：

（11）家族、（12）恋愛、（13）結婚、（14）若者・IT文化、（15）少年犯罪、（16）自殺、

（17）ジェンダー、（18）少子・高齢、（19）アダルトチルドレン、摂食障害、

（20）就職、転職、リストラ、（21）フリーター、ニート、引きこもり、（22）性同一性障害など

以上、講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参することと、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	社会学【3〔現代文化を考える〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	呉 炳三 <small>おひょうさん</small>				

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：

はじめに—社会学とは— (1)

I 行為論：(2) 社会学における行為、(3) 行為者としての個人、(4) 社会化と人間形成、(5) 日本の行為論

II 集団論：(6) 集団の概念、(7) 官僚制理論、(8) 小集団論、(9) 集団の類型、(10) 日本の集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相：

(11) 家族、(12) 恋愛、(13) 結婚、(14) 若者・IT文化、(15) 少年犯罪、(16) 自殺、

(17) ジェンダー、(18) 少子・高齢、(19) アダルトチルドレン、摂食障害、

(20) 就職、転職、リストラ、(21) フリーター、ニート、引きこもり、(22) 性同一性障害など

以上、講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参することと、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	社会学【4〔現代文化を考える〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	呉 <small>びよんさん</small> 炳三				

社会分野

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：

はじめに—社会学とは—(1)

I 行為論：(2) 社会学における行為、(3) 行為者としての個人、(4) 社会化と人間形成、(5) 日本的行為論

II 集団論：(6) 集団の概念、(7) 官僚制理論、(8) 小集団論、(9) 集団の類型、(10) 日本的集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相：

(11) 家族、(12) 恋愛、(13) 結婚、(14) 若者・IT文化、(15) 少年犯罪、(16) 自殺、

(17) ジェンダー、(18) 少子・高齢、(19) アダルトチルドレン、摂食障害、

(20) 就職、転職、リストラ、(21) フリーター、ニート、引きこもり、(22) 性同一性障害など

以上、講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参することと、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	社会学【5〔社会生活を考える〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	小畑 ^{おひた} 和 ^{かず}				

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出し難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的(Macroscopic)なものの方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の7つの要因について講義する。

(1) マクロ的要因(現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会(少子社会)を総合的に講義する。)

(2) 誕生に関する要因(出生・墮胎・殺児…)

(3) 幼児・子供の成長に関する要因(育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…)

(4) 家庭生活に関する要因(核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…)

(5) 消費生活に関する要因(広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…)

(6) 会社生活に関する要因(入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…)

(7) 老後の生活に関する要因(年金、介護、生きがい、死の問題…)などを講義する。

この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

教科書

初回の講義で説明する。

参考書等

初回の講義で説明する。

その他

上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。

科目名	社会学【6〔社会生活を考える〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	わびよんさん 呉 炳三				

社会分野

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：

はじめに—社会学とは—(1)

I 行為論：(2) 社会学における行為、(3) 行為者としての個人、(4) 社会化と人間形成、(5) 日本的行為論

II 集団論：(6) 集団の概念、(7) 官僚制理論、(8) 小集団論、(9) 集団の類型、(10) 日本的集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相：

(11) 家族、(12) 恋愛、(13) 結婚、(14) 若者・IT文化、(15) 少年犯罪、(16) 自殺、

(17) ジェンダー、(18) 少子・高齢、(19) アダルトチルドレン、摂食障害、

(20) 就職、転職、リストラ、(21) フリーター、ニート、引きこもり、(22) 性同一性障害など

以上、講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参することと、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	社会学【〔現代社会を考える〕 －フレックスB開講－	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選				
担当者名	お びょうさん 呉 炳三				

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)社会学の基礎概念：

はじめに－社会学とは－(1)

I 行為論：(2)社会学における行為、(3)行為者としての個人、(4)社会化と人間形成、(5)日本の行為論

II 集団論：(6)集団の概念、(7)官僚制理論、(8)小集団論、(9)集団の類型、(10)日本の集団論

(後期)現代社会の特徴的な諸相：

(11)家族、(12)恋愛、(13)結婚、(14)若者・IT文化、(15)少年犯罪、(16)自殺、

(17)ジェンダー、(18)少子・高齢、(19)アダルトチルドレン、摂食障害、

(20)就職、転職、リストラ、(21)フリーター、ニート、引きこもり、(22)性同一性障害など

以上、講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参すること、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	社会学【〔現代文化を考える〕 －フレックスB開講－	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選				
担当者名	橋爪 敏				

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	文化人類学【1〔文化と人間〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	もりまさふみ 森 雅文				

講義のねらい

文化人類学は、諸社会の比較を通して文化の多様性を解読する学問として誕生しました。その醍醐味は、秘境の冒険や文化類型の目録づくりではなく、さまざまな人間性の表現への理解を探り、そのまなざしを自己を含めた身のまわりの事象にも向ける知的実践です。文化が創り出す『他者』と『自己』のリアリティを把握する基礎的な枠組みの理解と洞察力の養成を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

異文化理解を通じて構築された人類学的枠組みを、民族誌的な事例とともに解説します。前期は人々の結びつき・社会の連帯に関わる議論を、後期は人間の存在様式と世界観の関わりを焦点にした議論を中心に講述する予定です。以下の内容を予定していますが、詳細は各学期の初回に提示します。

<前期> 学問潮流の概観（「文化」概念の成立、通時的視座と共時的視座の変遷）、人の一生と社会化（人生段階、通過儀礼、ジェンダー）、贈与と交換（互酬性と連帯）、家族と親族（親子、婚姻、出自と祖先祭祀）、エスニシティと共同性（人種、近代の民族と国家、アイデンティティ・ポリティクス）

<後期> 呪術宗教の諸理論（境界と穢れ、妖術と邪術、シャーマニズムと王権、儀礼と神話・行為と物語）、人間の存在様式（憑依と病い、個人主義、医療文化、国民国家と健康）、「文化」概念の現在（土着・越境・混淆、翻訳的理解）

履修上の留意点

初回ガイダンス時に履修上の注意事項を伝達するので、必ず出席してください。また受講者のコメントや意見を講義に還元したいので、積極的な参加を期待します。

成績評価の方法

前期後期の学期末筆記試験の成績が基本です。授業時の質疑応答やコメントペーパー等の内容は平常点とします。平常点は最大10%までの加味点とします。

教科書

特定の教科書は指定しません。

参考書等

一般的な入門書・概説書はガイダンス時に紹介します。各回の内容に関する専門書は、授業時の配布プリント等で適宜紹介します。

その他

授業は講義形式で、ビデオ等の視聴覚教材も使用します。

科目名	文化人類学【2〔文化と人間〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	かとう ゆきはる 加藤 之晴				

社会分野

講義のねらい

文化人類学は、人びとが集い、生活をしていくなかで生まれる様々な生活慣習・思考・言語などに注目する。そしてフィールドワークと呼ばれる経験的な調査法から得られたデータに基づいて「人びとはどうしてこのような行動をとるのか、考え方をするのか?」といった問いを立て、その答えを探し求めていくおこないを通して、人間存在についての理解を深めることを目指す。

本講義では、はじめに文化人類学の基本的な立場・目的・方法・歴史について概略的に解説をおこなう。つぎに世界・家族・身体・宗教・病いなどのキイ・ワードを挙げ、文化人類学ではそれらをどのように捉えるのか、それによって何が見えてくるのか、世界各地の具体的な事例をもとに学んでゆく。

成績評価の方法

基本的には年度末の筆記試験で評価するが、出席点や課題レポートなどを評価の際の補足材料とする。

教科書

特定の教科書は用いない。毎回講義のトピックを記したプリント（レジュメ）を配布し、これに基づいて授業を進行する。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介する。

科目名	文化人類学【3〔諸民族とコスモロジー〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	すぎい じゆんいち 杉井 純一				

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、難しさを味わいながら、「異質なものととの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化人類学の歩み（1）
 - 3. 文化人類学の歩み（2）
 - 4. 文化とコミュニケーション
 - 5. 環境と人間（1）狩猟採集民
 - 6. 環境と人間（2）牧畜民
 - 7. 環境と人間（3）農耕民
 - 8. ジェンダー
 - 9. セクシュアリティ
 - 10. 婚姻の形態
 - 11. 家族の多様性
 - 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. アニミズム
 - 3. シャーマニズム
 - 4. シンクレティズム
 - 5. 儀礼の構造
 - 6. コスモロジー
 - 7. 神話
 - 8. 政治組織
 - 9. 民族とエスニシティ
 - 10. 民族紛争と戦争
 - 11. 開発と文化
 - 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート（20%）、期末試験（60%）、平常点（20%）で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』（有斐閣）1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します（年に4～5回程度）。

科目名	文化人類学【4〔諸民族とコスモロジー〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	やの ひでたけ 矢野 秀武				

社会分野

講義のねらい

文化人類学とは、世界の民族などの集団を対象に、その文化・社会について、比較しながら特質を理解する学問である。またそれを通じて自分の文化や社会の前提を理解する学問でもある。本講義では、人間社会の多様な生業形体を知り、コスモロジーなど世界の理解の仕方についての基礎的な考え方を身につけてもらいたい。さらに、多民族社会の様相、日本の民族や日本文化といった考え方の形成と変容についても学んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、文化人類学の基本的な考え方を紹介し、狩猟採集民、牧畜民、農耕民など、近代化によって工業化した社会とは異なる生活環境・生業形体における人々の生活や考え方をとりあげる。後期では、グローバル化の進む現代社会の特質を踏まえつつ、民族と文化という基本的な考え方を理解し、文化摩擦、民族の形成、多民族国家、文化の流動化といったテーマで授業を進める。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教科書

なし

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名	文化人類学【5〔諸民族とコスモロジー〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	鈴木 一馨				

講義のねらい

文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」を通して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。
この講義では、前期に「文化」と「文化人類学」、また文化の共通性を帯びる「民族」、そして「コスモロジー」について基礎的な知識を学ぶ。後期はコスモロジーの具体例として「風水」を採り上げ、関連するさまざまなコスモロジーと、現実空間への対応、また風水が人間社会にとって持つ意味を学ぶ。そして、これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、ひいては人類の中の一存在である自己の存在意義を考えてもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：第1部 文化人類学と民族
 (1～3)「文化」と「文化人類学」(4～6)「民族」とはなにか
 第2部 民族とコスモロジー
 (7～8)「コスモロジー」とはなにか(9～10)天とひととのコスモロジー
 (11～13)世界の断絶と連続
 後期：第3部 風水のコスモロジー
 (14～20)風水を構成する宇宙論(21～22)風水による現実空間の意味付け
 (23～26)風水と人間社会

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないといけない。また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

成績評価の方法

出欠状況、期末試験、小テスト、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門(増補改訂版)』(中公新書560、1990年)840円
 国立歴史民俗博物館編『異界談義』(角川書店、2002年)1,470円
 渡邊欣雄『風水思想と東アジア』(人文書院、1990年)1,995円
 鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界一』(講談社選書メチエ244、2002年)1,575円

科目名	文化人類学【6（社会変化と価値観）】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	おがわ としゆき 小川 順敬				

社会分野

講義のねらい

文化人類学（以下、人類学）とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。

人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思っています。

成績評価の方法

評価は原則として、年2、3回の「小レポート試験」と年度末の筆記試験により行います。なお小レポートとは別に、夏期休暇前に「夏期レポート」課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書560番 中央公論社）

参考書等

講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

科目名	文化人類学【7〔社会変化と価値観〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	内山 <small>うちやま</small> あきこ 明子				

講義のねらい

グローバル化により日本でも様々な文化をもつ人々の日常生活空間の共有化が進展しています。しかし、大方の日本人は、多文化状況を消費を介して積極的に受け入れる一方、多様な隣人たちの多様な声には耳を傾けず、実態に目を向けることもほとんどありません。最近では、「我々か、彼らか」という単純な二者択一で人々を分類し、「他者」の脅威をおおることで「我々」の結束を高める傾向が強まり、異なる考えをもつ他者と向き合い、対話を積み重ねる努力をすることで合意点を探り、自己／他者理解を深化させることを軽視する風潮すら見出せます。

このような時代に地に足をつけて自分で考えるための一つの足がかりとして、微細であまいな日常生活のなにげない世界を大切にしながら他者と向き合う学問である文化人類学の基礎知識を提供していきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な理論と方法（・文化人類学の主要な流れ・未開と文明・フィールドワークと民族誌・文化相対主義など）、主要な研究分野と成果（・ジェンダー、家族、親族・交換と経済・リーダーシップと政治・世界観と宗教など）、現代社会と文化人類学（・民族、人種、国家、マイノリティ・ファンダメンタリズムなど）を主要な柱とし、各々で「社会変化と価値観」というテーマに言及しながら授業を行う予定です。

履修上の留意点

講義は板書を中心に進め、随時プリントを配布します。教科書は指定しないので、各自ノート作成を工夫してください。

成績評価の方法

年度末の筆記試験を80%、夏休みの課題レポートを20%で評価します。

教科書

教科書は使用しません。

科目名	文化人類学【8〔社会変化と価値観〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	うちやま あきこ 内山 明子				

講義のねらい

グローバル化により日本でも様々な文化をもつ人々との日常生活空間の共有化が進展しています。しかし、大方の日本人は、多文化状況を消費を介して積極的に受け入れる一方、多様な隣人たちの多様な声には耳を傾けず、実態に目を向けることもほとんどありません。最近では、「我々か、彼らか」という単純な二者択一で人々を分類し、「他者」の脅威をおおることで「我々」の結束を高める傾向が強まり、異なる考えをもつ他者と向き合い、対話を積み重ねる努力をすることで合意点を探り、自己／他者理解を深化させることを軽視する風潮すら見出せます。

このような時代に地に足をつけて自分で考えるための一つの足がかりとして、微細であまいな日常生活のなにげない世界を大切にしながら他者と向き合う学問である文化人類学の基礎知識を提供していきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な理論と方法（・文化人類学の主要な流れ・未開と文明・フィールドワークと民族誌・文化相対主義など）、主要な研究分野と成果（・ジェンダー、家族、親族・交換と経済・リーダーシップと政治・世界観と宗教など）、現代社会と文化人類学（・民族、人種、国家、マイノリティ・ファンダメンタリズムなど）を主要な柱とし、各々で「社会変化と価値観」というテーマに言及しながら授業を行う予定です。

履修上の留意点

講義は板書を中心に進め、随時プリントを配布します。教科書は指定しないので、各自ノート作成を工夫してください。

成績評価の方法

年度末の筆記試験を80%、夏休みの課題レポートを20%で評価します。

教科書

教科書は使用しません。

科目名	文化人類学【〔文化と人間〕 －フレックスB開講－	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選				
担当者名	かわかみ しんじ 川上 新二				

講義のねらい

文化人類学は、世界各地のさまざまな人々の文化を理解し、さらにそれを通じて究極的には人間の理解を目指そうとする学問です。そして、私たちが異なる人々の文化を理解するためには、客観的な見方を養う必要があります。見方を誤ると理解ではなく、誤解になってしまう危険性があります。この講義では、異文化を理解するための見方を養うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文化人類学の特徴、文化とは何か、文化人類学の歴史と代表的な学説を紹介します。後期では、具体的な文化事象をとりあげて（日本、韓国、中国など東アジアの文化を中心に考えています）、文化人類学による見方を紹介します。

成績評価の方法

レポートと学期末の試験で評価します。随意のレポート提出など積極的な姿勢があれば、評価に加えます。

教科書

使用しません。

参考書等

伊藤亜人監訳『韓国文化シンボル事典』平凡社、2006年など。その他、講義のなかで適宜紹介します。

科目名	文化人類学【〔諸民族とコスモロジー〕】 －フレックスB開講－	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選				
担当者名	杉井 <small>ナギイ</small> 純一 <small>じゆんいち</small>				

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

 講義の内容・
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 1. 文化人類学とは何か
 2. 文化人類学の歩み（1）
 3. 文化人類学の歩み（2）
 4. 文化とコミュニケーション
 5. 環境と人間（1）狩猟採集民
 6. 環境と人間（2）牧畜民
 7. 環境と人間（3）農耕民
 8. ジェンダー
 9. セグシュアリティ
 10. 婚姻の形態
 11. 家族の多様性
 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 1. 呪術と宗教
 2. アニミズム
 3. シャーマニズム
 4. シンクレティズム
 5. 儀礼の構造
 6. コスモロジー
 7. 神話
 8. 政治組織
 9. 民族とエスニシティ
 10. 民族紛争と戦争
 11. 開発と文化
 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート（20%）、期末試験（60%）、平常点（20%）で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』（有斐閣）1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します（年に4～5回程度）。

科目名	法学・憲法【1〔法と社会生活〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	長谷川 ^{はせがわ} 日出世 ^{ひでよ}				

社会分野

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	法学・憲法【2〔法と社会生活〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	和知 恵一 <small>わち けいいち</small>				

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらおう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業では、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があると思ったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通して多くの条文に触れられるよう配慮する。

(1) 法学

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
3. 法の体系と分類
4. 法の目的
5. 法と裁判
6. 裁判の基準（法源）
7. 法の解釈
8. 法と道徳をめぐる問題

(2) 社会生活と法（以下の項目より受講生の関心の高いものをいくつかやりたいと思う。適宜報道などと関連させたい。）

9. 犯罪と刑罰
10. 財産生活と法（人・物・契約など）
11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する。原則的に、欠席・早退を認めない。理由があるときは、その旨届けてくれれば出席扱いとする。授業開始時間は若干余裕を持たせるので遅刻しないように。また教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ授業内容は板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。板書を記録しやすいようになるべく前から着席すること。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

○小林弘人・松村格編著『法学・憲法（新版）』（八千代出版）
 ○六法（例として、『ポケット六法（平成18年版）』（有斐閣）や『デイリー六法』（三省堂）など）
 ※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

大久保治男監修『トビックスくらしの法』（芦書房）
 その他授業の中で、随時紹介する。

その他

最初の講義日（2週目になることがある）に受講票を提出してもらおう。特別の事情のない限り、最初の講義の回から出席のこと。

科目名	法学・憲法【3〔法と社会生活〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	沼田 雅之 <small>ぬまた まさゆき</small>				

社会分野

講義のねらい

この講義のねらいは、今の社会を「法」という道具を通して見る訓練をおこなうことにあります。ですから、本講義以前に私がみなさんに求める能力は、今の時代の「風」を敏感に感じとることができる能力です。それには「想像力」が大切です。それまでに培ってきた「教養」をフルに活用してもらいたいと思います。

法は、「黒」か「白」かの区別をつける作業であるという側面は否定しがたいですが、社会の高度な発展にともなって、「黒」と「白」の隙間をどのように考えるかがとても大切な作業になっています。ですから、決して単純な学問ではないことは、覚悟しておいてください。

そうはいつでも、決して難解なばかりの学問ではありませんから、気楽な気持ちで受講していただきたいと思います。

取り上げるテーマは、「法と社会生活」とあるように、できるだけ生活に密着した問題を取り上げたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

法学に関する下記各テーマに沿って、判例(判決)を中心に解説をおこないます。スケジュールは執筆時点で下記のようなものを考えていますが、適宜変更がありうるので注意してください。

(前期)

1. ガイダンス
2. 法における自由・平等
- 3～4. 憲法の役割
- 5～6. 新しい人権
- 7～8. 契約の自由とその規制
- 9～10. 診療契約と自己決定
- 11～12. 消費者の保護

(後期)

13. 財産と法
- 14～16. 刑事法の諸原則
- 17～18. 司法制度改革と裁判員制度
19. 家庭生活と法
20. 労働と法
21. 社会保障と法

などを予定しています。

なお、下記の「その他」の欄も参照してください。

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていたきたいと考えています。

成績評価の方法

基本的に前期試験と後期試験の得点で評価し、補助的に平常点として出席などを考慮いたします。前期試験と後期試験の評価割合は1:1です。平常点は前期試験と後期試験の合計得点に加点いたします(ただし、前期試験と後期試験の得点の合計と平常点の加点得点の合計が100点を超えた場合には、100点を限度として平常点を加点いたします)。詳しくは、第1回目の講義時に説明いたします。

教科書

テキストは指定いたしません。担当教員が作成したプリント教材を用います。開講当初は印刷したプリントを配布いたしますが、その後はホームページから各自でダウンロードしてもらいます(データはPDF形式で配布予定です)。詳細は、第1回講義時に説明いたしますので、不明な点はその際に質問してください。

参考書等

第1回目の講義時に説明するとともに、講義中にも適宜指示いたします。

その他

また、講義に連動して、ホームページを運用します。プリントのダウンロードサービスなどを実施する予定です。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

第1回講義時に、大学配布のものとは異なるシラバスを配布します(取り上げるテーマなどが、ここで記載されたものと異なる場合があります)。それを熟読の上、履修を決定してください。

科目名	法学・憲法【4（法と社会生活）】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	鶏徳 啓登				

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至って国外的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

法学の講義は次の内容を中心として行う。

- (1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異
- (4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論
- (7) 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。

- (1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質
- (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類
- (6) 各種基本的人権の内容
- (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用
- (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法

出席状況と試験による。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

科目名	法学・憲法【5〔法と権利〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	ぬまた まさゆき 沼田 雅之				

社会分野

講義のねらい

この講義のねらいは、今の社会を「法」という道具を通して見る訓練をおこなうことにあります。ですから、本講義以前に私がみなさんに求める能力は、今の時代の「風」を敏感に感じることができる能力です。それには「想像力」が大切です。それまでに培ってきた「教養」をフルに活用してもらいたいと思います。

法は、「黒」か「白」かの区別をつける作業であるという側面は否定しがたいですが、社会の高度な発展にともなって、「黒」と「白」の隙間をどのように考えるかがとても大切な作業になっています。ですから、決して単純な学問ではないことは、覚悟しておいてください。

そうはいても、決して難解なばかりの学問ではありませんから、気楽な気持ちで受講していただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

法学に関する下記の各テーマに沿って、判例（判決）を中心に解説をおこないます。スケジュールは執筆時点で下記のようなものを考えていますが、適宜変更がありうるので注意してください。

（前期）

1. ガイダンス
2. 法における自由・平等
- 3～4. 憲法の役割
- 5～6. 新しい人権
- 7～8. 契約の自由とその規制
- 9～10. 診療契約と自己決定
- 11～12. 消費者の保護

（後期）

- 13～14. 刑事法の諸原則
- 15～16. 人の生・死と法
- 17～18. 司法制度改革と裁判員制度
19. 企業と法
20. 労働と法
21. 社会保障と法

などを予定しています。

なお、下記の「その他」の欄も参照してください。

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていたきたいと考えています。

成績評価の方法

基本的に前期試験と後期試験の得点で評価し、補助的に平常点として出席などを考慮いたします。前期試験と後期試験の評価割合は1：1です。平常点は前期試験と後期試験の合計得点に加点いたします（ただし、前期試験と後期試験の得点の合計と平常点の加点得点の合計が100点を超えた場合には、100点を限度として平常点を加点いたします）。詳しくは、第1回目の講義時に説明いたします。

教科書

テキストは指定いたしません。担当教員が作成したプリント教材を用います。開講当初は印刷したプリントを配布いたしますが、その後はホームページから各自でダウンロードしてもらいます（データはPDF形式で配布予定です）。詳細は、第1回講義時に説明いたしますので、不明な点はその際に質問してください。

参考書等

第1回目の講義時に説明するとともに、講義中にも適宜指示いたします。

その他

また、講義に連動して、ホームページを運用します。プリントのダウンロードサービスなどを実施する予定です。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

第1回講義時に大学配布のものとは異なるシラバスを配布します（取り上げるテーマなどがここで記載されたものと異なる場合があります）。それを熟読の上、履修を決定してください。

科目名	法学・憲法【7〔法と国家〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	新田 浩司 <small>にっただ ひろし</small>				

講義のねらい

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

ここでは、我々が国民として住民として生活する上で必要な法というものの考え方、及び国家の根本法である憲法について、現実には発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回目 ガイダンス
- 第2回目 法学の基礎知識①
- 第3回目 法学の基礎知識②
- 第4回目 法学の基礎知識③
- 第5回目 憲法の基礎知識
- 第6回目 日本国憲法の制定過程
- 第7回目 日本国憲法の基本原理
- 第8回目 国家の安全保障（戦争放棄）
- 第9回目 精神的自由権①
- 第10回目 精神的自由権②
- 第11回目 経済的自由権
- 第12回目 社会権
- 第13回目 参政権、国家請求権
- 第14回目 統治機構①
- 第15回目 統治機構②

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題でもあり、この講義を履修して法的思考を養ってもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。
なお、授業の出席状況も参考とする。

教科書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乗正臣編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税
※小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

参考書等

小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

科目名	法学・憲法【8〔法と国家〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	につた ひろし 新田 浩司				

社会分野

講義のねらい

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

ここでは、我々が国民として住民として生活する上で必要な法というものの考え方、及び国家の根本法である憲法について、現実が発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回目 ガイダンス
- 第2回目 法学の基礎知識①
- 第3回目 法学の基礎知識②
- 第4回目 法学の基礎知識③
- 第5回目 憲法の基礎知識
- 第6回目 日本国憲法の制定過程
- 第7回目 日本国憲法の基本原理
- 第8回目 国家の安全保障（戦争放棄）
- 第9回目 精神的自由権①
- 第10回目 精神的自由権②
- 第11回目 経済的自由権
- 第12回目 社会権
- 第13回目 参政権、国家請求権
- 第14回目 統治機構①
- 第15回目 統治機構②

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題でもあり、この講義を履修して法的思考を養ってもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。
なお、授業の出席状況も参考とする。

教科書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乗正臣編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税
※小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

参考書等

小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

科目名	法学・憲法【10〔法と国家〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	織田 <small>おだ</small> 晃子 <small>てるこ</small>				

講義のねらい

法とは何かに始まり、日本国憲法と人権、法と国家について判例を多く使って講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 法とは何か
 - (1) 法と道徳
 - (2) 法の解釈
- 2 日本国憲法と人権
 - (1) 人権の主体
 - (2) 私法関係と人権
 - (3) 生命・自由および幸福追求権
 - (4) 法の下での平等
 - (5) 精神的自由権
 - (6) 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由
 - (7) 経済的自由権
 - (8) 社会権
 - (9) 人身の自由・裁判手続の保障
 - (10) 新しい人権
- 3 法と国家
 - (1) 日本における近代憲法の成立
 - (2) 日本国憲法の統治原理
 - (3) 司法権とその限界
 - (4) 平和主義と戦争の放棄

履修上の留意点

授業にはポケットサイズのもので十分であるが、六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。

教科書

『判例法学』（有斐閣ブックス）、『コンパクト六法』（岩波）

その他

プリント配布

科目名	法学・憲法【11〔法と権利〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	しげの たかはる 茂野 隆晴				

講義のねらい

年間の授業は、前期においては、「法」というものが、いかなるものであり、いかなる特徴をもつものであるかを、教科書に掲載の事例・判例などの資料を用いて成るべく平易な説明をなすことによって進めていきたい。進むにつれて、法を学ぶ面白さが感じられるようになればと思う。

後期においては、主に憲法典の条文に則して、その基礎的な知識を学んでいけるように、やはり平易な授業ということに留意して進める。その際、日々に生起する具体的事件などを取り上げるなどによっても憲法が身近に感じられるようにつとめたい。

さらには、現代社会のなかに未だ色濃く残存する封建法意識であるが、そうした観点から、かつての「家」制度についても触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

4・5月

- 法とは何か
- 法の種類
- 法源
- 法の生成（日本法の歴史）
- 法と裁判の基礎知識
- 国家の基礎知識

6・7月

- 民法と商法の考え方
- 裁判法、刑法、社会法の考え方

後期

9・10月

- 憲法とその原理について
- 基本的人権の保障

11・12月

- 統治機構について
- 年間のまとめと「家」制度について

履修上の留意点

資料ならびに条文に則して行うことの多い授業ですので、テキスト、六法は毎時間必ず持参のこと。また、授業時の私語は厳禁ゆえ、守れない者には、直接、指摘することになる。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味し評価する。

教科書

山口嘉三、大久保治男編『法学要説』（芦書房刊）2,800円

参考書等

小型の六法、そのほかは、ばあいにより参考資料を配布する。

その他

授業の方法は講義です。

科目名	法学・憲法【12〔法と権利〕】	開講	夏季集中	単位	4
配当	放選				
担当者名	池田 <small>いけだ</small> <small>みのる</small> 実				

講義のねらい

家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような原理・精神に結びついているかを明らかにします。
政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにいただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2)
(4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念
(7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党
(11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政
(16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1)
(19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2)
(22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1)
(26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2)
(30) 憲法改正

成績評価の方法

出席および授業時間内に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法』(嵯峨野書院) 2,700円+税
ISBN 4-7823-0424-2

その他

授業日程：7月31日～8月3日・6日・7日、1～5時限

科目名	法学・憲法【〔法と権利〕 －フレックスB開講－	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選				
担当者名	鶏徳 啓登				

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - (1) 法の意義 (2) 法発生の背景 (3) 法とその近辺の社会規範 (4) 法の種別と解釈 (5) 法の適用
2. 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - (1) 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - (2) 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - (3) 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	法学・憲法【〔法と社会生活〕 －フレックスB開講－	開講	通年	単位	4
配当	経A法A営A放選				
担当者名	長谷川 <small>ひせがわ</small> 日出世				

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	経済学【1〔現代社会と市場経済〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	島中 <small>はたなか</small> 貴				

講義のねらい

諸々の経済現象をよりよく理解するための理論（ミクロ経済学・マクロ経済学）について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

経済は家計、企業、政府の三種類の主体が行っている経済活動によって成り立っている。前期は家計が行っている経済活動、企業が行っている経済活動、そして家計と企業が互いに影響を及ぼし合う場である市場について説明する。

後期は市場メカニズムが果たしている役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース（市場の失敗）、政府が行っている経済活動、国内総生産（GDP）、不況と失業、物価の変動、国際貿易について説明する。

履修上の留意点

講義の内容は抽象的な議論が多く、理解するにはそれなりの労力と時間を必要とする。世界一頭のいい人であっても、テキストを一度読んだだけ、講義を一回聴いただけで、経済学を習得することは不可能である。受講者は、テキストを何度も読み返し、自分が理解できているのがどこまで、理解できていないのがどの部分なのかを確認するという地道な作業を、一年を通じて行わなければならない。分からない部分については分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にいくこと。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。

教科書

第一回目の授業で指示する。

科目名	経済学【2〔現代経済と人間〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	森田 成也 <small>もりた せいや</small>				

社会分野

講義のねらい

人間の社会はきわめて複雑な構造をなしており、その解明はけっして容易なものではありません。しかし、そうした人間社会の土台となっているのは、人々の実際の生活（およびそれに必要な物やサービス）を生産し再生産する経済的な過程です。したがって、経済学は、人々の生活や仕事にとって最も重要な領域を科学的に解明しようとするものです。経済学はけっして、難しいカタカナ言葉や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がよりよい、より人間らしい生活と労働を展望し、実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことを学びます。

講義ではまず、前期で、社会全体に占める経済の位置、基本的な経済学の基礎理論を学び、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます（多少、後期にくい込む可能性あり）。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本的な条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）基礎的な経済理論を学ぶ

- (1) はじめに (2) 社会と経済 (3,4) 商品・貨幣 (5,6,7,8) 資本と剰余価値
 (9) 賃金 (10,11) 資本の蓄積 (12) 利潤と利潤率
 (13) 利子生み資本と株式資本

(14,15) 独占資本、国家、外国貿易

(16) 世界市場と帝国主義日本経済の基本構造を学ぶ

(17,18) 戦前の日本と戦後日本経済の出発 (19,20) 現在の日本の基本形を作り出した
 高度経済成長 (21,22) 企業社会の形成と日本の働き方の確立 (23) 低成長期以降の企業社会の肥大化 (24) 企業社会と女性

(25,26) 経済大国日本とバブル経済

(27,28) 長期不況と構造改革下の日本経済

履修上の留意点

ノートをがんばってとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です

教科書

教科書はとくにありません

参考書等

松石勝彦『現代経済学入門』（青木書店）

科目名	経済学【3〔現代経済理解へのガイド〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	佐藤 ^{さとう} 綾野 ^{あやの}				

講義のねらい

本講義の目的は、経済学を初めて履修する学生に経済学の基礎を平易に解説するものです。また本講義終了後には、学生自らが現実の経済現象を「経済学的」に解釈する力を身につけることを狙いとしています。

講義の内容・
授業スケジュール

経済学は、一般的にミクロ経済学とマクロ経済学の2つの分野に分けられます。本講義では、この2つの分野をバランスよく、また現実の経済現象あるいは経済政策と絡めながら講義を進める予定です。具体的には、前期はマクロ経済学に関するテーマとしてGDP（国内総生産）、国民所得決定、有効需要と乗数メカニズム、貨幣の機能について取り上げます。また後期は、ミクロ経済学に関するテーマ、需要と供給、需要曲線と消費者行動、費用構造と供給行動、市場取引と資源配分について講義します。

履修上の留意点

積極的に講義に参加してください。また極力私語は慎んでください。

成績評価の方法

前期：レポート（レポート課題は前期講義終了時まで指示します）
後期：筆記テスト

教科書

伊藤元重著『入門 経済学 第2版』（日本評論社）、3,000円、ISBN 4-535-55244-4

参考書等

適宜指定します。

その他

連絡先 ayano_sato@econ.nsu.ac.jp

科目名	経済学【4〔現代経済理解へのガイド〕】	開講	通年	単位	4
配当	放選				
担当者名	佐藤 綾野 <small>さとう あやの</small>				

社会分野

講義のねらい

本講義の目的は、経済学を初めて履修する学生に経済学の基礎を平易に解説するものです。また本講義終了後には、学生自らが現実の経済現象を「経済学的」に解釈する力を身につけることを狙いとしています。

講義の内容・授業スケジュール

経済学は、一般的にミクロ経済学とマクロ経済学の2つの分野に分けられます。本講義では、この2つの分野をバランスよく、また現実の経済現象あるいは経済政策と絡めながら講義を進める予定です。具体的には、前期はマクロ経済学に関するテーマとしてGDP（国内総生産）、国民所得決定、有効需要と乗数メカニズム、貨幣の機能について取り上げます。また後期は、ミクロ経済学に関するテーマ、需要と供給、需要曲線と消費者行動、費用構造と供給行動、市場取引と資源配分について講義します。

履修上の留意点

積極的に講義に参加してください。また極力私語は慎んでください。

成績評価の方法

前期：レポート（レポート課題は前期講義終了時まで指示します）
後期：筆記テスト

教科書

伊藤元重著『入門 経済学 第2版』（日本評論社）、3,000円、ISBN 4-535-55244-4

参考書等

適宜指定します。

その他

連絡先 ayano_sato@econ.nsu.ac.jp

科目名	経済学【〔現代経済と人間〕】 －フレックスB開講－	開講	通年	単位	4
配当	経A法A放選				
担当者名	沼田 <small>ぬまた さとし</small> 郷				

講義のねらい

現代経済に人間がどのように関わっているのか、またどのような状況におかれているのかをわかりやすく講義したいと考えています。現代経済を読み解くキーワードを理解することが目標となります。

講義の内容・授業スケジュール

・世界経済に関する理論・今日の地球環境・世界の経済格差・大量消費社会の実態・世界の貿易と投資・物質的繁栄の代償・成長するアジアと停滞するアフリカ・環境問題・経済成長と石油資源・開発論の検討・世界の貿易と投資・ODAとは何か・地球環境と資源・環境への取り組み・世界経済と多国籍企業
さしあたり、以上のような項目を準備しています。これ以外にも受講者の意見を取り入れながら随時項目を追加する予定です。また、ビデオなど映像資料を用いることも検討しています。

履修上の留意点

現代経済は非常にめまぐるしく変化しています。特に「グローバリゼーション」は、程度の差こそあれ我々人間に大きな影響を与えています。こうした今日的な問題を扱うため、受講生には日々のニュースに関心をもってもらうことが、本講義履修の留意点になります。

成績評価の方法

学期末の試験は受講生の強い要望がない限り行いません。したがって、レポートの作成を求めます（年間で1、2回）。また、出席カードの提出にかえて、講義終了時に書いていただく講義内容についての小レポートも成績に反映させます。

教科書

本講義の性質上教科書は指定しません。しかしながら、参考文献、資料等に関しては講義の中で随時お知らせいたします。

その他

授業方法は履修人数にもよりますが講義形式で行います。パワーポイントでの授業を基本としますが、必要に応じて資料等の配布も行います。

科目名	基礎数学	開講	半期	単位	2
配当	放1必				
担当者名	熊坂 さつき <small>くまさか さつき</small>				

講義のねらい

放射線の科学・技術は数学ぬきでは考えられない。精密な画像解析も、数学的手法を使えば可能になる。本講義では、ターゲットを「放射線学に応用されている数学の世界」にターゲットを絞って学ぶ。内容は、応用数学（後期）とリンクする。

講義の内容・ 授業スケジュール

高校の時、数学IIIと数学Cを履修していなかった人にも理解出来る様な内容を中心に講義を行います。

1. 三角関数、行列、ベクトル等、数学Cの内容を中心に
 - ・加法定理、和積・積和の公式等重要な公式の求め方と証明
 - ・三角方程式や三角関数の合成 その他
2. 微分
 - ・微分係数、導関数の定義、
 - ・有理関数、合成関数、三角関数、指数関数
 - ・対数関数の微分
 - ・媒介変数と微分
 - ・高次導関数
 - ・連続関数と不連続関数
 - ・テイラーの定理と、テイラー展開 その他
3. 積分
 - ・不定積分と定積分
 - ・部分積分と置換積分
 - ・体積と面積

成績評価の方法

試験（各単元毎に数回／年、それ以外の本試験は1回／年）、レポート

教科書

矢野健太郎、石原繁『基礎数学入門』（裳華房）
大竹真一著『基礎固め数学』（化学同人）

参考書等

和達三樹『微分積分』（岩波書店）
数学IIIと数学Cの教科書
松下祐輔、遠藤輝紀著『技術者のための数学入門』（コロナ社）

科目名	基礎物理学	開講	半期	単位	2
配当	放1必				
担当者名	佐藤 昌憲・北沢 日出男				

講義のねらい

われわれを取り巻く自然環境の中で、いろいろな物体の運動や波動現象、熱現象、および電磁気現象に遭遇する。本講義では、これらの現象が物理学の基礎理論によってどのように理解されるかを学び、日々の生活の中で科学的にものを考える習慣を身につけることに重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 物体の運動とエネルギー
(速度、加速度、運動量、力、物体の運動、仕事、運動のエネルギー、保存量)
- (2) 温度と熱
(熱の正体、温度、圧力、物質の集合状態、仕事と熱量、熱の伝導、熱的過程)
- (3) 波動
(波のいろいろ、波の伝播、音波と光波の性質)
- (4) 電磁気学
電界(真空中の静電界、導体系による電界、静電界におけるエネルギーと力) 磁界(静磁界、電流による磁界、電流に及ぼす作用と電磁誘導)
- (5) 電磁波
(自由空間における電磁波)

履修上の留意点

この科目は前期での集中授業である。基礎物理学Aでは、力学、波動性および熱力学を、基礎物理学Bでは、電磁気学と電磁波を中心に講義する。知識の単純記憶ではなく理論に基づいた思考過程を身につけてほしい。

成績評価の方法

基礎物理学A・Bの出席数、小テスト、定期試験により評価する。

教科書

基礎物理学B: 『電気基礎上』(東京電機大学)

科目名	基礎化学	開講	通年	単位	2
配当	放1必				
担当者名	原田 和正				

講義のねらい

本講義では「放射化学」、「放射線写真学」、「生化学」などを学ぶ上で必要となる化学の基本事項について理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 原子・分子・モル
2. 電子配置と周期表
3. 化学結合
4. 化学平衡
5. 酸・塩基、酸化・還元
6. 溶解度と溶解度積
7. 気体の状態方程式
8. 反応速度論
9. 化学熱力学

成績評価の方法

中間試験、定期試験の結果と平常点で評価する。

教科書

- A. Sherman 他著、石倉洋子・石倉久之訳、『化学 基本の考え方を中心に』(東京化学同人) 2,850円
 A. Sherman 他著、石倉洋子・石倉久之訳、『化学 基本の考え方を中心に-問題と解答-』(東京化学同人) 1,700円

科目名	生命科学	開講	半期	単位	1
配当	放1選必				
担当者名	しみず よしかず 清水 善和				

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後の連綿と続く進化の過程を経て現在に至った歴史的産物である。体の構造、生理、生態、種の分布などあらゆる面に過去の歴史が反映されている。一方、すべての生物の基本単位となる細胞には生命の根元物質である遺伝子（DNA）が含まれ、この遺伝子の情報に基づいて体がつくられ、そのコントロールのもとに生命が維持されている。生命活動のどの部分をとっても、遺伝子と無関係なところはないといってよい。現代生物学は遺伝子という物質的な拠り所をえて、より厳密で実証的な学問に変わったといえる。そこで、本講義では生物の進化（縦糸）と遺伝子（横糸）を二つのキーワードにして、現代生物学（生命科学）の各分野の基礎的な内容を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

第1章 生体を作る物質－炭素の恵み

- (1) 生元素と水
- (2) 有機物
- (3) 生体高分子
- (4) 生命活動

第2章 遺伝子－情報を担う分子

- (1) 遺伝子の構造と働き
- (2) タンパク質合成
- (3) 突然変異と進化

第3章 細胞－生命の基本単位

- (1) 細胞のしくみ
- (2) 生体膜
- (3) 共生説

第4章 発生－身体の作り方

- (1) 発生と遺伝子
- (2) 細胞系譜
- (3) クローンとES細胞
- (4) 個体発生と系統発生
- (5) ヒトの发育段階

第5章 神経と脳－身体の指令塔

- (1) ホルモンと神経
- (2) 情報伝達のしくみ
- (3) 脳の構造と働き
- (4) 神経ホルモンと心

第6章 免疫－自他の認識

- (1) 免疫と遺伝子
- (2) 免疫のネットワーク
- (3) 血液型

第7章 性と生殖－遺伝子のシャッフル

- (1) 遺伝子と染色体
- (2) 2つの細胞分裂
- (3) 性の決定様式

第8章 遺伝－親子の絆

- (1) メンデルの法則
- (2) 遺伝病
- (3) 集団遺伝学の基礎

講義の内容・
授業スケジュール

- 第9章 人体-内なる自然
- (1) 細胞・組織・器官
 - (2) 骨格系と筋肉系
 - (3) 循環器系と呼吸器系
 - (4) 消化器系と泌尿器系
 - (5) ホメオスタシス

成績評価の方法

出席点と試験の点数を合算して評価する。

教科書

講義の内容を文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」で章ごとに紹介する。

その他

講義中に章ごとに必要な図表をまとめた補助教材のプリントを配布する。

科目名	情報処理技術	開講	半期	単位	1
配当	放1選必				
担当者名	<small>こんどう けいせい</small> 近藤 啓介				

講義のねらい

情報化社会において、コンピュータによる情報処理技術の習得は大変重要である。医療現場においても情報化が進みコンピュータの操作技術は必要不可欠なものとなっている。この授業では、コンピュータの基本的操作とインターネットの利用方法から、将来の卒業論文を書くにあたって必要な文章作成・編集・数式作成、表計算やグラフ作成、卒業論文発表会で利用するプレゼンテーションソフトが使えるように演習形式で授業を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータとは(ハードウェアとソフトウェア)
オペレーティングシステムとは
情報倫理
インターネットと電子メールの利用
MS-Wordによる文書作成・編集・数式作成・図の作成
MS-Excelによる表計算・関数の利用・グラフの作成
MS-PowerPointによるプレゼンテーション

履修上の留意点

演習形式で行うので、積極的に受講すること。

成績評価の方法

出席状況・演習成績・レポート提出によって評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	物理学序論	開講	半期	単位	1
配当	放1選必				
担当者名	<small>さとう まさのり きたざわ ひでお</small> 佐藤 昌憲・北沢 日出男				

講義のねらい

高校で「物理」を履修していない学生や物理が苦手であった学生を対象とした補習的な科目である。基礎物理学で必要となる物理の基本的な法則や基礎的事項について演習をまじえて理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

1. 力と運動
速度、加速度、運動の法則、エネルギー
2. 波動
波の性質、音波と光波、反射と屈折
3. 電気
電圧と電位、コンデンサ、電流と抵抗、オームの法則
4. 磁気
電流と磁場、電磁誘導、コイル

履修上の留意点

高校で履修しなかった学生を対象としますから、4月と5月の2ヶ月間での集中授業である。物理学序論Aでは、力と波動を、物理学序論Bは、電気と磁気を中心に焦点をしばらく平易に解説する。物理における最低限の知識の修得と苦手意識を克服してほしい。

成績評価の方法

物理学序論A・Bの小テスト、定期試験により評価する。

科目名	化学序論	開講	半期	単位	1
配当	放1選必				
担当者名	やまもと ゆうすけ 山本 裕右				

講義のねらい

高校で「化学」を履修していない学生、履修していてもきちんと理解できていない学生には、1年次の必修科目である「基礎化学」、「放射線写真学」および2年次の「放射化学」の講義を十分理解できないケースが多く見受けられる。ここでは、高校までの化学の学力が十分身につけていない学生のために、今後必要となる化学の基礎的事項、重要事項について演習をまじえて平易に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 物質とは
2. 元素と単体、化合物
3. 原子、分子、イオン
4. 電子配置
5. 化合物の名前
6. 化学反応式、化学量論
7. 物質の量
8. 濃度の計算

履修上の留意点

高校で化学を履修しなかった学生、履修していても学力が不十分だと自覚している学生、そして化学が苦手な学生、嫌いな学生を対象としています。高校までのただひたすら暗記する化学にはありません。不明なこと、理解できないことはどしどし質問してください。理解しようとする努力、知ろうとする意欲をもって臨んでいただければ、きっと新しい化学の世界が開けてくることでしょう。

成績評価の方法

平常の小テスト、定期試験で評価する。

教科書

- ・ A.Sherman 他著、石倉洋子 他訳、『化学—基本の考え方を中心に—』（東京化学同人）2,993円
- ・ A.Sherman 他著、石倉洋子 他訳、『化学—基本の考え方を中心に— 問題と解答』（東京化学同人）1,785円

参考書等

- ・ 乾 他著、『改訂 化学—物質の構造、性質および反応—』（化学同人）2,520円
- ・ P.W.Atkins 他著（千原他訳）『物理化学の基礎』（東京化学同人）3,570円

科目名	科学基礎論	開講	半期	単位	1
配当	放1選必				
担当者名	くまさか さつき 熊坂 さつき				

講義のねらい

放射線技術者になるために、第1歩をふみ出した人達に、これからの指針の1つの手がかかりになるような学習を行う。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

- ・ スライドやビデオを用いて医療現場と医者、スタッフの役割について学ぶ。
- ・ スライドやビデオを用いて、研究者とは何かについて学ぶ。
- ・ X線写真を用いて、それをトレースし、X線解剖学について学ぶ。

履修上の留意点

小テストなど授業時間内の学習状況により評価する。

成績評価の方法

レポート

教科書

使用しない
プリントを配布する

科目名	科学基礎論	開講	半期	単位	1
配当	放1選必				
担当者名	佐藤 昌憲				

講義のねらい

学生諸君が今後の学習や学問の研究、進路、自己形成のために役に立つテーマを提供しようというのが基本的なねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

少人数のゼミ方式で、テーマの参考文献や資料の集め方、分析の仕方、論理的な考え方パソコンの使い方などを具体的に教え、学生自身が理工学の専門分野をどの様に学んでいくか、そのプロセスを学習する。

具体的には、レポート作成と討論を行う。その際に
1. 分類方法、2. 過程の表現方法、3. 対比・比較の仕方、4. 原因・影響の関係について、5. 主題の相互作用の書き方等を体系的に学習する。

履修上の留意点

問題意識とやる気のある学生を望む。

成績評価の方法

学習状況とレポートと出席などにより評価する。

教科書

使用しない。

科目名	科学基礎論	開講	半期	単位	1
配当	放1選必				
担当者名	瀬尾 育弉				

講義のねらい

将来、技術者として知っておくと便利な手法を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 マインドマップ手法 ノートの整理、問題解決力 up、思考力 up、会議の進行などに役立つ手法を学ぶ。
- 2 失敗学のすすめ 失敗は成功のもと。畑村先生が提唱しておられる方法を概説する。
- 3 特許について 知的財産、一般的な特許に関する知識や書き方を概説する。

履修上の留意点

後で役に立つので、良く復習してください。

成績評価の方法

小テスト、レポート、および、出席状況により評価する。

教科書

必要に応じて教材用プリントを使用する。

参考書等

『人生に奇跡を起こすノート術』トニー・ブサン著（きこ書房）

科目名	科学基礎論	開講	半期	単位	1
配当	放1 選必				
担当者名	ほらだ かずまさ 原田 和正				

講義のねらい

高等学校までとは異なる大学での学習に早く慣れることと、単なる知識の暗記ではなく論理的な考え方を身につけることを目的とする。授業は全員参加によるゼミ形式で行い、パソコンを利用した演習、分子模型作成やX線を利用した機器分析などの実習を含む。取り扱う内容は化学（あるいは高等学校での物理）に根差したものが主であるが、履修に当たってはこれまでに選択した理科学科目や化学に関する知識は問わない。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目について、それぞれ2～4回程度の授業を予定している。履修者の興味や希望によっては、ここに記していない項目を取り上げる場合もある。

1. 科学論文の読み方と実験レポートの書き方 一事実と意見、目的と結論ー
2. 原子の構造 ー原子モデルと電子の振舞いー
3. 分子構造と結晶構造 ー身近で異常な物質「水」ー
4. 放射線と放射能 ー基礎的事項と理工学分野・医療分野への応用ー

履修上の留意点

授業に対して積極的に取り組むことを望む。

成績評価の方法

演習や実習、質疑応答など、授業への取り組み方で評価する。

教科書

プリントを使用。

参考書等

授業の中で指示する。

科目名	科学基礎論	開講	半期	単位	1
配当	放1 選必				
担当者名	うじいえ もりみち 氏家 盛通				

講義のねらい

将来診療放射線技師として医療に従事する者にとって、これから放射線関連の多くの専門科目を履修しなければならない。そこで放射線や放射能に関連する文献を選び、具体的な事例をもとに講述する。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1、21世紀を迎えて放射線診療の未来（IT革命が医療現場をどう変えていくのか？）
 - 2、医療被曝を考える（JCOの事故が及ぼした医療界への影響は？）
 - 3、企業に活躍の場を求める診療放射線技師（東芝メディカル、日本メジフィジックス、タイコ・ヘルスケア・ジャパン、GE横河メディカルシステム、シーメンス旭メディテック）
 - 4、スーパーテクノロジスト（放射線治療認定技師と医学物理士、マンモグラフィー検診制度中央委員会認定技師、X線CT検診専門技師など）について
 - 5、日本放射線技術学会法人化30周年を迎えてより、30年間での診療放射線技術学の変化
 - 6、平成19年度は、”未来の保健・福祉・医療”についてを予定
- これらの資料を読みその中に出てくる、放射線の種類や単位または人・団体・施設・機器・医療や診療放射線業務に関して講述する。

履修上の留意点

講義の内容などで分からないことがあれば気楽に質問をして、診療放射線技術学に親しみを持てるようになること。

成績評価の方法

小論文・学習状況・出席などにより評価する。

教科書

授業に使用する資料は、毎回配布する。

科目名	科学基礎論	開講	半期	単位	1
配当	放1選必				
担当者名	よしかわ こうき 吉川 宏起				

講義のねらい

1. 科学的思考の基礎を身につける。2. 生活習慣病を中心としたヒトの疾病（疾患）の原因とその治療法を通じてエビデンスに基づいた医療の成り立ちを学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 科学論文の引用の仕方、読み方、書き方の基礎的事項について概説する。2. 糖尿病や虚血性心疾患、脳血管障害などの生活習慣病の成り立ちとその予防法や治療法を通じて、医療におけるエビデンスの重要性について概説する。

履修上の留意点

科学論文の重要性と医療におけるエビデンスを導く臨床研究法を理解する。

成績評価の方法

出席率・授業時間内テストにより評価。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

科目名	総合III【1〔人権と社会問題〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad; it should provide an approximate experience of what it is like to attend a university-level course in a foreign country. Students will not study English, but study something else in English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, controversial, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse intelligently, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1 rights	CLASS 16 abortion
CLASS 2 rights	CLASS 17 abortion
CLASS 3 rights	CLASS 18 abortion
CLASS 4 income	CLASS 19 racism
CLASS 5 income	CLASS 20 racism
CLASS 6 income	CLASS 21 racism
CLASS 7 income	CLASS 22 racism
CLASS 8 feminism	CLASS 23 suicide
CLASS 9 feminism	CLASS 24 suicide
CLASS 10 feminism	CLASS 25 suicide
CLASS 11 feminism	CLASS 26 suicide
CLASS 12 euthanasia	CLASS 27 war
CLASS 13 euthanasia	CLASS 28 war
CLASS 14 euthanasia	CLASS 29 war
CLASS 15 euthanasia	CLASS 30 war

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are vital; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, TAKE SOME OTHER COURSE. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance. Attendance is extremely important, whereas examinations have minor effect on the final grade. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because final grade is relative to his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a

教科書

diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary.

There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	総合III【2〔欧米の教育と日本の教育〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴史日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	おかざき としちろう 岡崎 寿一郎				

総合分野

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	総合Ⅲ【3〔フランス現代文化史〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	桑田 <small>くわた のりあき</small> 禮彰				

講義のねらい

フランスにおける現代（特に第2次大戦後）の文化の歴史を概観します。

講義の内容・授業スケジュール

ここで扱う「文化」とは、文学（バタイユ、ブランシヨ他）、演劇（アルトー、ジュネ、イヨネスコ他）、美術（ピカソ、セザンヌ、ジャコメッティ、スタール他）、音楽（プーレーズ他）、映画（ゴダール他）などの芸術にとどまらず、哲学（サルトル、メルロ＝ポンティ、フーコー、ドゥルーズ他）、精神分析（ラカン他）、人類学（レヴィ＝ストロース他）、歴史学（ブローデル他）、社会学（バルト他）などの学問も含まれます。

講義では、時の流れに沿って過去から現在へ向かいながら、こうした文化界における重要な具体的事件（哲学書出版、芝居公演、美術展など）を取り上げ、当時の政治・社会的背景の上に位置付けてみます。一方では個々の文化的事件をできるかぎり具体的に追いつつ、他方ではフランス現代文化全体を大きな流れとして提示し、そこから「知識人」「戦争」「消費社会」「芸術と政治」「ニヒリズム」などの問題を考えて行きます。

もちろん「フランス現代」という時空枠は暫定的なもので、講義はこの枠をはみ出します。たとえば、この時代のフランス文化はドイツ文化の大きな影響のもとにありましたが、現代の「知識人」のフランス的性格を考えるためには歴史を遡る必要もあります。

尚、この講義は、Jean-Paul Aron, Les modernes, Gallimard, 1984 を下敷にします。

総合分野

履修上の留意点

履修者にフランス語の知識は必要ありません。

成績評価の方法

学年末試験

教科書

特に指定しません。

参考書等

講義で指示します。

科目名	総合Ⅳ【1〔現代アメリカ事情〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	林 <small>はやし</small> 明人 <small>あきと</small>				

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。

成績評価の方法

①試験、②レポート、③出席で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

プリントを配布します。

科目名	総合IV【2〔シアトル市のNPOとまちづくり〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

講義のねらい

前期はアメリカのシアトルを中心にNPO,NGO（非営利組織）におけるまちづくり（コミュニティビルディング）、後期の前半は日本の神奈川県を中心に発達しつつあるNPO間のネットワークについて考察する。後期後半はインドにおけるNGO,NPOについて考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い
 コミュニティ・ビルディングとNPO
 シアトルのまちづくり
 シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO
 アメリカにおける移民とNPO
 自治体とNPOの協働について：日本との比較
 神戸市・横浜市、川崎市などの事例研究
 後期：日本のNPO,インドのNPO,NGO
 日本のまちづくり政策とNPO
 世田谷区のまちづくりとNPO
 まちづくり協議会とNPO
 神奈川県・横浜市におけるNPOと外国人労働者
 インド社会概観
 インド社会とNGO
 南インドのNGOとコミュニティビルディング
 行政とNPO,NGOのかかわり：タミルナードゥ州、ケーララ州などを事例として。

履修上の留意点

インターネットによる資料調査をおこなう。またビデオなども使用。受講人数制限あり。学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席率、レポート内容）重視。

教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』（勁草（けいそう）書房）、その他。

参考書等

教場で指定（インターネットサイトなど。）

その他

ゲストレクチャーを後期に2回予定している。

科目名	総合IV【3〔ポスト・モダンの世界〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	丸小 哲雄				

講義のねらい

本講座は、総合科目と専門科目の「あいまいな」通路を拓き、連動していくことが狙いである。「いい大学を出て、大企業に就職する」という「幸福な方程式」から絶対に避けることのできない遇有的な不確実性にどのように対応するかという「人生の方程式」に向けて講義してゆく。そこで「いま・ここ」における社会現象に向き遇って問題意識を高めてもらうために、「生活知」（人間の時間）と「世界知」（科学の時間）を、つまり「熱い知」と「冷たい知」を結び付けて、その中間にあるあいまいな生の「遇有性」（不確実の時代）のダイナミズムを自分の主体的な「生活知」のなかで生かせるように講義を進める。

講義の狙いは、「近代化とは何か」を問うために、「ポストモダンの世界」を開き、モダン近代化批判する主体的な能力を育むことで現代文明の本質を捉え直すことにある。ここには近代化批判による現代文明論と主体性の確立という二つの大きな特徴がある。一つ目の特徴は、近代化における科学観・社会観・人間観を構造的・思想的に見直しするために、近代知の権力の座（特権化された場）を移動・転倒させ、固定概念の構造をこじ開けることである。二つ目の特徴は、聴講生自らが近代知批判の複眼的な思考や答えに逢着する過程のなかで、自ら置かれている現状を対象化（＝他者）して、日常世界にそれを重ね合わせて、「自分の居場所探し」（主体性の確立）を確保することである。

講義の内容・授業スケジュール

社会的な問題（現象）を取り上げてコメントし、問題点を指摘して、モダン（近代史）とポストモダン（現代史）のズレとその課題を認識するために、クラス外では文庫本・新書版の読書課題もありますが、本講義の骨子は以下の通りです。

- 1) 総合IVの性格と意義
- 2) 現代という時代の捉え方
- 3) 「プリモダン」・「モダン」と「ポストモダン」という言葉の定義と時代認識の問題
- 4) ルネッサンス以後の人間観・宇宙観・社会観の思想的な変遷
- 5) 言語の恣意性：ラングとパロール（ソシユールの言語観など）
- 6) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の変遷：建築の変遷、広告及び世界万博の変遷、エロスの変遷、ファッション・モードの変遷など。
- 7) 理性批判の整理：思想史の観点（ポストモダン）からモダン批判
 - ① プレモダン・モダンという近代史（ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクスなど）
 - ② モダン思想的批判の源泉（ニーチェ・フランクフルト学派・ハイデガーなど）
 - ③ 合理性と非合理性理の問題（マックス・ヴェーバーなど）
 - ④ モダン批判：外部の力と内部の力（ミッシェル・フーコーなど）
- 8) ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題
- 9) レビュー：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

平常クラスでの発表（出席率と質疑応答）、前期と後期のリーディング・テスト課題、学年末に提出するターム・ペーパー

教科書

- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法、提出日、提出場所も指示）
- ・多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

参考書等

講義のときに、随時指示します。

3. 外国語科目

3. 外国語科目

《必修・選択必修科目》

〔英 語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語IA	金4	放1必	通年	2	鈴木 美貴子	107
英語IA	金4	放1必	通年	2	近藤 真彫	107
英語IB	金1	放1必	通年	2	尾形 重政 田中 保	108
英語IB	金1	放1必	通年	2	大淵 利春	108
英語IIA	金2	放2必	通年	2	古富 猛	109
英語IIA	金2	放2必	通年	2	高橋 佳江	109

外国語

《再履修クラス》

〔英 語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語IA〔再クラス〕	月1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	濱口 真木	110
英語IA〔再クラス〕	月1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	松堂 啓子	110
英語IA〔再クラス〕	月2	全学科（フレB除く）234年	通年	2	岩井 洋美	111
英語IA〔再クラス〕	月2	全学科（フレB除く）234年	通年	2	牧野 輝良	111
英語IA〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	熊沢 和明	112
英語IA〔再クラス〕	火5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	塙 美智子	112
英語IA〔再クラス〕	木2	全学科（フレB除く）234年	通年	2	丸小 哲雄	113
英語IA〔再クラス〕	木3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	近藤 真彫	113
英語IA〔再クラス〕	土1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	岡本 誠	114
英語IA〔再クラス〕	土2	全学科（フレB除く）234年	通年	2	岩原 康夫	114
英語IA〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	熊沢 和明	115
英語IB〔再クラス〕	月1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	高見 陽子	115
英語IB〔再クラス〕	月4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	菅原 典子	116
英語IB〔再クラス〕	月5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	佐藤 江里子	116
英語IB〔再クラス〕	水1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	落合 和昭	117
英語IB〔再クラス〕	木2	全学科（フレB除く）234年	通年	2	高柳 文江	117
英語IB〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	山岸 二郎	118
英語IB〔再クラス〕	木3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	太田 由紀子	118
英語IIA〔再クラス〕	月4	全学科（フレB除く）34年	通年	2	竹村 恵都子	119
英語IIA〔再クラス〕	月5	全学科（フレB除く）34年	通年	2	山口 晃	119
英語IIA〔再クラス〕	火4	全学科（フレB除く）34年	通年	2	三幣 友行	120
英語IIA〔再クラス〕	火4	全学科（フレB除く）34年	通年	2	澤田 真弓	120
英語IIA〔再クラス〕	水1	全学科（フレB除く）34年	通年	2	前田 脩	121
英語IIA〔再クラス〕	木2	全学科（フレB除く）34年	通年	2	外池 一子	121
英語IIA〔再クラス〕	木3	全学科（フレB除く）34年	通年	2	古富 猛	122
英語IIA〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）34年	通年	2	飯沼 好永	122

《選択科目》

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ドイツ語IA (選)	火 2	全学科 (フレB除く) 選	通年	2	松岡 晋	123
ドイツ語IB (選)	金 2	全学科 (フレB除く) 選	通年	2	井村 行子	123
英会話I	月 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ロビン、G.F.	124
英会話I	月 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ロビン、G.F.	125
英会話I	火 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ウェルズ、J.K.	126
英会話I	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ウェルズ、J.K.	127
英会話I	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ソルタ、P.N.F.	128
英会話I	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ソルタ、P.N.F.	129
英会話I	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	レーン、C.M.	130
英会話I	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	レーン、C.M.	131
英会話I	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ピアス、D.M.	132
英会話I	金 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ピアス、D.M.	133
英会話I	土 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	レイン、R.V.	134
英会話I	土 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ラッセル、S.J.	135
英会話II	水 1	全学科 (フレB除く) 234選	通年	2	ソルタ、P.N.F.	136
英会話II	土 1	全学科 (フレB除く) 234選	通年	2	ラッセル、S.J.	137
英会話II	土 2	全学科 (フレB除く) 234選	通年	2	レイン、R.V.	138

英語LLI	月 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A 放1234 選	通年	2	西村 祐子	139
英語LLI	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A 放1234 選	通年	2	塙 美智子	140
英語LLI	火 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A 放1234 選	通年	2	塙 美智子	140
英語LLI	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A 放1234 選	通年	2	西村 祐子	141
英語LLI	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A 放1234 選	通年	2	外池 一子	142
英語LLI	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A 放1234 選	通年	2	外池 一子	143
英語LLI	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A 放1234 選	通年	2	甲斐 捷子	144
英語LLI	土 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法 A 政営 A 放1234 選	通年	2	久保 ひさ子	144
英語LLII	月 3	全学科 (フレ B 除く) 234選	通年	2	西村 祐子	145
英語LLII	木 2	全学科 (フレ B 除く) 234選	通年	2	高橋 明子	146
英語LLII	金 3	全学科 (フレ B 除く) 234選	通年	2	甲斐 捷子	146

英 語 I A

〈英語 I Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	英語I A	開講	通年	単位	2
配当	放1必				
担当者名	鈴木 ^{すずき} 美貴子 ^{みきこ}				

講義のねらい

文法を復習しながら英作文力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに従って学ぶ。随時こちらで用意したりスニング教材で会話表現を学ぶ。

履修上の留意点

必ず辞書 (英和・和英) 持参。

成績評価の方法

出席状況、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。

教科書

『日常英語ライティング入門』(成美堂、1800円)
ISBN4-7919-1041-9 C1082

外国語

科目名	英語I A	開講	通年	単位	2
配当	放1必				
担当者名	近藤 ^{こんどう} 真彫 ^{まほり}				

講義のねらい

英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

最新の英字新聞やインターネットのニュースサイトからの記事を、単語や表現に注意しながら読んでいきます。その上で、英語での意見の表現法を学びながら、記事内容について自分の意見を述べる練習をします。

履修上の留意点

必ず辞書を持参してください。

成績評価の方法

前期と後期の定期試験の成績 (50%) と通常の授業での課題 (50%) を総合して評価します。

教科書

授業の第一回目に指示します。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	放1必				
担当者名	おがた しげまさ たなか たもつ 尾形 重政・田中 保				

外国語

講義のねらい

入学時の英語力を利用して、より高度な英文の構文を理解し、また、文章の大意を把握する力を培う。さらに総合的な英語運用能力を身につけるように学習します。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行います。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に臨むこと。

成績評価の方法

前期の成績・授業時の発表・後期の試験・出席状況等を総合的に検討して評価します。

教科書

前期は『The world at a Glance —世界事情拝見』(南雲堂) ISBN4-523-17525-X C0082
後期は最初の授業のときに教室で指示しますので、必ず出席して下さい。

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	放1必				
担当者名	おおふち としける 大淵 利春				

講義のねらい

英語のリスニング力、リーディング力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに毎回15分程度 of リスニングの練習を行い、その後テキストの長文を読んでいく。

履修上の留意点

予習をすること。辞書を忘れずにもってくること。

成績評価の方法

前、後期2回のテストの結果を50%、平常点(出席率、授業への取り組み方など)を50%として評価する。

教科書

『英語ニュースで読む現代社会2007』(金星堂) 1800円

英 語 II A

〈英語 II Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	放2必				
担当者名	こども たけし 古富 猛				

講義のねらい

日本人が何年も英語を学校で時間をかけて学んでいるのに、スピーキングが苦手であるのは周知の通りである。私自身もネイティブ・スピーカーとの会話に四苦八苦している。これからの学生さんはもっと語学をやらざるを得ないのではなかろうか。異文化との接触はストレスでもあるが、自分の世界を広げることにもなる。何とか身につける指針だけでも示したいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

やはり日本人はリーディング能力を生かすべきだと痛感している。ストーリー性のあるテキストを選んで多読をし、パターン・プラクティスを心がけてもらいたい。

履修上の留意点

授業は予習をしてきてもらいたい。

成績評価の方法

出席と発表を日常の評価として、平常点とし、前・後期の筆記試験で総合的に評価を出します。

教科書

教場にて追って指示します。

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	放2必				
担当者名	たかほし よしえ 高橋 佳江				

講義のねらい

文法を理解しながら、最終的にはある程度高度な内容の会話ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを最初は細かく、だんだん速く理解、実践できるようにする。

履修上の留意点

授業時の発言点をポイントとしていくため、出席しているだけではなく、発言することが必要になってくる。そのため予習を必ずしてこること。

成績評価の方法

出席が授業回数の2/3以上で(遅刻3回で欠席1回とする)、発言点、前期、後期の試験(60点以上)の者を合格とする。

教科書

教科書は初回の授業時に指示する。

〔再履修クラス〕

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	濱口 眞木				

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、基本的な文法・構文を再確認しつつ、総合的な英語の運用能力をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめていく。また、英語力の確認と向上を図るため、小テストもおこなう。

履修上の留意点

授業は平常点を重視するので、必ず予習をして授業に参加してください。

成績評価の方法

出席や発表などの平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）の総合評価とします。

教科書

前期・Focus on Communication 1「基本文型からコミュニケーションへ」
後期・Focus on Communication 2「音の理解からコミュニケーションへ」
朝日出版社 ￥1,400-ISBN978-4-255-15442-8・978-4-255-15443-5

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	松堂 啓子				

講義のねらい

基礎的な文法を確認しながら、短い英文を書けるようにする。また、リスニング力の強化も併せて行う。

履修上の留意点

単位取得には、三分の二以上の出席が必要である。

成績評価の方法

試験の結果、課題等を含めて総合的に評価する。

教科書

『Three-line Writing in English』成美堂 ￥1800 ISBN4-7919-1041-9

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	岩井 洋美				

講義のねらい

基本文法を復習すると同時に語彙と表現を増やし、自分の事や身近な事をライティング、スピーキングの両面でやりとりすることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に進めていきます。口頭での質疑応答、聞き取り、英作文の練習問題を行います。スピーキングや復習テストをクラス内で随時行う予定です。

履修上の留意点

欠席、遅刻をしないことと1回めの授業に必ず出ること。出席とやる気のある授業態度を最も重視します。8回以上の欠席、4回以上連続の無断欠席をした者は単位は取れません。

成績評価の方法

出席、授業態度の平常点100、前・後期試験各100、スピーキングテスト復習テスト100、合計240点以上で単位取得とします。

教科書

1回目の授業までに大学教科書売り場で購入して置いてください。

外国語

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	牧野 輝良				

講義のねらい

英文構造の理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間リーダの部分を読み、その後日本語に訳し提出すること。

履修上の留意点

かならず出席し、指名されたら和訳が出来るように予習しておくこと。

成績評価の方法

3課進む毎に和訳の小テスト、毎時間の和訳の提出、期末テスト等により総合的に評価する。

教科書

田本 & Sanada 著『基本英語表現』（成美堂）1,600円
ISBN4-7919-4907-2 C1082

科目名	英語ⅠA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	くまざわ かずあき 熊沢 和明				

- 講義のねらい

英語の基礎的な口語運用能力を確認し、コミュニケーション能力を引き伸ばすことをねらいとします。
- 講義の内容・授業スケジュール

平易なコミュニケーション能力開発用教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。
- 履修上の留意点

英語が苦手でも積極手に授業参加する姿勢を評価します。
- 成績評価の方法

出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。
- 教科書

『NEW ACTIVATOR』（金星堂）
- その他

土曜3限

科目名	英語ⅠA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	ほむら みちこ 埴 美智子				

- 講義のねらい

英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール

テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。
- 履修上の留意点

辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。
- 成績評価の方法

日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
- 教科書

『Appreciating European Culture 一生まれ変わるヨーロッパー』
（成美堂）1,800円
- 参考書等

その都度黒板に板書し案内する。
- その他

大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える努力をする。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	丸小 ^{まるこ} 哲雄 ^{てつお}				

講義のねらい

広告制作のしくみとそのイデオロギーを捉えることは広告の解読になる。同時に人々の欲望を管理している広告を読み解くことは、消費者として喪失している主体性を回復することでもある。

講義の内容・授業スケジュール

リスニングとリーディングによって読込みと思考を養い、発信型のコミュニケーション力を補完していきます。

履修上の留意点

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前提条件です。私語は厳禁。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者に別途評価します。

教科書

- ・リーディングとリスニングのテキスト
- 1. Decoding Advertisements 英宝社
- 2. Daily Life Listening 英宝社 ISBN4-269-44041-4 C1082

参考書等

参考書を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

外国語

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	近藤 ^{こんどう} 真彫 ^{まほり}				

講義のねらい

英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

最新の英字新聞やインターネットのニュースサイトからの記事を、単語や表現に注意しながら読んでいきます。その上で、英語での意見の表現法を学びながら、記事内容について自分の意見を述べる練習をします。

履修上の留意点

必ず辞書を持参してください。

成績評価の方法

前期と後期の定期試験の成績（50％）と通常の授業での課題（50％）を総合して評価します。

教科書

授業の第一回目に指示します。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	岡本 誠 <small>おかもと まこと</small>				

講義のねらい

日本人の学生が弱点としている聴く力を養成したく、聴いて書いていく、つまり原稿を書き上げていく作業を行う。つまり、Writingを聴く力を前提にしてやろうというわけである。

講義の内容・
授業スケジュール

なにを聴くか、その材料はこちらから提供するが、英語の慣用的な表現がどのようないきさつで日常の言語生活に定着したのか説明したものである。原稿を書き上げたら、その独特の表現を自分でも使えるようにしてほしい。

履修上の留意点

辞書必携。着帽禁止。ケータイは off。

成績評価の方法

発表状況・出席状況・遅刻状況・テストの結果等の総合評価。

教科書

特定のものは使用しない。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	岩原 康夫 <small>いわはら やすお</small>				

講義のねらい

英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらおう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書

Cultivating Writing Skills（朝日出版）2000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	英語I A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	くまさわ かずあき 熊沢 和明				

講義のねらい

英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点

英語が苦手でも積極手に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法

出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

教科書

『今日の問題二つの見方
Opposite Opinions on News Topics』 Brian Powle 著
長阪 朱美 編 1785円

その他

土曜2限

科目名	英語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	たかみ ようこ 高見 陽子				

講義のねらい

英文を速く的確に読むための基礎を身につけることを主な目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

音読やリスニングを通して英語のリズムに慣れることと、精読とは異なる「理解しながら読む」方法に慣れること、この二点を軸に英文を読みこなすための基礎的な練習をします。英文を読む際は、まず全体に目を通して要点と話の流れを把握してから、もう一度詳しく読み直して一回目の読解内容を確認します。

履修上の留意点

必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。前・後期末試験の結果をベースに、小テスト・レポート等の結果と授業中の取り組みなどの平常点を加味して、総合的に評価します。

教科書

テキストについては、第一回目の授業で指示します。

科目名	英語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	菅原 <small>すがわら のりこ</small> 典子				

講義のねらい

比較文化論的観点に立ち日米の文化や考え方の違いについて学びながら、英語の運用能力向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めながら、練習問題もやっていきます。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること。

成績評価の方法

前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。

教科書

Simply America, Simply Japan 『ちょっと日米比較』 Jim Knudsen、石井隆之、金澤順一、木村博是、樋口忠彦、松田聡太郎、村松秀紀 南雲堂 定価1470円（税込） ISBN4-523-17308-7

外国語

科目名	英語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	佐藤 <small>さとう えりこ</small> 江里子				

講義の内容・授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないので注意すること。

成績評価の方法

定期試験（50％）と小テスト、提出物、発表などの平常点（50％）から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

教科書

『大学生のための初級英語』（南雲堂）¥1900＋税

科目名	英語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭				

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前期試験が20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%。出席率は平常授業（前期・後期試験は除く）3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。

教科書

『音の理解からコミュニケーションへ』 朝日出版社 1400円
ISBN978-4-255-15443-5
『初めてのビジネス英語、大学からビジネス・ワールドへ』 金星堂 1800円
ISBN4-7647-3655-1

外国語

科目名	英語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	たかやなぎ ふみえ 高柳 文江				

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく、英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

簡潔な文章のReadingだけではなく、Listeningにも重点がおかれます。章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により更なる理解を深めるよう構成されています。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が必須です。座席指定

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み）40%

教科書

第1回目の授業にて通知します。

科目名	英語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	やまぎし じろう 山岸 二郎				

講義のねらい

英文の基本構造を理解すると共に運用力の向上に努める。

講義の内容・授業スケジュール

文型を意識しながら英文を読み、それをテープで聴きリズムに慣れる。授業ではこの訓練に集中する。音声によるアプローチは、英語再入門には効果的学習法である。

履修上の留意点

ノートを用意する。短文を暗誦して書き留める。随時小テストで学習内容を確認し、その定着を計る。

成績評価の方法

平常の学習を重視する。小テスト、発表、レポート、テスト等総合して評価する。

教科書

『Focus on communication (1)』（朝日出版社）

科目名	英語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おわた ゆきこ 太田 由紀子				

講義のねらい

聴解力と読解力を養う。それを可能にするべく単語力、構文理解力を高める。また扱う資料を通して英語圏の文化についての理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞する。それと平行して彼の自伝を読む。映画鑑賞については英語字幕にする場合と日本語字幕にする場合とあるが、これにより読解力と聴解力を養う。映画の粗筋（英文）も読む予定だが、映像と音声で展開された物語の要約に触れることで英語の理解力を高めたい。そして映画に関係の深い箇所を彼の自伝 My Autobiography から抜粋して読む。これについては音声テープもついているので利用する。いずれの作業においても英文法の確認作業をする。

履修上の留意点

毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。

成績評価の方法

授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。

教科書

随時、プリントを配布する。

参考書等

安井稔 『英文法総覧』（開拓社）、江川泰一郎 『英文法解説』（金子書房）
Charles Chaplin. My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction)
チャールズ・チャップリン 『チャップリン自伝』 中野好夫訳（新潮文庫 上下巻に分冊。下巻は絶版）

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	竹村 恵都子 <small>たけむら えつこ</small>				

講義のねらい

主として Speaking や Writing の英語運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に、テープも利用しながら演習形式で授業を進めます。

履修上の留意点

遅刻・欠席をせず、予習を含め、積極的な授業参加をすること。

成績評価の方法

前期・後期の試験を主として、授業時の発表及び出席率などを総合的に評価します。

教科書

未定

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	山口 晃 <small>やまぐち あきら</small>				

講義のねらい

IAを土台にして、さらに豊かな表現ができるようになってほしい。そのため、同じことが様々に表現できることを授業の中で感じてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

IAのとき以上に複合的な文脈を把握する練習をしたい。表現のためのものになる思考を深める工夫をしたい。

履修上の留意点

語学の授業なので、出席は重視する。発表には加わってもらおう。遅刻は授業のさまたげになるので、注意してほしい。

成績評価の方法

出席回数、授業での発表、レポート、テストの四つを総合的に考えて評価する。

教科書

プリントを配布する。辞書は毎回かならず持ってくること。

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	三幣 友行 <small>みぬき ともゆき</small>				

講義のねらい

英語IAで学んだことを基礎にして、英語による意思伝達能力の向上をはかることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって英語の口語表現を学んでいく。

履修上の留意点

予習を前提として授業をすすめる。

成績評価の方法

前期試験、後期試験、小テスト、出席点、平均点を総合的に評価する。

教科書

未定

その他

詳しいことは初回の授業で説明する。

外国語

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	澤田 真弓 <small>さわだ まゆみ</small>				

講義のねらい

毎回興味深いエッセイを取り上げて簡単な英語表現を学び、リスニングやリーディングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。

教科書

Blake Baxter 著、大橋久利 編 『The Culture of Clothes 世界の衣生活』（成美堂）
1,600円 ISBN4-7919-1258-6

科目名	英語II A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	前田 脩 <small>まえだ おきむ</small>				

講義のねらい

英文になれ、やさしい英語による表現を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的短い英文を読み、その英文に沿った英語表現とリスニングをおこないます。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること、求められた英語表現レポートは必ず提出してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期と後期の試験結果を総合的に評価します。

教科書

「エンジョイ・イングリッシュ」朝日出版 1700円 ISBN4-255-15390-6 C1082

科目名	英語II A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	外池 一子 <small>とほいけ かずこ</small>				

講義のねらい

現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は基礎的な英語の力（読む・書く）があることを確認します。（e-learning教材を使用する場合があります。）後期はさまざまなテーマについて英語で意見を述べる訓練をします。

履修上の留意点

コンピューター教室を使用する場合がありますのでユーザーIDおよびパスワードを取得しておく事。基本的なコンピューターの操作ができることが望ましい。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。（e-learning教材使用の場合、教材費4,000円）

その他

日ごろから新聞を読んだりニュースを聞いたりして、自分の身の周り・日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、それらについて自分の意見を持つよう心がけてください。

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	こども たけし 古富 猛				

講義のねらい

日本人が何年も英語を学校で時間をかけて学んでいるのに、スピーキングが苦手であるのは周知の通りである。私自身もネイティブ・スピーカーとの会話に四苦八苦している。これからの学生さんはもっと語学をやらざるを得ないであろう。異文化との接触はストレスにもなるが、好奇心を捨てない限り、これほどおもしろいものはない。自らの心を鎖国状態にして、メリットは何もない。よって何とか身につける指針だけでも示したいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

やはり日本人はリーディング能力を生かすべきだと痛感している。多読用のテキストを選び、パターン・プラクティスこそが、英語を身につける第一歩と心がけてもらいたい。

履修上の留意点

授業は予習をしてきてもらいたい。

成績評価の方法

出席と発表を日常の評価として、平常点とし、前・後期の筆記試験で総合的に評価を出します。

教科書

教場にて、追って指示します。

外国語

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	いいのま よしなが 飯沼 好永				

講義のねらい

英語の基本的な文法事項を確認しながら、自分の考えを表現できる英語力を身に付けること目指します。

履修上の留意点

予習を忘れずに、積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書

『The Real World Today New Edition』 桐原書店 ￥750 ISBN4-342-41200-4

《選択科目》

科目名	ドイツ語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	全学科(フレB除く)選				
担当者名	まつおか すすむ 松岡 晋				

講義のねらい

週一回、一年間の授業でドイツ語の初級文法をマスターすることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語のアルファベット、発音規則の説明から始めて、冠詞、動詞の現在時制、過去時制、完了自制等々という具合にゆっくりと文章構造と表現様式の理解を深めてゆきます。補助的に適宜ネイティブ・スピーカーの発音を収録したCDを用いることも考えております。ともかくゆっくりと、皆さんとともに先へ進んでゆくつもりです。

履修上の留意点

文法の学習は積み重ねですから、定期的出席が前提条件です。また、初回の授業のさいに中型の「独和辞典」を何種類か紹介いたしますので、そのうちの一つを入手し、以降つねに持参ください。

成績評価の方法

期末試験(7月)、学年末試験(1月)以外に何度か小テストを行いません。そのほかに平常点(出席率、授業中に指名された時の口頭練習の結果など)を加味して成績評価をいたします。筆記試験と平常点の成績評価に占める割合は同等であると考えてください。

教科書

未定

その他

実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を取めたプリントを何度か配布いたします。

外国語

科目名	ドイツ語IB (選)	開講	通年	単位	2
配当	全学科(フレB除く)選				
担当者名	いむら ゆきこ 井村 行子				

講義のねらい

ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って進めます。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

近藤/小林/新倉/松尾『Dialog 一ペーシック版』(郁文堂)

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL® のスコア 450 点、TOEIC® のスコア 500 点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ロビン, G. F.				

外国語

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

FIFTY FIFTY
STUDENT BOOK 1
WARREN WILSON
ROGER BARNARD
ISBN-10 9620056655
10 digit

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ロビン, G. F.				

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・
授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

FIFTY FIFTY
STUDENT BOOK 1
WARREN WILSON
ROGER BARNARD
ISBN-10 9620056655
10 digit

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ウェルズ, J. K.				

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I
Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

外国語

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%
Tests : 25% (one test each semester)
Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

科目名	英会話	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ウェルズ, J. K.				

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

科目名	英会話	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ソルタ, P. N. F.				

講義のねらい

Introduction and Class Goals: English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

Class Contents: Fifteen units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1: Introductions / Classroom Language
- Unit 2: Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3: Locations / Telephoning (1)
- Unit 5: There is ... There are... / Quantities
- Unit 6: Have..., Want..., Would like..., / Shopping (1)
- Unit 7: Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9: Present Continuous / telephoning (2)
- Unit 10: Fashion / Shopping (2)
- Unit 12: Present Simple / Occupations
- Unit 13: Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit 14: Transportation / Work & School
- Unit 15: The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

Class Regulations and Prerequisites: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

Student Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Textbook and Materials: **Communicate: book 1a** / David Paul / Macmillan Language-House, ¥1,230, ISBN 0-435-26119-3.

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ソルタ, P. N. F.				

講義のねらい

Introduction and Class Goals: English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・
授業スケジュール

Class Contents: Fifteen units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

Unit 1: Introductions / Classroom Language

Unit 2: Likes and Dislikes / Adjectives

Unit 3: Locations / Telephoning (1)

Unit 5: There is ... There are... / Quantities

Unit 6: Have..., Want..., Would like..., / Shopping (1)

Unit 7: Uncountable nouns / At a Restaurant

Unit 9: Present Continuous / telephoning (2)

Unit 10: Fashion / Shopping (2)

Unit 12: Present Simple / Occupations

Unit 13: Adverbs of frequency / Routines (1)

Unit 14: Transportation / Work & School

Unit 15: The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

Class Regulations and Prerequisites: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

Student Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Textbook and Materials: **Communicate: book 1a** / David Paul / Macmillan Language-House, ¥1,230, ISBN 0-435-26119-3.

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	レーン, C. M.				

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・
授業スケジュール

(If the above is too detailed then please use the below instead)

During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy or unable to try then they might find this class difficult.

成績評価の方法

(ア) Attendance 20%
 (イ) Participation during class 50%
 (ウ) Homework 10%
 (エ) Individual presentation 10%
 (オ) Group presentation 10% As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

A good dictionary
 A file to keep work sheets together-A4 size

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	レーン, C. M.				

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・授業スケジュール

(If the above is too detailed then please use the below instead)
 During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

外国語

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy or unable to try then they might find this class difficult.

成績評価の方法

(ア) Attendance 20%
 (イ) Participation during class 50%
 (ウ) Homework 10%
 (エ) Individual presentation 10%
 (オ) Group presentation 10% As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

A good dictionary
 A file to keep work sheets together-A4 size

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

Program Content:

During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning English, but using the English you already know. The program should enable you to perform very simple activities such as foreign travel, chatter with foreigners, and effective communication in practical circumstances. Concentration on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC patterns is a long-range effort to improve your qualifications. There will be intensive practice in composition as well.

講義の内容・
授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1	addressing people	CLASS 16	consumption
CLASS 2	addressing people	CLASS 17	courtship
CLASS 3	social hierarchy	CLASS 18	courtship
CLASS 4	social hierarchy	CLASS 19	adolescence
CLASS 5	self expression	CLASS 20	adolescence
CLASS 6	self expression	CLASS 21	social classes
CLASS 7	gift-giving	CLASS 22	social classes
CLASS 8	gift-giving	CLASS 23	candor
CLASS 9	informality	CLASS 24	candor
CLASS 10	informality	CLASS 25	authority
CLASS 11	news coverage	CLASS 26	authority
CLASS 12	news coverage	CLASS 27	employment
CLASS 13	personal freedom	CLASS 28	employment
CLASS 14	personal freedom	CLASS 29	politicians
CLASS 15	consumption	CLASS 30	politicians

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: *Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.* Your final grade depends 70% on your classes performance, in every class. Records are kept of your participation in every single class meeting. Attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Students are graded according to improvement during the year; an "A" is possible for anyone.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

Program Content:

During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning English, but using the English you already know. The program should enable you to perform very simple activities such as foreign travel, chatter with foreigners, and effective communication in practical circumstances. Concentration on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC patterns is a long-range effort to improve your qualifications. There will be intensive practice in composition as well.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1	addressing people	CLASS 16	consumption
CLASS 2	addressing people	CLASS 17	courtship
CLASS 3	social hierarchy	CLASS 18	courtship
CLASS 4	social hierarchy	CLASS 19	adolescence
CLASS 5	self expression	CLASS 20	adolescence
CLASS 6	self expression	CLASS 21	social classes
CLASS 7	gift-giving	CLASS 22	social classes
CLASS 8	gift-giving	CLASS 23	candor
CLASS 9	informality	CLASS 24	candor
CLASS 10	informality	CLASS 25	authority
CLASS 11	news coverage	CLASS 26	authority
CLASS 12	news coverage	CLASS 27	employment
CLASS 13	personal freedom	CLASS 28	employment
CLASS 14	personal freedom	CLASS 29	politicians
CLASS 15	consumption	CLASS 30	politicians

外国語

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: *Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your classes performance, in every class. Records are kept of your participation in every single class meeting. Attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Students are graded according to improvement during the year; an "A" is possible for anyone.*

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	レイン, R. V.				

講義のねらい

This course will help students to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation-giving skills.

講義の内容・
授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving one-minute presentations on a TV commercial of their choice in front of the class.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the textbook activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss
title: Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4
publisher: Longman
date: 2003
ISBN 0-13-183937-3

APPROX, 45 COPIES OF TEXTBOOK ARE NEEDED FOR THIS CLASS

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ラッセル, S. J.				

講義のねらい

English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive-style learning will be a feature of the classes so, good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive intention to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

English Firsthand Book 1 ISBN 962-00-5345-1
Published by Longman

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL® のスコアー480点、TOEIC® のスコアー700点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
配当	全学科 (フレB 除く) 234選				
担当者名	ソルタ, P. N. F.				

外国語

講義のねらい

Aims and Objectives: English Conversation II was designed for high school graduates, who have studied English for at least six years at junior and senior high school, and have successfully completed English Conversation I. The course provides such students with the necessary environment in which to improve upon and expand their abilities to communicate in natural spoken English. This naturally leads to greatly increased confidence in oral communications. The course seeks to give students the necessary competence in talking about various everyday topics that will enable them to establish and maintain meaningful relationships with native English speakers of their own age.

講義の内容・授業スケジュール

Course Contents: A textbook with 12 units and the instructors worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered in this course are:

- Unit 1: Personal information / Talking about likes and dislikes
- Unit 2: Friends & Friendship / Personal experiences
- Unit 3: Romantic relationships / Dating
- Unit 4: Shopping
- Unit 5: Summer vacations / Domestic & foreign Travel (1)
- Unit 6: Jobs / Job interviews
- Unit 7: Opinions / Reasons for opinions
- Unit 8: Music / Pop groups
- Unit 9: Personality / Strengths & Weaknesses
- Unit 10: Money & Budgets / Prices & Numbers
- Unit 11: Responses in various situations / Stories
- Unit 12: Plans for the future

履修上の留意点

Registration Requirements & Class Rules: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years, and have passed English Conversation I. Students must be willing and able to take a class where all teaching is done in English, and where students are required to speak English at all times. Students should also note that constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation II.

成績評価の方法

Grading and Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on a student's attitude towards the class and class performance throughout the year (40%). The End-of-term exam will normally be a ten-minute one-to-one interview with the teacher. If student numbers are too large to make this type of exam practical, then an exam with listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+ 10%) or two absences (+ 5%) throughout the year.

教科書

Textbook: **Face To Face: English for Today's Generation**, Dale Fuller & Corey Fuller, Macmillan LanguageHouse. Student's Book 1 (¥2,100 + tax).

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	ラッセル, S. J.				

講義のねらい

English Conversation 2 is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

English Firsthand 2 ISBN 962-00-5347-8
Published by Longman

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	レイン, R. V.				

講義のねらい

This course will help students to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation-giving skills.

講義の内容・
授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving one-minute presentations on a TV commercial of their choice in front of the class.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the textbook activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss
 title: Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4
 publisher: Longman
 date: 2003
 ISBN 0-13-183937-3

英 語 L L I

〈英語LLIの授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL® のスコア450点、TOEIC® のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

講義のねらい

基本的な表現をつかっても「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現を学習。フラッシュカードを使って基本表現を覚えつつCDで発音とイントネーションを修正しながら聞き取り力を増強する。ペアワークをおこなう。
9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明、簡単な英語のプレゼンテーションを繰り返しおこない、英語で話すことになれる。

履修上の留意点

全員コンピュータIDを取得しておくこと。(総合情報センターで取得可能)。

成績評価の方法

出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、発表などによる。定期試験は実施しない。

教科書

Essential Listening 3 (Macmillan)、フラッシュカードとCD (別配布)

参考書等

授業中に提示する。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	<small>はなわ みちこ</small> 塙 美智子				

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

'Experience America!' - An Authentic DVD English Language Text -
 (金星堂) ¥2,300

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	<small>はなわ みちこ</small> 塙 美智子				

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

'Experience America!' - An Authentic DVD English Language Text -
 (金星堂) ¥2,300

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

講義のねらい

基本的な表現をつかかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・ 授業スケジュール

4－7月：基本的な会話表現を学習。フラッシュカードを使って基本表現を覚えつつCDで発音とイントネーションを修正しながら聞き取り力を増強する。ペアワークをおこなう。
9－12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明、簡単な英語のプレゼンテーションを繰り返しおこない、英語で話すことになれる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、発表などによる。定期試験は実施しない。

教科書

Essential Listening 3 (Macmillan)、フラッシュカードとCD (別配布)

参考書等

教場で指定する。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	とのいけ かずこ 外池 一子				

講義のねらい

リスニングに欠かせない英語の音声変化と聞き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後比較的短いモノローグやダイアログ、英語のニュースなどを正確に聞き取れるようになることを目指します。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. テキストに従って、以下の項目を学習します。
 - (a) 個音（母音、子音）の識別
 - (b) 連結
 - (c) リダクション（機能語の弱形・縮約形）
 - (d) 脱落・同化
 - (e) リズム、イントネーション

2. 実際の聞き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを身につけていきます。

履修上の留意点

授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。
また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。

その他

毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	外池 一子 <small>とのかいけ かずこ</small>				

講義のねらい

リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後比較的短いモノログやダイアログ、英語のニュースなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. テキストに従って、以下の項目を学習します。

- (a) 個音（母音、子音）の識別
- (b) 連結
- (c) リダクション（機能語の弱形・縮約形）
- (d) 脱落・同化
- (e) リズム、イントネーション

2. 実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを身につけていきます。

履修上の留意点

授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。
また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。

その他

毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法 A 政営 A 放1234選				
担当者名	甲斐 捷子				

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCD を使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCD を使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

履修上の留意点

ビデオ、CDとも、図書館の視聴覚室で視聴できます。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書

Sounds Right! Sounds Good! マクミランランゲージハウス 2, 000円

参考書等

American Accent Training 2nd ed. Barrons

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法 A 政営 A 放1234選				
担当者名	久保 ひさ子				

講義のねらい

海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎回、小テストあり。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習点と小テストの合計点

教科書

マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂

英 語 L L II

〈英語LLIIの授業内容と履修上の留意点〉

中級：LLI程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL® のスコアー480点、TOEIC® のスコアー700点程度をめざします。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時間を確認してクラスを選んでください。

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	全学科(フレB除く)234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

外国語

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700-750程度。LLIにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書はUnit 8-12まで。
9-12月：LLIIIへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をおいた授業。

履修上の留意点

宿題提出はメールまたは大学教場の共有フォルダーのなかに入れる為、受講学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視(出席率、発表内容など)。

教科書

テキスト：New Headway Pre-intermediate (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway Elementary、および pre-intermediate、その他。

参考書等

使用ビデオ：New Headway (elementary)、および (pre-intermediate)、その他。

その他

前年度LL2の同じ授業をとった学生でも聴講できる。このためテキストは1-7を飛ばし、UNIT8から後半部を集中的にとりあげる。(次年度は1-7を用いる)。

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	高橋 ^{たかはし} ^{あきこ} 明子				

講義のねらい

ニュースや映画などの多量の英語を聴き取って内容を理解し、学習した英語表現を実際に運用できるよう練習を重ねていきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に聴き取りの練習を進め、進度に応じてやや専門的なテーマのスピーチや映画などの教材を学習していきます。TOEICのリスニング・セクションの問題の練習もします。

履修上の留意点

毎回の授業での学習の積み重ねが大事なので、欠席をなるべくしないことを心がけてください。また、受講前にユーザーIDとパスワードを取得してください。

成績評価の方法

平常点（出席状況や小テストなど）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書

『CNN：ビデオで見る世界のニュース（8）』（朝日出版社）2,000円＋税
ISBN978-4-255-15432-9

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	甲斐 ^{かい} ^{かつこ} 捷子				

講義のねらい

日常の身近な問題から現代の諸問題まで、ディスカッションできるところまで、英語の運用能力を高めることが、この授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

全12章のうち、6章を前期で、残り6章を後期でクリアする予定です。

履修上の留意点

特にLLの授業ですので、遅刻、欠席をしないようお願いします。

成績評価の方法

一応の目安として、クイズ30%、前期試験30%、後期試験40%、とします。

教科書

アメリカ口語教本 中級用 WilliamS. Clark 著 研究社 2,600円

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ実習 (室内球技)	金 3	放 1 必	通年	2	村松 誠	151
健康・スポーツ実習 (屋外球技)	金 3	放 1 必	通年	2	秋田 浩一	152
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	月 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営 A 放GM234年	通年	2	三幣 晴三	153
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	月 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営 A 放GM234年	通年	2	三幣 晴三	153
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	月 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営 A 放GM234年	通年	2	三幣 晴三	153
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営 A 放GM234年	通年	2	田中 佳孝	154
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	水 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営 A 放GM234年	通年	2	田中 佳孝	154
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(トレーニング)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営 A 放GM234年	集中授業	2	秋田 浩一	155
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(太極拳)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営 A 放GM234年	集中授業	2	大石 武士	156
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(卓球)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営 A 放GM234年	集中授業	2	村松 誠	157
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営 A 放GM234年	集中授業	2	山口 良博	158
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(卓球)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営 A 放GM234年	集中授業	2	鈴木 淳平	159
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(ソフトボール)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営 A 放GM234年	集中授業	2	高橋 俊介	160
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(トレーニング & 太極拳)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営 A 放GM234年	集中授業	2	光永 吉輝	161
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営 A 放GM234年	集中授業	2	村松 誠	162
保健理論	土 3	放 1 必	半期	2	黒子 幸一	163

科目名	健康・スポーツ実習(室内球技)	開講	通年	単位	2
配当	放1必				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム(1次リーグ)
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム(1次リーグ)
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム(1・2次リーグ)
- 6時限目：ハーフコート3対3、ゲーム(2次リーグ)
- 7時限目：ゲーム(2次リーグ)
(バレーボール)
- 8時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：ゲーム(トーナメント)
(バドミントン)
- 12時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。ボールを扱う競技においては手のつめを短く切ること。体育館専用シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席を70%で評価する。残り30%は、受講態度、ゲーム成果、貢献度を加味して評価する。

科目名	健康・スポーツ実習(屋外球技)	開講	通年	単位	2
配当	放1必				
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一				

講義のねらい

屋外で行なう球技（ソフトボール・サッカー）の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な技術習得や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目～7時限：ソフトボール
（キャッチボール、ノックによる捕球、トスパッティング、ゲーム）
- 8時限目～14時限：サッカー
（キックの基本技術、ボールコントロールの基本技術、スモールサイドゲーム、ゲーム）
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

- 1. 服装は一般的な運動服装とする。
- 2. 運動用シューズを必ず用意すること。
- 3. 用具はすべて貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。(2/3以上の出席が必要)

そ の 他

雨天の場合は他の室内施設を使用し、他のスポーツ種目を行う。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	三幣 晴三				

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、フットサル、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓球(ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン(ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目：〃(ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目：〃(ルールの解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 14 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：フットサル(ルール説明、キックの基本Ⅰ、キーパーなしゲーム)
- 3 時限目：〃(キックの基本Ⅱ、キーパーなしゲーム)
- 4 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅰ、ゲーム)
- 5 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅱ、ゲーム)
- 6 時限目：〃(ゲーム)
- 7 時限目：〃(ゲーム)
- 8 時限目：〃(ゲーム)
- 9 時限目：バスケットボール(パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目：〃(レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目：〃(ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

保健体育

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

その他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項(学習ガイドブック)』を確認の上履修すること。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴史外考社福心営A放GM234年				
担当者名	たなか よしたか 田中 佳孝				

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目: オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目: 卓球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目: " (サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目: " (シングルスゲーム)
- 5 時限目: " (シングルスゲーム)
- 6 時限目: " (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目: " (ダブルスゲーム)
- 8 時限目: " (まとめと評価)
- 9 時限目: フットサル (ルール説明、キックの基本I、キーパーなしゲーム)
- 10 時限目: " (キックの基本II、キーパーなしゲーム)
- 11 時限目: " (ボールコントロールの基本I、ゲーム)
- 12 時限目: " (ボールコントロールの基本II、ゲーム)
- 13 時限目: " (ゲーム)
- 14 時限目: " (ゲーム)
- 15 時限目: " (ゲーム)

【後期】

- 1 時限目: オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目: バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目: " (ソフトバレーの概要とルール)
- 4 時限目: " (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目: " (ゲーム)
- 6 時限目: " (ゲーム)
- 7 時限目: " (ゲーム)
- 8 時限目: " (まとめと評価)
- 9 時限目: バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目: " (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目: " (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目: " (ゲーム)
- 13 時限目: " (ゲーム)
- 14 時限目: " (ゲーム)
- 15 時限目: " (まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球で使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。成績評価を受けるためには2/3以上の出席日数が必要。

その他

曜日・時限によって定員がちがうので注意『履習要項(学習ガイドブック)を確認の上履修。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(トレーニング)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一				

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムIIの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(太極拳)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心堂A放GM234年				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション
：重心の移動・腹式呼吸運動
- 1日目午後：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 2日目午前：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒巻肱
- 2日目午後：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 3日目午前：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 3日目午後：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 4日目午前：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 4日目午後：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 5日目午前：第八組 轉身撒ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
- 5日目午後：総合・テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
 - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(卓球)	開講	集中授業	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

保健
体育

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

- 30分以上の遅刻は認めない。
再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
 - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	山口 良博				

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1)実施期間：(前期)7月17日(火)～21日(土)、(後期)1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2)実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3)実施場所：玉川体育館
 - (4)申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5)備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(卓球)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	すずき じゆんべい 鈴木 淳平				

講義のねらい

1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技能を身につける。
2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営を仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 日目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム
- 2 日目：サービスとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム
- 3 日目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム
- 4 日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
- 5 日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦

履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、室内用のシューズ着用で受講する。

成績評価の方法

出席状況、運動への積極性、受講態度、技術・体力などから総合的に評価する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1)実施期間：（前期）7月17日（火）～21日（土）、（後期）1月5日（土）～9日（水）
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
- (2)実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3)実施場所：玉川校舎第1体育館
- (4)申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5)備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(ソフトボール)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴史日外考社福心堂A放GM234年				
担当者名	たかほし しゆんすけ 高橋 俊介				

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1日目
 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッシング、走塁練習、その他）
 午後：同上
- 第2日目
 午前：ゲーム
 午後： "
- 第3日目
 午前： "
 午後：審判法・ゲーム
- 第4日目
 午前： "
 午後： "
- 第5日目
 午前： "
 午後： "

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(トレーニング&太極拳)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	みつなが よしてる 光永 吉輝				

講義のねらい

この講義では午前には、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクセスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている、全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目
午前：オリエンテーション・体力測定
午後：オリエンテーション・基本動作・第一組(3式)
- 2日目
午前：カイザーカムIIの使用説明、最大筋力測定
午後：第一組、第二組(3式)
- 3日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組(2式)
- 4日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合
- 5日目
午前：体力測定
午後：総合(1~11式)、テスト

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング上で行うので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。
尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期)7月17日(火)~21日(土)、(後期)1月5日(土)~9日(水)
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00~12:00、13:00~15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴史日外考社福心堂A放GM234年				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バトミントン教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム(1次リーグ)
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム(1次リーグ)
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム(1・2次リーグ)
- 6時限目：ハーフコート3対3、ゲーム(2次リーグ)
- 7時限目：ゲーム(2次リーグ)
(バレーボール)
- 8時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：ゲーム(トーナメント)
(バトミントン)
- 12時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14時限目：サーブ、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。ボールを扱う競技においては手のつめを短く切ること。体育館専用シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技点(20点)、態度点(10点)の配分で評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期)7月17日(火)～21日(土)、(後期)1月5日(土)～9日(水)
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
 - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	保健理論	開講	半期	単位	2
配当	放1必				
担当者名	黒子 幸一 <small>くろこ こういち</small>				

講義のねらい

保健一般について医療の現場で行われているプライマリーケア、緩和ケアを理解することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

医療に従事する上で必要な事項を理解するため、医療倫理については患者の人権・自己決定権、インフォームドコンセント、安楽死・尊厳死、蘇生とDNR、体外受精、遺伝子医療を考える、このほか3大疾患、生活習慣病、禁煙活動、メンタルヘルスについて理解する。

履修上の留意点

小テスト、レポート提出を実施する。

成績評価の方法

定期試験、小テスト、レポート、出席状況により評価する。

教科書

『シンプル衛生公衆衛生学』（南江堂）2,400円

参考書等

『臨床緩和ケア』（青海社）2,800円
『医療倫理』（勁草書房）3,000円

その他

授業方法は講義形式を主にビデオ学習、グループディスカッション、ロールプレイを行う。プリント配布、講義スライド資料配布予定

II 專門教育科目

Ⅱ. 専門教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
解剖学	放1必	半期	2	蜂屋 順一	171
環境保健医学	放1必	半期	1	黒子 幸一	171
電気工学	放1必	半期	2	佐藤 昌憲	172
放射線物理学	放1必	通年	2	小山 雅生	173
診療画像技術学概論	放1必	半期	2	西尾 誠示	174
放射線機器概論	放1必	半期	1	氏家 盛通	175
放射線写真学	放1必	半期	2	古川 克治	176
応用数学	放1必	半期	2	野口 勝	177
診療画像技術学実験	放1必	半期	1	西尾 誠示 飯田 幸雄 熊坂 さつき 長谷川 武 三浦 康平	178
医用物理学実験	放1必	半期	1	佐藤 昌憲 北沢 日出男 羽生 毅 小川 雅生 藤森 成一	179
医用化学実験	放1必	半期	1	原田 和正 齊藤 宏 田中 一好 三木 瑛一 山本 裕右	180
医学概論	放2必	半期	2	吉川 宏起	181
臨床医学概論	放2必	半期	2	吉川 宏起	181
生理学	放2必	半期	1	樋口 雄三	182
病理学	放2必	半期	2	蜂屋 順一	182
生化学	放2必	半期	1	原田 和正	183
電子工学	放2必	通年	2	金子 順一	183
原子核物理学	放2必	通年	2	永井 喜則	184
放射化学	放2必	通年	2	山本 裕右	185
放射線生物学	放2必	半期	1	熊坂 さつき	186
放射線計測学	放2必	通年	2	青木 清	187
診療画像技術学	放2必	通年	4	西尾 誠示	188
放射線機器工学	放2必	通年	2	奥山 康男	188
画像工学概論	放2必	半期	2	野口 勝	189
医用画像工学	放2必(診療)	半期	1	瀬尾 育弉	190
画像数学	放2必(画像) 放2選(診療)	半期	1	志村 一男	190

画像検査技術学基礎実習	放2必	半期	1	西尾 誠示 氏家 盛通 谷口 貴久 吉川 達生	191
電気電子工学実験	放2必	半期	1	杉田 徹 青木 清 金子 順一 川副 護 吉田 正廣	192
放射線機器工学実験	放2必	半期	1	奥山 康男 瀬尾 育弉 羽生 毅	193
画像解剖学	放3必	半期	1	蜂屋 順一	194
画像診断技術学I	放3必 (診療) 放3選 (画像)	半期	1	吉川 宏起	194
放射線医学概論	放3必	半期	1	蜂屋 順一	195
医学英語	放3必	半期	1	吉川 宏起	195
医用検査学	放3必	半期	1	奥山 康男	196
診療画像情報学I	放3必	半期	1	西尾 誠示	196
画像診断機器工学	放3必	半期	2	瀬尾 育弉	197
救急医療学	放3必 (診療) 放3選 (画像)	半期	1	奥山 康男	197
臨床医療人間学I	放3必	半期	1	奥山 康男	198
核医学	放3必	通年	4	氏家 盛通	199
応用計測学	放3必	半期	2	小川 雅生	200
放射線腫瘍学	放3必	半期	2	高山 誠	200
応用機器工学	放3必	半期	1	奥山 康男	201
画像工学I	放3必 (画像) 放3選 (診療)	半期	1	高野 正雄	202
画像工学II	放3必 (画像) 放3選 (診療)	半期	1	高野 正雄	202
画像処理言語論	放3必 (画像)	半期	1	近藤 啓介	203
放射線関係法規	放3必	半期	2	青木 清	204
放射線管理学	放3必	半期	1	青木 清	205
技術英語	放3必	半期	1	高橋 優身	206
画像工学実験	放3必	半期	1	高野 正雄 大谷 勝彦 近藤 啓介 瀬尾 育弉 野口 勝 俣野 公志	207
放射線治療技術学実験	放3必	半期	1	佐藤 昌憲 飯田 幸雄 五十嵐 太郎 高城 保 羽生 毅 小川 雅生	208

放射線管理学実験	放3必	半期	1	青木 清 金子 順一 杉田 徹 永井 喜則	209
核医学検査技術学基礎実習	放3必	半期	1	山本 裕右 氏家 盛通 金子 順一 真正 浄光 原田 和正	210
画像検査技術学実習	放3必	半期	4	蜂屋 順一 飯田 幸雄 奥山 康男 西尾 誠示	211
画像診断技術学II	放4必(診療) 放4選(画像)	半期	1	吉川 宏起	211
線量計測工学	放4必(診療) 放4選(画像)	半期	1	小川 雅生	212
診療画像情報学II	放4必(診療) 放4選(画像)	半期	1	西尾 誠示	213
臨床医療人間学II	放4必	半期	1	氏家 盛通	213
放射線治療技術学	放4必	半期	2	高山 誠	214
画像と放射線治療	放4必(診療) 放4選(画像)	半期	1	吉川 宏起	214
放射線学総合演習	放4必	半期	2	奥山 康男	215
医療放射線科学論文講読	放4必(診療)	半期	1	吉川 宏起	215
医療画像科学論文講読	放4必(画像)	半期	1	高野 正雄	216
医療放射線科学総合研究	放4必(診療)	通年	2	青木 清 氏家 盛通 小川 雅生 奥山 康男 金子 順一 佐藤 昌憲 杉田 徹 西尾 誠示 蜂屋 順一 原田 和正 山本 裕右 吉川 宏起	216
医療画像科学総合研究	放4必(画像)	通年	2	高野 正雄 熊坂 さつき 近藤 啓介 瀬尾 育武 野口 勝	217
核医学検査技術学実習	放4必	半期	2	吉川 宏起 飯田 幸雄 氏家 盛通	217

放射線治療技術学実習	放4必	半期	2	吉川 宏起 飯田 幸雄 佐藤 昌憲	218
画像処理論	放4必 (画像)	半期	1	近藤 啓介	218
画像構築論I	放4必 (画像) 放4選 (診療)	半期	1	近藤 啓介	219
画像伝送論	放4必 (画像) 放4選 (診療)	半期	1	小林 正明	219
計算機言語論	放3選	半期	2	近藤 啓介	220
医療宗教学	放3選	半期	2	吉津 宜英	221
医療経済学	放3選	半期	2	永山 くに子	222
医療統計学	放3選	半期	2	近藤 啓介	223
量子論	放3選	半期	2	金子 順一	223
医学特論	放4選	半期	2	嶋田 守男	224
医療生物工学	放4選	半期	2	蜂屋 順一	224
最新医療技術	放4選	半期	2	吉川 宏起	225
放射線検出器工学	放4選	半期	2	小川 雅生	225
放射線感光化学	放4選	半期	2	山本 裕右	226
放射線化学特論	放4選	半期	2	山本 裕右	227
放射化学特論	放4選	半期	2	原田 和正	228
放射線学特論	放4選	半期	2	近藤 啓介	229
診療機器システム学	放4選	半期	2	近藤 啓介	230
医用材料工学	放4選	半期	2	瀬尾 育弉	231
画像構築論II	放4選	半期	2	高野 正雄	231
放射線被曝管理論	放4選	半期	2	羽生 毅	232

科目名	解剖学	開講	半期	単位	2
配当	放1必				
担当者名	はちや じゆんいち 蜂屋 順一				

講義のねらい

解剖学は人体の正常な形態と構造を研究する学問であり、現代医学を理解するうえで最も基礎となる重要な分野である。その要点を確実に習得する必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

骨格系、筋系、脈管系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、神経系、感覚器系、発生学に分けて系統的に学習する。

履修上の留意点

教科書での予習、講義後の復習、テストを通して正確な知識を得るようにつとめること。

成績評価の方法

講義の過程中に4回程度にわけて筆記試験を行う。

教科書

藤田恒夫著『入門人体解剖学』（南江堂）5,000円

科目名	環境保健医学	開講	半期	単位	1
配当	放1必				
担当者名	くろこ こういち 黒子 幸一				

講義のねらい

人間を取り巻く環境が健康に及ぼす影響と疾患との関係、疾病予防についての基礎的知識の習得を目的とする

講義の内容・授業スケジュール

健康を阻害する疾病、社会要因、環境因子を理解するために年齢別疾病罹患（高齢化社会の疾病）、環境因子の地域差・推移を知り、予防医学的考察まで進める

履修上の留意点

小テスト、レポート提出を実施する

成績評価の方法

定期試験、小テスト、レポート、出席状況により評価する

教科書

『シンプル衛生公衆衛生学』（南江堂）2,400円

参考書等

『国民衛生の動向』厚生指針（厚生統計協会）

その他

授業方法は講義形式を主にビデオ学習、グループディスカッション、ロールプレイを行うプリント配布、講義スライド資料配布予定

科目名	電気工学	開講	半期	単位	2
配当	放1必				
担当者名	<small>さとう まさのり</small> 佐藤 昌憲				

講義のねらい

交流回路理論の基礎知識を得ることを目的としているこの科目は、診療放射線技師国家試験科目であるので、十分な演習と中間テストも合わせて講義をする。

講義の内容・授業スケジュール

次の内容で授業を進める。

- 1) 交流回路の基礎
- 2) 交流の平均値・実効値
- 3) 正弦波交流の基本回路
- 4) 交流の直列回路
- 5) 交流の並列回路
- 6) 交流の電力
- 7) 複素数とベクトル
- 8) 交流回路の計算
- 9) 相互インダクタンスを含む回路の計算
- 10) 三相交流の基礎
- 11) 三相の結線方法と電圧・電流の関係
- 12) 三相交流の電力と力率
- 13) 平衡三相交流回路の計算
- 14) 電気計測（電圧・電流・電力の測定）
- 15) 変圧器の基礎

成績評価の方法

中間テストと定期テストの結果より評価する。また、授業の出席数や課題レポートも加味する。

教科書

『電気基礎下』（東京電機大学）

科目名	放射線物理学	開講	通年	単位	2
配当	放1必				
担当者名	小川 ^{おがわ} 雅生 ^{まさお}				

講義のねらい

診療放射線学の基礎的事項である放射線（ここでは主として光子）と物質の相互作用、およびX線・電子線の発生機構を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

主たる項目とその学修順序は凡そ次の通りである。

- 1) 放射線・放射能の定義と概念
- 2) 放射線の種類と分類
- 3) 光子（X線、ガンマ線）の粒子性
- 4) 光電効果（光量子の概念）
- 5) 原子の構造・粒子の波動性
- 6) 制動X線・特性X線の発生機構
- 7) 光子（X線、ガンマ線）のスペクトル
- 8) 光子と物質の相互作用（光電効果、コンプトン散乱、電子対生成など）
- 9) 光子の減弱（吸収係数、遮蔽など）
- 10) X線の線質
- 11) 吸収端現象とその応用
- 12) 電子と物質の相互作用（電離、励起、制動放射など）
- 13) 電子の飛程
- 14) 電子線の発生
- 15) 放射線の単位

履修上の留意点

授業において不明な点があれば質問すること。講義が分かりにくい場合は、その旨を主張すること。

成績評価の方法

定期試験の他、講義中に行う小試験および出席状況により評価する。

教科書

教科書は使用しないが、図表など主な内容はプリントを配布する。

科目名	診療画像技術学概論	開講	半期	単位	2
配当	放1必				
担当者名	にしお せいじ 西尾 誠示				

講義のねらい

医療の場において診療放射線技師の果たす役割とその関連事項、及び診療画像技術学を学ぶ上で基礎となるX線画像の基礎知識について講義を行う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- (1) 医療社会の構成、病院組織、関連職種、チーム医療などについて
- (2) 診療放射線技師の役割、放射線学の歴史、将来の展望等について
- (3) X線の発生、線質、減弱、物質との相互作用、写真効果などについて
- (4) X線照射によって生じる写真効果と画像の拡大、歪み、重畳効果など
- (5) コントラスト、鮮鋭度、粒状性について
- (6) 管電圧、散乱線とグリッド、フィルム・増感紙などについて
- (7) 最適な画像を得るための理論的な考え方、課題と改善策について
- (8) 医療画像検査を行う上で重要な基準線、名称などについて
- (9) 画像検査の種類と特殊撮影の原理・応用
- (10) 単純撮影について
- (11) 造影剤を用いた画像検査について

履修上の留意点

講義用の Power Point に要点を示してあるので、ノートに取ること。

成績評価の方法

定期試験を基準にする。

教科書

立入弘著『診療放射線技術』（南江堂）6,800円

参考書等

講義用CD及びプリント

その他

授業中に質問あるいは意見を求める。

科目名	放射線機器概論	開講	半期	単位	1
配当	放1必				
担当者名	うじいえ もりみち 氏家 盛通				

講義のねらい

診療放射線業務を行うには医療用放射線機器や器具が必要である。それらのうち診療用の各種X線機器・装置・用具の構造・動作原理や取扱い方法・精度維持や安全管理に必要な知識について講義する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- (1) 診療X線機器：X線機器の概要、X線管の構造、用具・感光材料の基礎知識。
- (2) 一般撮影装置：X線装置・X線発生装置、X線制御装置。
- (3) X線源装置：X線用高電圧ケーブル、X線高電圧発生装置、電源設備。
- (4) X線機械装置：透視撮影装置、保持装置・撮影台、その他の特殊装置。
- (5) 関連用品：散乱X線除去用グリッド、フィルムカセット、イメージング装置。
- (6) 診断用X線装置：外科系、消化器系、呼吸器系、頭部系等撮影装置。
- (7) 特殊X線装置：乳房用X線装置、泌尿器・婦人科系X線装置、乳幼児撮影装置。
- (8) X線断層撮影装置：X線間接撮影装置、X線拡大撮影法・立体撮影法。
- (9) 循環器系X線検査装置：連続撮影装置、X線シネ装置と関連機器。

履修上の留意点

診療放射線技師として必要なX線装置などの基礎的知識について教科書を用いて講義する。

成績評価の方法

定期試験の結果および出席状況による。

教科書

『診療放射線技術』上巻（南江堂）7,140円

科目名	放射線写真学	開講	半期	単位	2
配当	放1必				
担当者名	ふるかわ かつはる 古川 克治				

講義のねらい

画像診断の基をなす医用画像は湿式 (Wet) から乾式 (Dry)、さらにはフィルムレス診断へと急激に変化している。

本講では放射線画像形成 (スクリーン/フィルム系を中心としたアナログ画像、Dry フィルムを中心としたデジタル画像) 全般と画像評価、デジタル画像の画像処理、保管等の概論に加え、医用画像とその廃棄物や環境問題につき、講義し理解を図る。

講義の内容・授業スケジュール

・講義内容

- ① S/F系感光材料 ; 感光理論、現像理論、画質評価
- ② X線写真の成り立ち と 各種 X線センサーの特性
- ③ X線画像の評価 ; センシトメトリーと画質特性 (含む digital)
- ④ Digital 画像の形成 ; 画像処理、画像評価と保管・管理
- ⑤ Dry 感材の画像形成 ; Dry 感材の画像形成と画像特性
- ⑥ 医用画像と廃棄物 ; 種々の法令と環境問題への対処

・スケジュール

上記内容に沿って、H.19/9~12迄 約12回講義を実施。

履修上の留意点

- ① ミニテストやレポート提出を期中、数回実施する。
- ② 教科書、参考文献、PC、臨床写真等を活用し理解を深める。

成績評価の方法

期末試験を重視、ミニテストや出席等も参考に最終評価する。

教科書

『放射線写真学』富士フィルムメディカル (株) 編 ¥5,700円

参考書等

- ① 『改訂 写真工学の基礎 [銀塩写真編]』日本写真学会編 コロナ社
- ② 『医用画像情報学』改定2版2006年 桂川 茂彦 南山堂
- ③ 『写真の化学』 笹井 明 写真工業出版社
- ④ 『放射線画像情報工学』 内田 勝 通商産業研究社
- ⑤ 『The Theory of the Photographic Process』 4 th Ed T. H. James (Macmillan Co.)
- ⑥ 『Christensen's Introduction to the Physics of Diagnostic Radiology』 T.S. Curry et al (Lea & Febiger'84)
- ⑦ 『医用画像工学ハンドブック』 日本医用画像工学会 監修
- ⑧ 『環境六法 平成17年版』 環境法研究会編 中央法規

科目名	応用数学	開講	半期	単位	2
配当	放1必				
担当者名	野口 <small>のぐち まさる</small> 勝				

講義のねらい

診療放射線科学コースおよび画像技術科学コースの専門科目で必要となる基本的な数学を理解し、その応用力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

技術者にとっての数学の基本である微分・積分を、系統的・徹底的に学ぶ。

1. 関数・極限
2. 微分
3. 不定積分
4. 定積分
5. 定積分の応用・無限級数
6. 偏微分
7. 二重積分

履修上の留意点

数学は基礎の積み重ねが重要である。したがって毎回行う演習に真剣に取り組み、今日学んだことは今日習得する、という姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

3～4回の理解度確認テスト、および学習態度の総合点による。

教科書

矢野・石原 『科学技術者のための基礎数学』（裳華房）

参考書等

必要に応じて資料を配付する。

その他

「憶えるのではなく理解する」ということが数学力向上のポイントである。この意識をしっかり持とう！

科目名	診療画像技術学実験	開講	半期	単位	1
配当	放1必				
担当者名	にしお せいじ 飯田 幸雄 熊坂 さつき 長谷川 たけし 三浦 こうへい 西尾 誠示・飯田 幸雄・熊坂 さつき・長谷川 武・三浦 康平				

講義のねらい

X線装置及び周辺機器の構造を理解し、正しい使用法を習得する。
X線画像を左右する要因と基礎的な画質評価について実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) X線量と写真濃度
被検体からより多い情報を得るための適切な線量を求める。ファントムを用いて、照射を行いX線の吸収と写真濃度を理解する。
- (2) 撮影条件表の作成
アクリル板を用い、その厚さの変化に対する適正な線量、電圧を求め、条件表を作成する。
- (3) 照射野の線量分布と撮影距離
X線照射野とフィルム・X線焦点間距離を変化させ写真濃度を測定し、照射野内のX線分布を把握する。
- (4) フィルムの特性曲線の作成
距離の逆二乗則を利用した距離法にて複数の特性曲線を作成する。特性曲線と線量の関係を理解するとともに、その利用方法を学ぶ。
- (5) 撮影電圧とコントラスト
電圧とフィルター厚を変化させ、線質の違いが画質に及ぼす影響を調べる。
X線吸収差の少ない被写体のコントラスト、微小検体の描出度を評価する。
- (6) 増感紙の感度
フィルムの特性曲線を作成し、各種増感紙の相対感度を求める。増感紙とフィルムの正しい組合せ、および感度と被曝線量の関係について学習する。
- (7) フィルム・増感紙の鮮鋭度/解像力
矩形波チャートを用いて、フィルム・増感紙の鮮鋭度を求める。マイクロデンシトメータの取扱いを習得する。
- (8) 散乱線の評価
上記の特性曲線を用いて、鉛ディスク法による散乱線含有率を求める。被写体厚と照射野を変化させて散乱線の量を測定し、臨床における量を把握する。
- (9) グリッドの性能評価
鉛ディスク法にて散乱線透過率、直接線透過率、全X線透過率から露出倍数、コントラスト改善度、選択度を求め、グリッドの基本的性能を評価する。

履修上の留意点

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。
実験マニュアルを事前によく読んで、内容を把握しておくこと。

成績評価の方法

定期試験、レポートについて総合的に判定する。
但し、受験資格は全レポートを提出したものに限定。

教科書

実験マニュアルを配布する。

参考書等

立入弘監修「診療放射線技術上巻」(南江堂) 6,800円

その他

レポートの不正行為は本科目の受験資格を失うので注意すること。

科目名	医用物理学実験	開講	半期	単位	1
配当	放1必				
担当者名	<small>さとう まさのり おがわ まさお きたざわ ひでお はぶ たけし ふじもり せいいち</small> 佐藤 昌憲・小川 雅生・北沢 日出男・羽生 毅・藤森 成一				

講義のねらい

多くの学生にとっては初めての実験であると思われるので、前半・後半と分けて、前半は器具・機器の扱い方の学習をする。後半はデーターを処理する方法の実験をする。現象を通じて理論を理解することも同時に身に付けてもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

内容は手引書を製作してあるのでこれを参照すること。少人数で実験をするために班分けをする。そのためにスケジュールは個々によって異なる。入学後のガイダンスの際に班分けしスケジュールを発表する。

1. ガイダンス
2. 放射線実験室の立ち入り方
3. パソコンによるレポート作成法
4. 直流回路（電界）
5. 交流回路（磁界）
6. Excel 関数の使用法
7. 計測に関する統計と誤差
8. GM計数管のプラトーの測定
9. サーバイメータの使い方
10. 電離箱の平衡厚測定
11. X線の実効エネルギーの算定
12. NaI シンチレーションカウンタの使用法

成績評価の方法

1. レポート
2. 実験
3. 質疑応答
4. 調査・検索について点数化して総得点で評価する。

教科書

実験のために用意した手引書を制作してある。

科目名	医用化学実験	開講	半期	単位	1
配当	放1必				
担当者名	原田 和正・齊藤 宏・田中 一好・三木 瑛一・山本 裕右				

講義のねらい

医療分野において必要な化学に関する実験を通して、化学の基本原理や概念を理解すると共に、化学実験における基本操作、薬品取扱時の基礎知識を学ぶ。また、実験で得られたデータを客観的に評価し、分子レベルで化学的に考察してレポートにまとめる能力を育成する。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. ガラス細工、器具の洗浄
3. 容量、重量の測定、試薬の調製法
4. ハロゲン化銀の感光性と現像、定着試薬との反応
5. 中和滴定による酸の定量
6. 薄層クロマトグラフィーによるアミノ酸の分離・同定
7. 分子模型実習
8. pHメータによる緩衝能の測定
9. 硫酸銅(II)五水和物の合成
10. ヨウ素滴定による銅(II)の定量
11. オーフェナントロリン法による鉄(II)の比色分析
12. イオン交換樹脂の交換容量の測定

履修上の留意点

化学実験には危険や事故が付きまとうため、ガイダンスでの注意事項を厳守すること。

成績評価の方法

平常点、レポート、定期試験により評価する。

教科書

プリント使用

参考書等

新版『実験を安全に行うために一事故・災害防止編』（化学同人） 840円
 新版『(続)実験を安全に行うために一基本操作・基本測定編』（化学同人） 735円
 以上2冊は、実験時に常に持参すること。

その他

関数電卓を持参すること。また、必要に応じ、グラフ用紙等を用意すること。

科目名	医学概論	開講	半期	単位	2
配当	放2必				
担当者名	よしかわ こうき 吉川 宏起				

講義のねらい

現代医学で行われている実際の医療について幅広く理解し、その中での放射線医学の役割について理解する。さらに医療従事者として必要な人権を尊重した医療倫理について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

病院や診療所で行われている医療について、医療現場の構造やそこで働く医療従事者の役割分担について具体例を挙げながら概説する。この医療全般の中における放射線医学、すなわち放射線診断学、核医学、放射線治療学それぞれの役割について解説する。とくに個々の分野で使用されるモダリティ（X線撮影装置、X線CT (computed tomography ; コンピュータ断層撮影)、MRI (magnetic resonance imaging ; 磁気共鳴映像法)、超音波装置、核医学装置、放射線治療装置など）についてその原理や特徴の概略を解説する。さらに医療従事者として必要とされる医療倫理およびそれに裏打ちされたマネジメントケアについて解説する。

履修上の留意点

広範囲にわたる放射線医学について理解を深めることが重要で、数多くの放射線診断あるいは放射線治療モダリティの特徴、これらの臨床的有用性と限界について理解することが重要である。

成績評価の方法

出席率、授業時間内の小テスト、定期的筆記試験。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

日野原重明著『医学概論』（医学書院）1,600円

科目名	臨床医学概論	開講	半期	単位	2
配当	放2必				
担当者名	よしかわ こうき 吉川 宏起				

講義のねらい

医学概論で学んだ知識を基に、更に一步進めて主要疾患に対する核医学を含めた放射線診断法あるいは放射線治療法について解説する。IVR (interventional radiology) や近年、注目を浴びている遺伝子治療の中での放射線医学の役割についても概略を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

中枢神経系および循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌系、泌尿生殖器系、運動器系の疾患について放射線診断法あるいは放射線治療法について解説する。放射線医学で使用される各種診断モダリティおよび核医学装置、放射線治療装置の有用性と限界について概説する。またX線造影剤およびMRI (磁気共鳴映像法) 用造影剤の種類と使用方法について概略を解説する。近年、急速な発展を遂げている血管あるいは血管以外におけるIVRの現況や放射線学における遺伝子治療についても概説する。

履修上の留意点

診療放射線技師として必要な種々の疾患の概念を習得し、実際の臨床に結びつく放射線医学（放射線診断学、核医学、放射線治療学）の基礎的知識を獲得することが重要である。

成績評価の方法

出席率、授業時間内の小テスト、定期的筆記試験。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

科目名	生理学	開講	半期	単位	1
配当	放2必				
担当者名	ひぐち ゆうそう 樋口 雄三				

講義のねらい

生理学は、専門的知識を構築する基礎となるものであり、十分に習得して欲しい。講義では、いろいろな生命現象が関連し、恒常性が維持されていることをわかりやすく解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 恒常性維持と生体防御機構
2. 血液・体液
3. 心臓血管系・循環系
4. 呼吸
5. 消化・吸収・代謝
6. 排泄
7. 内分泌
8. 脳・神経系
9. 筋・行動系
10. 感覚系

成績評価の方法

定期試験、平常点、出席状況などから総合的に評価する。特に出席時数を重視する。

教科書

下 正宗『人体の構造と機能』（医学書院）3,000円

専門教育

科目名	病理学	開講	半期	単位	2
配当	放2必				
担当者名	はちや じゆんいち 蜂屋 順一				

講義のねらい

病理学は医学の根幹をなす重要な科目であり、疾患の成り立ちを追求する学問である。臨床医学を理解するための基礎的知識として特に重要な項目をとりあげて解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

炎症、腫瘍、感染、免疫、循環障害などの総論に続いて、循環器、呼吸器、消化管、肝、胆、脾、泌尿器、乳房、生殖器、中枢神経、骨関節などの主要疾患について講義する。

履修上の留意点

既に習得した解剖学の知識を再確認しておくこと。

成績評価の方法

講義時間内のテスト

教科書

使用しない。必要なプリントを配布する。

科目名	生化学	開講	半期	単位	1
配当	放2必				
担当者名	はらだ かずまさ 原田 和正				

講義のねらい

生化学の分野から、診療放射線技師にとって最低限必要と思われる項目に重点を置いて学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 細胞 2. 酵素とビタミン 3. 代謝 4. 核酸と遺伝子 5. タンパク質の生合成

成績評価の方法

定期試験の結果と平常点で評価する。

教科書

猪飼篤著『化学入門コース8生化学』（岩波書店）2,913円

参考書等

林典夫・廣野治子編『シンプル生化学』（南江堂）2,800円

科目名	電子工学	開講	通年	単位	2
配当	放2必				
担当者名	かねこ じゆんいち 金子 順一				

講義のねらい

電子工学は、電子の挙動の制御を通してエネルギーや情報を制御する技術である。この技術は、医療分野の測定器から日常生活まで極めて広い範囲の基礎となっている。本講義では、電子工学の基礎的な分野について理解することを目標として、以下の内容で講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 電子の基本的性質、相互作用
2. 各種電子素子への応用
3. 基礎的な回路技術
4. 測定回路・測定器
5. 電子機器への応用

成績評価の方法

中間試験、定期試験及び出席状況で評価を行う。

教科書

宇佐美晶・曾根福保共著『テキストブック 電子工学概論』（日本理工出版会）2,500円＋税 ISBN4-89019-115-1

その他

この科目は、診療放射線技師国家試験の試験科目に含まれている。

科目名	原子核物理学	開講	通年	単位	2
配当	放2必				
担当者名	永井 喜則 <small>ながい よしのり</small>				

講義のねらい

放射線物理学で学習した内容を基礎とし、原子核と放射線に関する講義を行う。特に α ・ β 壊変と γ 線放射は、今後、放射性同位元素の応用を考える上での基礎となるものである。正確な理解をすると共に、他の科目との関連を意識しながら受講すること。

講義の内容・授業スケジュール

1. 原子核の性質（構成粒子、質量、結合エネルギー、核力、核模型、磁気モーメント）
2. 放射性壊変（放射能、 α ・ β ・ γ 線、壊変図）
3. α 壊変（ α 線のエネルギー、ガイガーヌッタルの法則、トンネル効果）
4. β 壊変（ β^- 壊変、 β^+ 壊変、 β 線のエネルギー、電子捕獲、カリブプロット）
5. γ 線放射（ γ 線の角運動量、核異性体、内部転換、メスバウアー効果）
6. 核反応（核反応の種類、Q値、しきい値、核反応断面積、複合核、光核反応）
7. 中性子（中性子の性質、中性子発生源、エネルギーによる分類）
8. 原子炉（核分裂と放出エネルギー、中性子の減速、原子炉の構造、中性子捕捉療法）

履修上の留意点

講義中は板書したこと以外でも、大切そうなことはノートするように心がけてほしい。講義の後には、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験以外に中間試験を2回行い、その結果から成績を評価する。出席は重視する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

上原周三著『放射線物理学』（南山堂） 田島英三著『原子核物理概論』（地人書館）
鷺見義雄著『原子核物理入門』（裳華房）

その他

授業の中では演習問題を解くこともする。電卓を用意しておくこと。

科目名	放射化学	開講	通年	単位	2
配当	放2必				
担当者名	やまもと ゆうすけ 山本 裕石				

講義のねらい

診療放射線技師として必要な放射性同位元素の化学について学ぶ。
 本講義では、すでに1年次に学んだ「基礎化学」および「放射線物理学」、さらに2年次で並行して学ぶ「原子核物理学」で得た、化学的、物理的知識を基に、放射性同位元素の化学について解説する。またここで学ぶ事柄は、3年次の「核医学検査技術学基礎実習」を履修するための必要不可欠な学問的基礎となるものであると同時に、「核医学」、「放射線管理学」に必要な放射化学的知識の基礎となるものである。
 なお、診療放射線技師試験の科目として「放射化学」がある。

講義の内容・授業スケジュール

1. 天然に存在する放射性同位体
2. 放射能、放射壊変および壊変則
3. 放射平衡
4. 放射性核種の製造
5. 放射性同位体の分離、精製
6. 放射能を利用する分析法
7. 放射性標識化合物の合成法

成績評価の方法

中間試験、学年末試験および平常点により評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

データブックとして 日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会 1,680円）を使用する。講義には必ず持参すること。

その他

並行して演習問題を行うので、関数電卓を持参すること。

科目名	放射線生物学	開講	半期	単位	1
配当	放2必				
担当者名	熊坂 <small>くまさか さつき</small> さつき				

講義のねらい

放射線が生物に及ぼす影響を、分子や細胞のレベルから個体や集団のレベルに至るまで総合的に理解する。それによって、今後治療技術学や安全管理学を学んでいく上での基礎となる「被ばくの影響を正しく評価するための知識」を身につける。

20世紀後半における分子遺伝学の進歩によって、生物への放射線影響の解析は著しく進歩した。この講義では、高線量及び低線量の放射線の生物影響研究の最新の知識を伝えたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 放射線生物学の基礎：細胞、遺伝
- 2 生物作用の初期過程：物理・化学・生化学的作用
- 3 放射線による細胞死、細胞の生存率曲線とその解析：標的理論、LQモデル
- 4 放射線影響の修飾：LET、線量率、分割照射、酸素、温度、細胞周期など
- 5 DNA損傷とその修復、遺伝子突然変異と染色体異常
- 6 細胞への影響：分裂遅延、アポトーシスとネクローシス、適応応答、バイスタンダー効果
- 7 組織・臓器への影響：早期障害と後期障害、確定的影響と確率的影響
- 8 放射線による発がん遺伝的影響、胚と胎児への影響
- 9 腫瘍の放射線生物学：感受性とその修飾、分割照射と4R、高LET、温熱
- 10 放射線被ばくのリスクと防護

履修上の留意点

授業開始時刻厳守のこと。

成績評価の方法

総合的評価として2回程度の筆記試験を行う。出席状況も評況も評価する。

教科書

江島洋介、木村博編、放射線技術学シリーズ「放射線生物学」(オーム社)2002年。プリントを必要に応じて配布する。

その他

講義。形成的評価としてプレテストまたはポストテストを実施する。

科目名	放射線計測学	開講	通年	単位	2
配当	放2必				
担当者名	青木 清 <small>あおき きよし</small>				

講義のねらい

放射線にはいろいろな種類があり、物質との相互作用もそれぞれ異なっている。また、同じ種類の放射線であっても、エネルギーにより振るまいが異なる。このような多様な放射線を計るため、たくさんの検出器が考案されている。正確な測定を行うにはこれらの検出器を目的に応じて使い分けることが大切である。本講義ではこれらのことを念頭に置いて、代表的な検出器の動作原理と特徴、ならびに測定結果の評価法を学ぶ。

講義の内容・ 授業スケジュール

(前期)

1. 放射線検出の概要
2. 電離箱の基本原理と構造
3. パルス電離箱
4. 照射線量と各種電離箱
5. 電離箱による吸収線量測定 (プラグ・グレイの空洞理論)

(後期)

6. ガス増幅を利用した検出器 (比例計数管、GM計数管)
7. 半導体検出器
8. シンチレーション検出器
9. 計数値の統計処理
10. 放射線のエネルギー測定
11. 放射能の測定

履修上の留意点

講義中は板書したこと以外でも、大切そうなことはノートするよう心がけてほしい。講義の後は短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

中間試験、定期試験ならびに出席状況により評価する。

教科書

長哲二著『放射線計測学』(南山堂) 2,940円 ISBN4-525-27874-9

参考書等

『放射線計測学』(オーム社)、『放射線基礎計測学』(医療科学社)、『放射線計測学』(コロナ社)

科目名	診療画像技術学	開講	通年	単位	4
配当	放2必				
担当者名	にしお せいじ 西尾 誠示				

講義のねらい

画像技術学はX線解剖学や基礎的な画像工学を元にした幅広い分野から構成される。体表解剖、解剖・生理を裏付けとした整位、及び理論的な撮影条件を始めとして臨床画像の評価まで含めて講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) X線撮影の基礎的知識
- (2) 頭部の撮影技術
- (3) 側頭骨・聴器の撮影技術
- (4) 副鼻腔・眼窩・顔面の撮影技術
- (5) 椎骨の撮影技術
- (6) 胸郭その他の骨の撮影技術
- (7) 四肢骨の撮影技術
- (8) 胸部撮影の理論
- (9) 胸部撮影技術と画像
- (10) 腹部の特徴とその撮影技術
- (11) 乳腺・軟X線撮影の理論と技術
- (12) 小児科領域の撮影技術

履修上の留意点

講義は教科書とPower Pointとを用いる。必ずノートをとること

成績評価の方法

定期試験及び中間試験を基準に評価する。

教科書

『放射線画像技術学』（医歯薬出版）4,800円

参考書等

講義用CD、プリント

科目名	放射線機器工学	開講	通年	単位	2
配当	放2必				
担当者名	おくやま やすお 奥山 康男				

講義のねらい

診断用X線発生装置をはじめとする各画像診断装置の基本原理、構造、特性などについて学び、装置を取り扱うための基礎知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期はX線管装置から単相・三相全波整流式・インバータ式・コンデンサ式・自己整流式のX線発生装置について、後期は他の画像診断装置や増感紙・グリッド・機器の安全管理等についての概要を講義する。

履修上の留意点

放射線機器工学を理解するには、電気工学・電子工学・物理学などを併せて履修する。基本的事項を理解して身につけることが必須であるため電気・電子工学を重視した内容となる。

成績評価の方法

出席状況、学内定期試験により評価。

教科書

青柳泰司ほか編『新版 放射線機器学 (I)』（コロナ社）4,935円

科目名	画像工学概論	開講	半期	単位	2
配当	放2必				
担当者名	野口 勝 <small>のぐち まさる</small>				

講義のねらい

医用画像における画像情報の理論を理解する。特に、画像の形成、デジタル画像の処理、医療画像情報システムなどに関する知識を学習する。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 医用画像情報の役割
2. フーリエ変換
3. X線画像の形成
アナログ画像とデジタル画像
4. デジタル画像の処理
フィルタリング、階調処理、ボケマスク処理 など
5. 医療画像情報システム
PACS、RIS、HIS など

履修上の留意点

分野が多岐にわたり内容が多いので、自習を心がけること。

成績評価の方法

2回の理解度確認テストと数回の小テスト、および学習態度の総合点による。

教科書

桂川茂彦編 『医用画像情報学（改訂2版）』（南山堂）

参考書等

必要な資料はプリントを配布する。

その他

理解を深めるため、演習を行う。

科目名	医用画像工学	開講	半期	単位	1
配当	放2必(診療)				
担当者名	瀬尾 育 <small>せお やすつぐ</small> 式				

講義のねらい

医用画像工学は、工業に利用されている画像工学および画像処理工学と共通する部分が多いため、その基礎を導入として学ぶ。次に医用画像診断機器で利用されているデジタル画像処理法について学修する。

講義の内容・授業スケジュール

前半に画像工学と画像処理工学を学び、後半で医用診断機器の画像処理について学修する。

- 1 画像の表現
- 2 画像処理システム
- 3 画像情報処理
- 4 濃淡画像処理
- 5 2値画像処理
- 6 コンピュータグラフィックス
- 7 画像認識
- 8 3次元画像処理
- 9 CT画像の再構成法

履修上の留意点

画像処理工学の教科書より講義の予習と復習を行うこと。画像を扱う実験や画像診断機器の講義では、画像工学の講義との関連について学修してほしい。

成績評価の方法

中間試験、定期試験および、出席状況により評価する。

教科書

医用放射線科学講座14『医用画像工学』第2版(医歯薬出版)4900円
必要に応じて教材用プリントを使用する。

参考書等

末松著 メカトロニクス教科書シリーズ9『画像処理工学』(コロナ社)3000円

専門教育

科目名	画像数学	開講	半期	単位	1
配当	放2必(画像) 放2選(診療)				
担当者名	志村 一 <small>しむら かずお</small> 男				

講義のねらい

画像数学は画像研究の基礎となる学問、科学である。X線写真、CT、MRといった様々な医用画像の画質評価、また画像強調、データ圧縮、画像認識といった各種の画像処理は全てその基礎となる画像数学の上に成立している。本講義を通じて画像数学を理解する事により、画質評価や画像処理の本質を把握してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

画像のデジタル化における数学
画質評価における数学
フィルタ処理における数学
データ圧縮における数学
画像間演算における数学
画像認識における数学

成績評価の方法

年度末試験、学習状況、出席等により評価する。

教科書

授業内容に関するプリントを随時配布する。

参考書等

ローゼンフェルド、カク『デジタル画像処理』(近代科学社)

科目名	画像検査技術学基礎実習	開講	半期	単位	1
配当	放2必				
担当者名	にしお せいじ うじい え もりみち たにくち たかひさ よしかわ たつお 西尾 誠示・氏家 盛通・谷口 貴久・吉川 達生				

講義のねらい

X線装置等を用い、実際に人体ファントムを撮影する。実際の検査手順と体表解剖学を踏まえた撮影手技を学び、撮影法と得られた画像の関係について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 頭部X線撮影法
頭部ファントムを用い、頭部の撮影法を学ぶと共に、頭部の画像解剖を理解する。
- (2) 耳鼻科領域の撮影法
頭部ファントムを用いて副鼻腔及び聴器の撮影法を学び、画像解剖を理解する。
- (3) 椎骨、骨盤のX線撮影法
頸椎、腰椎骨盤ファントムを用い、頸椎、腰椎の撮影技術を習得する。
- (4) 四肢骨の撮影法
手関節、肘関節、膝関節、足関節のファントムを用い、撮影技術を習得する。
- (5) 胸部の撮影技術と感光材料
胸部ファントムを用い、胸部の撮影手技を学び最適な撮影条件と検出系について検討する。
- (6) 乳腺のX線撮影 (Mammography)
乳房用X線装置、乳房ファントムを用いて照射条件毎の画像の変化を評価する。撮影に用いる機器類、感光材料から軟線撮影の特殊性を理解する。
- (7) 胃造影検査法
X線TV装置の操作法を習得するとともに、造影剤とファントムを用い透視・撮影法を学ぶ。特に体位と画像評価について学ぶ。
- (8) X線CT検査法
X線CT装置の原理と構造を理解し、ファントムを用いた検査手技、撮像法を習得する。
- (9) 超音波検査法
超音波診断装置を使用し、ファントムと生体にて超音波の原理と撮像技術を学ぶ。

履修上の留意点

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。
授業前にマニュアルを読み、実習内容を把握しておくこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート・試問について総合的に判定する。
但し、定期試験の受験資格は全レポートの提出者のみである。

教科書

実験・実習プリントを配布する。

参考書等

参考：稲本一夫編『放射線画像技術学』（医歯薬出版）

科目名	電気電子工学実験	開講	半期	単位	1
配当	放2必				
担当者名	<small>すぎた とおる あおき きよし かねこ じゆんいち かわぞえ よもる よしだ まさひろ</small> 杉田 徹・青木 清・金子 順一・川副 護・吉田 正廣				

講義のねらい

電気電子工学分野の実際を経験する。数人のグループ構成で行うものと、各自が行うものがある。

講義の内容・授業スケジュール

下記の項目について実験を行う。

1. 直列共振・並列共振
2. 電磁誘導回路
3. RC回路
4. 三相12ピーク整流回路
5. コンデンサの充放電
6. 整流回路
7. 半導体素子
8. 集積回路
9. パーソナルコンピュータI
10. パーソナルコンピュータII

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと
レポートは期限内に提出すること

成績評価の方法

レポートと定期試験の結果に、出席状況を加味して評価する。

教科書

『電気電子工学実験』（授業の時に配布）

その他

パーソナルコンピュータの実験は総合情報センターで行う。
前期、後期のはじめにガイダンスを行うので必ず出席のこと。

科目名	放射線機器工学実験	開講	半期	単位	1
配当	放2必				
担当者名	おくやま やすお せお やすつぐ はぶ たけし 奥山 康男・瀬尾 育弉・羽生 毅				

講義のねらい

「放射線機器工学」の講義で学修する理論を実際に実験を行いながら理解させることに主眼を置き、併せて各放射線機器や装置の取扱法を習熟させることを目的としている。眼底カメラについては、眼底写真の撮影法を実習し、後日外部講師として眼科医を招いて臨床講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 実験を遂行するうえで必要な説明を加えながら以下のテーマについて実験を行う。
- 1：X線管焦点寸法の測定
 - 2：X線管電圧、X線管電流の測定
 - 3：眼底カメラによる眼底写真撮影
 - 4：撮影時間の測定
 - 5：インバータ式X線装置の特性
 - 6：MR装置やX線CT装置等によるファントム測定

履修上の留意点

実験は結果の修得のみを目的として行うものではなく、あくまでも関連する理論の学修を助け、より確実な知識の習得を図る目的で設置された科目である。従って、実験中は既に学修済みの内容の確認、理論との間に生じる問題点などの把握に心掛ける。
報告書（レポート）の作成にあたっては所定の書き方によるのは当然であるが、書かれている内容を理解することが最も重要であることを認識して欲しい。なお、報告書の提出時の試問は、記録内容の理解度を確認・評価するために行っているもので、理解度が低い場合には再提出を求める。

成績評価の方法

実験中の態度や報告書、試問、定期試験などの結果にて総合評価する。

教科書

配布プリントを使用する。

参考書等

- ・「JISハンドブック 39 放射線（能）」最新版（日本規格協会）
- ・放射線機器工学の教科書

その他

実験科目の単位取得には所定のテーマを全て終了することが必要で、やむ負えない理由で欠席した場合は追実験等を受けなければならない。

科目名	画像解剖学	開講	半期	単位	1
配当	放3必				
担当者名	ほちや じゆんいち 蜂屋 順一				

講義のねらい

単純X線撮影、CT、超音波画像、MRIなど各種の医用画像診断の根底にあるのは正常画像解剖の知識であり、適切な検査を行うためにはこの点に関する正確な理解が要求される。既に習得した人体解剖学の基礎の上に臨床的に特に重要な領域の画像解剖学についての解説を行う。

講義の内容・授業スケジュール

基礎となる解剖学を新たに画像診断の角度からながめて要点を再確認しつつ、スライドで供覧する画像所見との対比を行う。対象領域は頭部、胸部、腹部、骨盤腔、四肢とする。

履修上の留意点

必要に応じて解剖学の講義で使用した教科書をよく復習すること。

成績評価の方法

講義時間内のテスト

教科書

使用しない。

科目名	画像診断技術学I	開講	半期	単位	1
配当	放3必（診療） 放3選（画像）				
担当者名	よしかわ こうき 吉川 宏起				

講義のねらい

放射線診療で利用されている画像診断法（主としてX線コンピュータ断層撮影（CT）や磁気共鳴画像法（MRI）、超音波検査など）の原理について習熟し、各モダリティの代表的な画像情報処理法を理解する。各種画像から得られる情報を総合的に診断する方法について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. X線CT、磁気共鳴映像法（MRI）、超音波検査の撮像原理。
2. 各モダリティの特徴と限界、画像アーチファクト。
3. 各モダリティによる臨床画像読影。

成績評価の方法

授業時間内の小テスト、定期の筆記試験。

科目名	放射線医学概論	開講	半期	単位	1
配当	放3必				
担当者名	はちや じゆんいち 蜂屋 順一				

講義のねらい

既に学んだ解剖学、病理学の基礎の上に、放射線診断が臨床医学の中で占める役割を理解することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

放射線医学のはじまりと発展の歴史、放射線診断学の現況を解説すると共に、主要疾患につき診断手法の適応と選択、診断能とその限界について講義をすすめる。

履修上の留意点

既習の科目と関連する部分は各自必要に応じて復習しておくこと。

成績評価の方法

講義時間内のテスト

教科書

使用しない。必要なプリントを配布する。

科目名	医学英語	開講	半期	単位	1
配当	放3必				
担当者名	よしかわ こうき 吉川 宏起				

講義のねらい

医学領域では診療情報の伝達に英語が頻繁に用いられている。また英語圏におけるインターネットのホームページから得られる医学知識は膨大である。このように医療チームの一員として活躍する診療放射線技師にとって英語学習は必要不可欠なものとなっている。本講義では臨床の場に役立つ基本的な単語および診療録の慣用句を中心に学び、診療の場で実践に役立つ医学英語の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 代表的な解剖用語、病名などの医学用語の習得。
2. 診療の場で用いられる代表的な英会話の習得。
3. インターネットのホームページ上の慣用句の習得。
4. 英文論文の抄読法の習得。

成績評価の方法

授業時間内の小テスト、定期的筆記試験。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

科目名	医用検査学	開講	半期	単位	1
配当	放3必				
担当者名	おくやま やすお 奥山 康男				

講義のねらい

医用検査学は、広義に病態解析と生体情報解析とに大別できる。病態解析領域では生理機能を重視した基礎教育を行い、生体情報解析では生体情報を集める生体そのものについての概要を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

生態における様々な生命現象を体表から電気信号として誘導・測定し、これらの情報をデジタル化して視覚化する方法や心電図、MRI、超音波診断、核医学などによって得られた画像の処理・解析法および疾患に特化した臨床診断などを用いて学習する。

履修上の留意点

各画像診断装置の基本原理や診療画像技術学及び解剖の基礎知識を身につけておくこと。

成績評価の方法

出席状況、学内定期試験により評価。

教科書

授業中のスライドやレジュメ等にて対応。

専門教育

科目名	診療画像情報学I	開講	半期	単位	1
配当	放3必				
担当者名	にしお せいじ 西尾 誠示				

講義のねらい

造影剤を用いた検査と画像を主体に講義を行う。学生は実際の検査手技と臨床画像の評価方法を習得すること、更に最低限正常像について解説できることが望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 概論
- (2) 胸部単純像とCT像の評価
- (3) 下咽頭・食道の画像検査と画像評価
- (4) 上部消化管造影の技術と画像評価
- (5) 腹部実質臓器の検査とCT画像
- (6) 泌尿器の画像検査について
- (7) 下部消化管造影技術と画像
- (8) 心・大血管の検査と画像
- (9) 冠状動脈の検査と画像
- (10) 腹部血管の検査と画像
- (11) 頭部血管造影検査と画像
- (12) CT検査技術と画像評価

履修上の留意点

Power Point を用い主に撮像技術と臨床画像について解説する。履修者は生体解剖と対比しながら画像を評価することが望まれる。

成績評価の方法

定期試験を基準にする。

教科書

稲本一夫編『放射線画像技術学』（医歯薬出版）4,800円

参考書等

講義用CDおよびプリント

その他

授業は講義形式であるが、内容により質問あるいは意見を求める。

科目名	画像診断機器工学	開講	半期	単位	2
配当	放3必				
担当者名	瀬尾 育式				

講義のねらい

MRI（磁気共鳴イメージング装置）と超音波診断装置について講義する。
その他、X線CT装置についてもその概要を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 核磁気共鳴の物理的原理
- 2 MRI装置の概要
- 3 MR画像形成法とパルスシーケンス
- 4 MRIの諸特性
- 5 超音波の性質
- 6 超音波診断装置の原理
- 7 超音波のアーチファクト
- 8 超音波検査の概要（循環器、腹部、体表、産科）

履修上の留意点

学修の内容が多いので、良く復習してください。

成績評価の方法

中間試験、定期試験および、出席状況により評価する。

教科書

日本放射線技術学会監修 放射線技術シリーズ『MR撮像技術学』（株）オーム社 4900円
必要に応じて教材用プリントを使用する。

参考書等

伊藤・望月著『超音波診断装置』（コロナ社） 2800円

科目名	救急医療学	開講	半期	単位	1
配当	放3必（診療） 放3選（画像）				
担当者名	奥山 康男				

講義のねらい

総合的かつ広範な医学知識や技術が不可欠であるとともに十分な臨床経験が必要である救急医療において、診療放射線技師として実際の臨床現場で備えておかなければならない検査手技等の基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

救急医療学の概略と心構えを概論で講義し、救急医療における検査方法と手技、画像の読み方を解説する。更に、放射線科領域における業務はその特殊性から患者さんと1対1になるケースが多いため、急変時の対応として実技を兼ねた上級救命講習を世田谷消防署の協力で開催する予定。なお、消防署に支払う受講料（平成18年現在¥2,600）は、受講時に別途発生する。

履修上の留意点

救急医療は一刻を争う処置が必要なこともあるため、放射線科領域の検査を担う診療放射線技師の技術と判断力は患者さんの生命に何らかの形で関与する。目の前の問題を迅速に処理するための実践的な内容を重視した講義とチーム医療の意義を考えながら上級救命講習を受講する。

成績評価の方法

出席状況、学内定期試験により評価。

教科書

授業中のスライドやレジュメ等にて対応。

参考書等

志賀元ほか編『救急医療パーフェクトマニュアル』（羊土社）6,090円

科目名	臨床医療人間学I	開講	半期	単位	1
配当	放3必				
担当者名	おくやま やすお 奥山 康男				

講義のねらい

医療現場で発生する倫理的諸問題すなわち生命倫理について学び、生命倫理を広く人間科学や人間工学等の立場からも考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

科学史と医療との関係からはじまり、人間理解の心理学と哲学、疼痛、ターミナルケア、尊厳死と安楽死、人工臓器と生命維持など、医療分野を学ぶ人のために必須となる生命と医療の原点を考える。

履修上の留意点

倫理学とは、「他者（患者）との人間関係において、私はいかに振る舞うべきかを考える哲学」の学問である。
この教科をよく理解するには、同じ内容の話しや同じ事例を話しても学生の受け止め方がまちまちなはずである。何が正しいのかを自分で判断できる力を養うことを重視する。

成績評価の方法

出席状況、レポート提出、学内定期試験にて総合的に判定。

教科書

教科書は使用せずレジュメ等を用いる。

科目名	核医学	開講	通年	単位	4
配当	放3必				
担当者名	うじいえ もりみち 氏家 盛通				

講義のねらい

核医学検査技術学は、放射線医学のひとつである核医学部門の検査技術学である。核医学は医学・理工学・薬学の諸分野と緊密に結びつき、それぞれの進歩とともに発展してきた専門分野である。疾病の診断のために放射性医薬品を利用して、病態生理、生化学的な代謝と機能状態を核医学検査機器にて行う検査法である。

これらの検査法は測定の対象に従って、生体の測定（患者検査）および医学試料の測定（血液・糞尿など）に大別される。これらは放射性医薬品を生体内に投与するもの（インビボ法）と投与しないもの（インビトロ法）の2種類となる。核医学検査法に関する放射性医薬品、試薬キット類、検査機器、検査手技などについて講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1、核医学の基礎知識 核医学とは・核医学の歴史・安全管理
- 2、放射性医薬品 インビトロ用放射性医薬品・インビボ診断用放射性医薬品
・核医学治療用医薬品・シングルフォトンおよびポジトロン放出放射性医薬品・
- 3、インビボ検査各論 中枢神経系（脳血流・脳脊髄・FDG-PET） 内分泌（甲状腺・副甲状腺・副腎） 呼吸器（肺血流・肺吸入） 循環器（心筋血流・心プール） 消化器（唾液腺・肝・胆道・出血） 泌尿器（腎・レノグラム） 骨・関節、血液・造血器（循環血液・赤血球寿命・骨髄・リンパ） 腫瘍炎症（ガリウム・タリウム・FDG-PET）
- 4、インビトロ検査 検査の概要、検査の基礎、検査の原理、検査の流れ、測定試料の評価、基準値
- 5、核医学治療 治療の概要、甲状腺、骨転移の除痛療法

履修上の留意点

4年次の病院実習では、核医学検査技術学の実習が50%を占めているので相互理解を深めるように努めること。

成績評価の方法

中間試験・定期試験の結果および出席状況による。

教科書

『核医学検査技術学』（南山堂）4,410円

参考書等

『最新核医学検査技術』（メディカルトリビューン）5,000円
『核医学ノート』（金原出版）4,500円

科目名	応用計測学	開講	半期	単位	2
配当	放3必				
担当者名	おがわ まさお 小川 雅生				

講義のねらい

2年次における放射線計測学を基礎として、中性子計測・電子線計測・個人被曝線量計測について検出器系の検出原理、応答特性、実測上の問題点などについての基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 中性子計測の全体像
中性子の計測は、中性子が間接電離粒子であるという理由と荷電粒子への変換過程が光子ほどの普遍性がないことによって、他の放射線の計測に比較して簡単ではない。ここでは現状の考え方を整理する。
- 2) 中性子検出の原理
中性子の検出には荷電粒子変換物質を選択利用するのが一般的である。ここでは、変換物質の種類とその目的に応じた利用状況を解説する。
- 3) 電離箱によるもの
- 4) 計数管によるもの
- 5) 半導体検出器によるもの
半導体検出器を利用する意味を述べる。
- 6) 核反応を利用した方法
- 7) 中性子線量測定
- 8) 電子線の測定と検出器
- 9) 個人被曝管理用検出器の原理と実際

専門教育

履修上の留意点

授業において不明な点があれば質問すること。講義が分かりにくい場合は、その旨を主張すること。

成績評価の方法

定期試験の他、講義中に行う小試験および出席状況により評価する。

教科書

使用しない

科目名	放射線腫瘍学	開講	半期	単位	2
配当	放3必				
担当者名	たかやま まこと 高山 誠				

講義のねらい

癌治療における放射線治療の役割や意義を中心とした放射線治療概論について講ずる。
放射線の人体に対する影響などの放射線治療の基礎となる放射線生物学や実際の臨床に用いられる放射線治療機器の特性、使用方法について解説を行う。放射線治療を行う際の放射線治療計画、線量分布や照射方法（外部照射、密封小線源治療等）の総論的項目について考える。
また、医療技術の進展の中で、特に放射線治療の技術的な動向について考える。
新しい治療方法である定位放射線治療や強度変調照射（IMRT）の現況、応用に関する技術的問題点など、その方向と展開に注目する。

成績評価の方法

授業出席、受講態度などと定期試験による。

教科書

村上晃一著『放射線治療技術』
立入 弘監修『診療放射線技術』下巻 改訂第5版

科目名	応用機器工学	開講	半期	単位	1
配当	放3必				
担当者名	おくやま やすお 奥山 康男				

講義のねらい

応用機器工学は、核医学診断装置と放射線治療に用いられる加速器等を重点に講義し、その他のサイクロトロン等についてもその概要を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 核医学診断装置並びに加速器中心とした学修を行う予定。
1. 放射線計測の基礎
 2. ガンマカメラ
 3. SPECT
 4. PET(PET/CT)
 5. 核医学データ処理システム
 6. 加速器の概要
 7. 線形電子加速器，進行波型加速管の加速方法
 8. パルス変調器，偏向マグネット，真空装置および水冷装置
 9. 照射ヘッド
 10. 線形陽子加速器
 11. サイクロトロン，シンクロトロン，マイクロトロン
 12. 核医学診断装置関連の演習
 13. 加速器関連の演習

履修上の留意点

放射線計測学，放射線物理学，原子核物理学等で，シンチレーション検出器やガンマ線放出核種，放射線計測回路，加速器などに関連のある項目は予め予習しておくこと。

成績評価の方法

出席状況や定期試験により評価する。

教科書

特に指定しない<※放射線腫瘍学で使用する教科書(下記の参考書欄参照)を活用すれば良い>

参考書等

『診療放射線技術(下巻)』改訂第9版，監修 立入 弘，南江堂

科目名	画像工学I	開講	半期	単位	1
配当	放3必(画像) 放3選(診療)				
担当者名	たかの まさお 高野 正雄				

講義のねらい

医用画像形成システムに使用されている画像データ処理に関する基礎理論の学習と演習をおこなう。

講義の内容・
授業スケジュール

1. Fourier 級数、Fourier 変換の演習(2年生の復習)
2. Fourier 解析による画質の解析と評価
3. デルタ関数の Fourier 変換
4. サンプリング定理
5. Fourier 変換の応用(線形システム、通信)

履修上の留意点

理解を深めるための補足資料を配布します。よく復習して下さい。

成績評価の方法

中間試験と定期試験の総合点。

教科書

岡部哲夫、藤田広志編集『医用画像工学(第2版)』(医薬出版)4,900円

参考書等

谷口慶治編『画像処理工学』(共立出版)3,800円

その他

演習を多くおこないます。欠席しないように。

専門教育

科目名	画像工学II	開講	半期	単位	1
配当	放3必(画像) 放3選(診療)				
担当者名	たかの まさお 高野 正雄				

講義のねらい

「画像工学I」で学習した基礎理論をもとに、実際に医療現場で実用されている画像形成システムの具体的構成要素について、理論的にその内容を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 定常ランダム信号の解析
2. 画像データの離散化と Fourier 変換
3. 画像データの直交変換
4. Fourier 変換から Wavelet 変換へ
5. デジタル画像の生成
6. デジタルラジオグラフィの画質

履修上の留意点

学習内容が多いので、良く復習して下さい。

成績評価の方法

レポート及び試験の総合点

教科書

岡部哲夫、藤田広志編『医用画像工学(第2版)』(医薬出版)3,800円

参考書等

岡部哲夫、瓜谷富三編『放射線診断機器工学(第2版)』(医薬出版)5,000円

科目名	画像処理言語論	開講	半期	単位	1
配当	放3必(画像)				
担当者名	近藤 啓介 <small>こんどう けいすけ</small>				

講義のねらい

医療現場においてデジタル化された画像は、画像処理をしてから医師により読影されている。画像処理には様々な方法があり、研究・開発が盛んに行われている。医師の望む画像を作成するためには画像処理の仕組みを理解する必要があり、そのためにはコンピュータの中でどのように処理されているかを理解する必要がある。
この授業では「計算機言語論」で習得したC言語を利用して、実際の医用画像に対して基本的な画像処理プログラムを作成する。そして、画像処理がコンピュータの中でどのように処理されているのかを自らプログラミングすることにより理解する。

講義の内容・授業スケジュール

画像のデジタル化
医用画像の構成
平滑化フィルタ
ラプラシアンフィルタ
ソーベルフィルタ
メディアンフィルタ
ボケマスク処理

履修上の留意点

演習形式で行うので、積極的に受講すること。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価する。

教科書

近藤啓介・田畑慶人・笠井俊文著、『医療画像処理実践テキスト』（オーム社）4,200円

科目名	放射線関係法規	開講	半期	単位	2
配当	放3必				
担当者名	<small>あおき きよし</small> 青木 清				

講義のねらい

放射線を取り扱うにあたっては関連する法令を理解しておくことが必須である。診療放射線技師の業務に関しては診療放射線技師法、医療用の装置や放射性同位元素に関しては医療法、医薬品を除く放射性同位元素や加速器に関しては放射線障害防止法、放射線関連業務従事者の安全に関しては電離放射線障害防止規則により規制されている。本講義ではこれらの法令の内容と関連性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. 放射線関係法令における基礎事項
2. 医療用放射線と法令
3. 診療放射線技師法
4. 医療法施行規則
5. 放射線障害防止法
6. 電離放射線障害防止規則

履修上の留意点

基本的事項を確実に把握するよう心がけてほしい。

成績評価の方法

定期試験ならびに出席状況により評価する。

教科書

富樫・鈴木・西谷編、放射線技術学シリーズ『放射線安全管理学』（オーム社）5,145円
ISBN4-274-20128-7

参考書等

『医療放射線防護関係法令集』（日本アイソトープ協会）

科目名	放射線管理学	開講	半期	単位	1
配当	放3必				
担当者名	あおき きよし 青木 清				

講義のねらい

放射線の利用においては、不必要な被ばくが生じないように、適切で安全な状況を作り上げ維持することが重要である。そのための基本的な理念と指針を与えているのが「国際放射線防護委員会（ICRP）の勧告」である。本講義ではこの勧告の概要について学ぶとともに、それを実践するために必要となる計測技術や、放射性物質の取り扱い方について学修する。さらに、医療の場において大切となる患者防護についても考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. 放射線管理の基本（放射線防護体系、放射線被ばくの現状）
2. 放射線防護の原則（外部被ばく防護、内部被ばく防護）
3. 施設の管理（X線診療室、RI使用施設）
4. 環境の管理（空間放射線の量、空気中RI濃度、水中RI濃度、表面汚染密度）
5. 個人の管理（外部被ばく、内部被ばく）
6. 放射性廃棄物
7. 医療被ばく（X線検査、核医学検査）

履修上の留意点

放射線関係法規で学習した内容と関連づけて理解するよう心がけてほしい。

成績評価の方法

定期試験ならびに出席状況により評価する。

教科書

富樫・鈴木・西谷編、放射線技術学シリーズ『放射線安全管理学』（オーム社）5,145円
ISBN4-274-20128-7

参考書等

『ICRP Publication60 国際放射線防護委員会の1990年勧告』（日本アイソトープ協会）

科目名	技術英語	開講	半期	単位	1
配当	放3必				
担当者名	高橋 <small>たかはし</small> 優身 <small>まさみ</small>				

講義のねらい

放射線技師のための「専門英語」を習得することがこの科目の目標であるが、開講が半期のため、「信頼される」放射線技師であるための必須条件に絞って、関連の「専門英語」を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1回 Want to Be an R.T. ? (1)
- 2回 Want to Be an R.T. ? (2)
- 3回 ASRT Code of Ethics (1)
- 4回 ASRT Code of Ethics (2)
- 5回 Practice Standards (1)
- 6回 Practice Standards (2)
- 7回 Radiography Clinical Performance Standards (1)
- 8回 Radiography Clinical Performance Standards (2)
- 9回 Quality Performance Standards (1)
- 10回 Quality Performance Standards (2)
- 11回 Professional Performance Standards (1)
- 12回 Professional Performance Standards (2)

履修上の留意点

規定の出席率を越えた学生のみ試験受験資格を有する。予習が必要であろう。授業時の活発な発言を期待する。

成績評価の方法

試験および授業貢献度等を総合的に評価。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に指示。

その他

演習形式で行うので、学生主体の授業である。

科目名	画像工学実験	開講	半期	単位	1
配当	放3必				
担当者名	高野 正雄・大谷 勝彦・近藤 啓介・瀬尾 育式・野口 勝・俣野 公志				

講義のねらい

画像診断分野は急速にデジタル化が進行し、画像処理の知識や技術が大変重要になってきている。本実験では、デジタル画像処理とはどのようなものか、また画像処理が視覚による読影にいかにか有効であるかにつき、CR画像形成システムや画像解析装置を使用して体験学習する。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

テーマは大きく分けて二つに分かれている。一つのテーマについて2週間にわたって実験し、レポートをまとめる。

1. 画像診断の原点であるアナログのX線画像とデジタルのX線画像の画質解析。
 - ①胸部ファントーム画像の視覚評価
 - ②MTF、Wiener Spectrum による物理評価
 - ③画像処理と画質の関係

〔後期〕

2. CR画像形成システムの画像データの特性解析
 - ①デジタルMTF、Wiener Spectrum、NEQの測定
 - ②画像処理とNEQの関係

画像処理の基本となる項目、標準化／量子化レベルの画像、ヒストグラム解析、各種フィルター処理等々について、4テーマについて学習する。

1. LR システムのEDR 及び画像処理
2. ボケマスク処理
3. デジタル画像の粒状性と粒状度
4. 医用画像のフィルター処理

履修上の留意点

「画像工学概論」で学習した理論を確実な知識とするための実験科目である。そのため、事前に教科書を復習しておくこと。

診断のために、よりよい画質の医療画像を作り出す必要がある。物理評価・解析はそのための手段として、視覚評価は判断として大変重要なものである。実験中は撮影したファントーム画像を良く観察し、また物理測定データを十分に検討して、内容のあるレポートにまとめて下さい。検討が不十分な場合は再提出をしてもらいます。

成績評価の方法

実験中の態度、レポート、定期試験などを総合評価する。

教科書

配布プリントを使用する。

参考書等

画像工学概論教科書

その他

単位取得には所定のテーマを全て受け、レポート及び試験にパスする必要があります。

科目名	放射線治療技術学実験	開講	半期	単位	1
配当	放3必				
担当者名	<small>さとう まさのり いいだ ゆきお いがらし たろう おがわ まさお たかぎ たもつ はぶ たけし</small> 佐藤 昌憲・飯田 幸雄・五十嵐 太郎・小川 雅生・高城 保・羽生 毅				

講義のねらい

放射能の測定手順・放射能測定計測系の機能・放射線治療を念頭に置いた吸収線量測定の概念と実側技術の基礎を把握する。

講義の内容・授業スケジュール

主として行なわれる実験題目とその概要は次の通りである。

1) 吸収線量の測定。

高エネルギー放射線による治療では人体組織に対する吸収線量の附与レベル決定がきわめて重要な因子である。ここではCo・60線源を用いて、指頭型電離箱と樹脂ファントムの組合わせによる吸収線量測定の基礎的手順を学ぶ。Co60線源に対する照射線量率定数・指頭型電離箱の特性と使用法・線源-ファントム-電離箱の幾何学的位置関係の効果・吸収線量率値とファントム厚さとの関係などに注意する必要がある。

2) フィルムによる放射線場の測定。

計測器としてのフィルムは実時間（リアルタイム）応答の計測器では容易に得ることのできない特性を持っている。ここではCo60線源を使用して、照射線量分布・肺近以不均等物質での深部線量百分率補正などの実測手順を学ぶ。

3) 半導体検出器による α 線の測定。

表面障壁型半導体検出器を使用して α 線による波高分布を測定する。逆方向電圧による電荷集積率・エネルギー分解能などへ与える効果、空乏層との関係を中心として学ぶ。

4) GM計数管による線源の β 壊変率測定。

GM計数管を検出器とする比較的簡単な測定装置を用いて線源の壊変率を求める手順と、その補正の考え方を学ぶ。

実験で取上げる項目は少ないものであるが、各々の知識が実際にはどの様に係わり、結果に影響してくるかを実感して欲しい。

成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況、随時おこなう中間テストなどにより評価する。

教科書

日本医学物理学会編『外部放射線治療における吸収線量の標準測定法』（発行通商産業研究社）

科目名	放射線管理学実験	開講	半期	単位	1
配当	放3必				
担当者名	<small>あおき きよし</small> 青木 清・ <small>すぎた とおる</small> 杉田 徹・ <small>かみこ じゆんいち</small> 金子 順一・ <small>ながい よしのり</small> 永井 喜則				

講義のねらい

エックス線撮影において患者被曝線量を把握しておくことは大切なことである。また、撮影状況によっては術者または患者周辺の人が被曝する場合もある。このような場合の被曝線量も知っておかなくてはならない。本実験では直接線や散乱線によりどの程度の被曝を受けるかを測定し、被曝低減の方策について考える。併せて、放射線管理業務上必須となるコンピュータによるデータ収集と機器制御についても実験する。

講義の内容・授業スケジュール

- 下記の項目について実験を行う。
1. 腹部・胸部撮影における被曝管理
 2. CT検査における被曝管理
 3. 乳房撮影における被曝管理
 4. 病室撮影における被曝管理
 5. コンピュータによるデータ収集
 6. コンピュータによる機器制御

履修上の留意点

実験の前に実験内容を予習し、必要となるグラフ用紙や電卓などを用意しておくこと。また、放射線管理学、放射線計測学、診療画像情報学等での学修内容と関連づけながら実験を進めること。

成績評価の方法

実験の実施状況、実験レポート、定期試験により評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	核医学検査技術学基礎実習	開講	半期	単位	1
配当	放3必				
担当者名	<small>やまもと ゆうすけ うじいえ もりみち かねこ じゆんいち しんしよう きよみつ はらだ かずまさ</small> 山本 裕右・氏家 盛通・金子 順一・眞正 浄光・原田 和正				

講義のねらい

主として核医学検査技術学、放射化学領域における実験を行う。本実験では、2年次に学んだ「放射化学」、「放射線計測学」、3年時に学ぶ「核医学」での知識を基に、ガンマカメラ、^{99m}Tcのミルキング、核医学領域における非密封放射性同位元素の取扱い、放射線計測の基礎についての実験をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガンマカメラの性能評価：均一性、分解能、直線性などの基本性能試験
2. ガンマカメラの各種撮像法：静止画像、全身画像、SPECT画像の撮像
3. ^{99m}Tcのミルキング a) コールドラン、b) ホットラン：^{99m}Tc ジェネレータからの溶出、溶媒抽出法による^{99m}Tcのミルキング、ガンマ線スペクトルの測定、半減期の測定（ホットランは学外実習として行う）
4. マイクロピペットの検定：重量法、吸光光度法
5. フリック線量計による吸収線量の測定：線量計の調製、線量測定
6. ポジトロン同時計数測定：PETの基本実験としてポジトロン放出核種を用いた同時計数測定
7. マルチチャネル計測法：マルチチャネル波高分析器を使用しての未知核種のガンマ線スペクトル測定とその同定

履修上の留意点

非密封放射性同位元素は医学、化学、生物などの研究においてきわめて有用な情報を我々に与えてくれるものであると同時に、放射能汚染や被曝の問題など、危険な側面も持っている。従って、実験に対する準備を十分におこない、事前に実験操作、手順を理解しておくと同時に取り扱う放射性同位元素の性質を熟知しておくことが必要である。

成績評価の方法

実験レポート、試問、平常点、試験により評価する。

教科書

実験プリント

参考書等

日本アイソトープ協会編 『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会） 1,680円

科目名	画像検査技術学実習	開講	半期	単位	4
配当	放3必				
担当者名	蜂屋 順一・飯田 幸雄・奥山 康男・西尾 誠示				

講義のねらい

これまでの講義や実験で習得した知識をもとに、実際の医療の現場で放射線診療の流れを見分し、診療放射線技師の役割を理解すると共に今後の学習に参考とすべき点を学ぶ。
実習に先立って担当教員と実習病院指導者から必要事項のガイダンスをうける。

講義の内容・授業スケジュール

1. 病院実習の目的、実習手続上必要な書類と記入方法
2. 実習病院の組織、機能、施設についての説明
3. 患者接遇など病院内で実習する上の心得
4. 分野別の実習
 - a. 一般撮影
 - b. 消化管撮影
 - c. 血管造影
 - d. X線CT
 - e. MRI
 - f. 救急医療での撮影

履修上の留意点

病院実習は指定規則により、診療放射線技師国家試験受験資格を取得するための必須科目となっている

成績評価の方法

実習病院からの実習成績評価報告書と学生の提出する実習報告書による

専門教育

科目名	画像診断技術学II	開講	半期	単位	1
配当	放4必（診療） 放4選（画像）				
担当者名	吉川 宏起				

講義のねらい

診療放射線医学で扱う種々の画像診断モダリティにおける正常像と代表的疾患の異常像ならびに装置特有のアーチファクトについて学び、各疾患ごとの効率的な検査の進め方をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

中枢神経系、頭頸部、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系、四肢関節系の各臓器における正常像と代表的疾患の異常像を対比して提示しながら特徴所見を解説していく。

履修上の留意点

画像診断モダリティーの種類と特徴、それぞれの画像法の原理について復習しておくこと。

成績評価の方法

出席率と小テスト、定期の筆記試験。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

笠井俊文・小川敬壽共編『診療画像機器学』（オーム社）5,400円

科目名	線量計測工学	開講	半期	単位	1
配当	放4必(診療) 放4選(画像)				
担当者名	小川 雅生				

講義のねらい

放射線計測に線量計測と呼ばれる分野がある。これは放射線量の定められた単位系に基づいて、その線量概念にしたがい測定する放射線計測領域である。測定結果は線量単位で表されるので、エネルギー分布などの物理測定とは異なる領域となっている。線量計測を行うにはまずその基礎となる線量単位を理解する必要がある。ここでは線量計測を念頭においた単位系の理解を主とし、診療の場で主要な線量計測用の電離箱型検出器について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

主たる項目とその学修順序は凡そ次の通りである。

- 1) 放射線線量計測の意義と現状の概観
- 2) ラディオメトリックな量・ドジメトリックな量
- 3) フルエンス・エネルギーフルエンス・放射エネルギー
- 4) カーマ・エアカーマ
- 5) 照射線量
- 6) 比エネルギー・吸収線量
- 7) 線量当量・実効線量
- 8) 線エネルギー付与・阻止能
- 9) 電離箱による線量計測
- 10) 電離箱の構造と性能

履修上の留意点

線量計測についての理解を深めるためには、各線量単位を、各線量単位相互間の関係も含めて把握することが基本である。

成績評価の方法

定期試験の他、中間試験および出席状況により評価する。

教科書

使用しない

科目名	診療画像情報学II	開講	半期	単位	1
配当	放4必(診療) 放4選(画像)				
担当者名	西尾 誠示 <small>にしお せいじ</small>				

講義のねらい

ここでは実際の臨床写真を用いて生体と画像の因果関係を中心に、撮像技術および画像の品質管理も含めて講義する。診療技術科学コースの学生は最低限正常例については自ら解説できる能力を身につけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 概論
- (2) 画像に影響を及ぼす因子と画質の評価尺度
- (3) 胸部における単純像とCT像
- (4) 腹部領域における画像評価。
- (5) 乳腺X線画像の評価。乳腺画像の品質管理。
- (6) 頭部単純像の画像評価
- (7) 消化管造影像の評価
- (8) 椎骨の画像評価
- (9) 四肢骨の画像評価
- (10) 心・大血管の検査と画像評価
- (11) 腹部CT検査と画像評価
- (12) 頭部血管像と頭部CT像の画像評価

履修上の留意点

医療画像の画質の評価が出来るようになること。
正常な症例について解説できるようになること。

成績評価の方法

平常点、定期試験の結果を基に評価する。

教科書

放射線画像医学(医歯薬出版)3,800円

参考書等

講義用CDおよびプリント

科目名	臨床医療人間学II	開講	半期	単位	1
配当	放4必				
担当者名	氏家 盛通 <small>うじいえ もりみち</small>				

講義のねらい

医療の特殊性を理解し病院実習および就職後社会人として対応可能な人間性を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 4年次前期の後半に実施される病院実習に関する手続き・注意事項ならびに院内での該当業務の内容について講義する。
- 2) 少子高齢化が進む中での医療の現状から医療の中での診療放射線技師の立場や業務について講義する。

履修上の留意点

学生であっても、病院実習中は社会人としての常識が要求されるのでこれらについても身につけるように努めること。

成績評価の方法

小論文と出席状況

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントまたはスライドによるデータを利用する。

参考書等

核医学検査技術学(南山堂)

科目名	放射線治療技術学	開講	半期	単位	2
配当	放4必				
担当者名	たかやま まこと 高山 誠				

講義のねらい

各領域の疾患別について放射線治療の各論的項目を講ずる。
 診療放射線技師として認識していなければならない各領域の放射線治療の対象となる代表的疾患について講義を行い、放射線治療を行う際の治療計画や照射方法について実際の症例を提示して解説を行う。
 また、各領域における最新の放射線治療の技術的な動向についても取り上げる。

成績評価の方法

授業出席、受講態度などと定期試験による。

教科書

村上晃一著『放射線治療技術』
 立入弘監修『診療放射線技術』下巻 改訂第5版

科目名	画像と放射線治療	開講	半期	単位	1
配当	放4必(診療) 放4選(画像)				
担当者名	よしかわ こうき 吉川 宏起				

講義のねらい

放射線治療は、放射線診断とともに医学における電離放射線利用の柱であり、現在も大きく進歩している領域である。本講義では各臓器における悪性腫瘍の病期決定に必要な画像情報とその検査法、放射線治療法について習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

中枢神経系、頭頸部、肺・縦隔、腹部、男性生殖器、女性生殖器、乳腺、骨軟部、血液・骨髄の各領域における悪性腫瘍の特徴、画像検査法と特徴的所見および放射線治療法について概説する。

履修上の留意点

放射線治療計画を行う上で必要な画像情報とそれを得るための撮影技術を理解する。

成績評価の方法

出席率および小テスト、定期の筆記試験による。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

科目名	放射線学総合演習	開講	半期	単位	2
配当	放4必				
担当者名	おくやま やすお 奥山 康男				

講義のねらい

診療放射線技術科学において、講義・実験・演習及び臨床実習等を学習して来た。それらの総合的な学力並びに技術力を深めるために総合演習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

この演習は学生が主体となってグループを編成し、演習テーマを決めて自主的に学習を進めて行く。

それぞれの専門科目の演習は必要に応じて担当教員が支援する。また、国家試験受験対策のための模擬試験を複数回実施する。診療放射線技師試験は200問が出題され、出題される科目は下記の通り。

「基礎医学大要、放射線生物学（放射線衛生学を含む）、診療画像機器学、診療画像検査学、放射化学、核医学検査技術学、放射線治療技術学、エックス線撮影技術学、医用画像情報学、放射線物理学、放射線計測学、放射線安全管理学、医用工学、画像工学」…以上、14科目200問。1年次、2年次で履修した科目は前期の前半で復習し、夏休みを終えるまでに全科目の過去問を複数回行うことと、基礎的な学力を充実させるよう努力されたい。

履修上の留意点

目標とする学力に達していない学生に対しては課題を与えて学内で自主的に自習させる。

成績評価の方法

1月と2月に行う国家試験形式の定期試験結果並びに不定期に実施する試験の総合結果にて評価する。

教科書

特に定めない。必要に応じて教材用のプリントを使用する。

科目名	医療放射線科学論文講読	開講	半期	単位	1
配当	放4必（診療）				
担当者名	よしかわ こうき 吉川 宏起				

講義のねらい

診療放射線医学に関する英文に頻出する単語や熟語を習得し、英文論文の読み方を身に付ける。

講義の内容・授業スケジュール

最初に頻出する単語や代表的な熟語についての解説を加える。次に放射線診断学における代表的な英文論文を選定し、購読を進めていく。

履修上の留意点

身に付けた単語や熟語をキーワードとして、医療関連の英語のホームページに入っていて情報を収集しながら医学英語に親しむようにする。

成績評価の方法

出席率、レポートによる。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

科目名	医療画像科学論文講読	開講	半期	単位	1
配当	放4必(画像)				
担当者名	たかの まさお 高野 正雄				

講義のねらい	医用画像処理(画質の改善、画像認識、データの圧縮/伸張等々)に関する日本語及び英文の論文を講読し、論文の読み方、書き方を身に付ける。
講義の内容・授業スケジュール	ここ数年間の代表的な論文を総合研究テーマに合わせて選定し、講読を進める。
履修上の留意点	専門用語、参考文献の活用法などをしっかり身につけるように。
成績評価の方法	出席率及び講読した論文の理解度。
教科書	論文をプリント配布する。

科目名	医療放射線科学総合研究	開講	通年	単位	2
配当	放4必(診療)				
担当者名	あおき きよし うじいさ もりみち おがわ まさお おくやま やすお かほこ じゆんいち さとう まきのり すぎた とおる 青木 清・氏家 盛通・小川 雅生・奥山 康男・金子 順一・佐藤 昌憲・杉田 徹・ にしお せいじ はちや じゆんいち ほらだ かずまさ やまもと ゆうすけ よしかわ こうき 西尾 誠示・蜂屋 順一・原田 和正・山本 裕右・吉川 宏起				

専門教育

講義のねらい	この科目は個々の学生の研究能力を高めることを目的としている。そのために各学生が、これまでに学修してきた基礎知識を生かして、医療放射線科学分野における諸問題を自分自身で解決することに挑戦する。したがって、通常の講義や実験と異なり、内容や結果が決まっているものではない。あくまで、各自が主体的に内容を深めていくことが大切である。学生には指導教員がつくが、教員の役割は研究の方向性や実施方法を示すことであり、実際に調査を行ったり、実験を行ったりするのはあくまで学生自身である。研究で得られた成果については、各自が報告書に纏め、研究発表会にて発表する。
講義の内容・授業スケジュール	研究は次のような手順で進める。 1. 興味ある分野についての学修 2. 研究テーマの決定 3. 研究テーマに関連する文献の調査 4. 問題点の検討や実験の実施 5. 報告書の作成 6. 成果の発表
履修上の留意点	学生自身が主体的に考え、実行することが大切である。
成績評価の方法	研究の進め方、報告書、発表内容に基づき総合的に評価する。

科目名	医療画像科学総合研究	開講	通年	単位	2
配当	放4必(画像)				
担当者名	高野 正雄・熊坂 さつき・近藤 啓介・瀬尾 育式・野口 勝				

講義のねらい

これまで学習してきた基礎知識を使って、医療画像科学分野の諸課題について、解析実験や改善方法の探索などの研究テーマに挑戦する。これまでのような筋道が示された実験ではなく、日々試行錯誤の連続となるが、問題を解決するための工夫の楽しさを学修してほしい。研究で得られた成果は、研究報告書としてまとめ、また成果発表会で発表する。

講義の内容・授業スケジュール

研究テーマは1人1テーマを原則とし、担当の先生と話し合って選定する。
 4月：テーマの選定と具体化。
 5月
 ～ ：文献調査、実験の実施
 11月
 12月：報告書まとめ
 1月：発表準備

履修上の留意点

計画的に、自主的にテーマに取りくむように。

成績評価の方法

研究の進め方、工夫の度合い、報告書と発表のできばえ等を総合して評価する。

科目名	核医学検査技術学実習	開講	半期	単位	2
配当	放4必				
担当者名	吉川 宏起・飯田 幸雄・氏家 盛通				

講義のねらい

本実習は、放射線治療技術学実習と同時期に指定された病院にて実施する。実習生は、学内では経験できない臨床業務の流れや手技について習得する。そのためには、予習・復習を行い積極的に実習に臨み、将来医療技術者として必要な基礎を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

平成19年度は、6月18日(月)より7月13日(金)までの4週間(土日は除く)首都圏の指定された病院で放射線治療技術学実習とともに実施する。実習病院では、経験豊かな担当者が診療業務を行いながら指導してくれる。

履修上の留意点

実習中は、医療人としての自覚を持ち、言葉使いや身だしなみには十分に注意することが大切である。守秘義務ならびに個人情報保護の観点からも、実習中に知り得た患者さんの情報を他に漏らしてはいけない。

成績評価の方法

実習病院からの“実習成績評価報告書”および実習生が提出する“病院実習報告書”などにより決定する。

教科書

使用しない。

参考書等

核医学検査技術学(南山堂)、病院実習要項

科目名	放射線治療技術学実習	開講	半期	単位	2
配当	放4必				
担当者名	吉川 宏起・飯田 幸雄・佐藤 昌憲				

講義のねらい

本実習は、核医学検査技術学実習と同時期に指定された病院にて実施する。実習生は、学内では経験できない臨床上の業務の流れや手技について習得する。そのためには、予習・復習を行い積極的に実習に臨み、将来医療技術者として必要な基礎を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

平成19年度は、6月18日（月）より7月13日（金）までの4週間（土日は除く）首都圏の指定された病院で核医学検査技術学実習とともに実施する。実習病院では、経験豊かな担当者が診療業務を行いながら指導してくれる。

履修上の留意点

実習中は、医療人としての自覚を持ち、言葉使いや身だしなみには十分に注意することが大切である。守秘義務ならびに個人情報保護の観点からも、実習中に知り得た患者さんの情報を他に漏らしてはいけない。

成績評価の方法

実習病院からの“実習成績評価報告書”および実習生が提出する“病院実習報告書”などにより決定する。

教科書

使用しない。

参考書等

病院実習要項

専門教育

科目名	画像処理論	開講	半期	単位	1
配当	放4必（画像）				
担当者名	近藤 啓介				

講義のねらい

医療現場においてデジタル化された画像は、画像処理をしてから医師により読影されている。画像処理には様々な方法があり、研究・開発が盛んに行われている。医師の望む画像を作成するためには画像処理の仕組みを理解する必要があり、そのためにはコンピュータの中でどのように処理されているかを理解する必要がある。

実際の医用画像に対して行われている基本的な画像処理の手法やデータ圧縮の方法などを解説する。そして、自らプログラミングすることにより画像処理の仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

フィルタリング
 フィルタ
 フーリエ変換
 ハイパスフィルタ・ローパスフィルタ
 ファイル形式
 DICOM
 データ圧縮

履修上の留意点

演習形式で行うので、積極的に受講すること。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価する。

教科書

近藤啓介・田畑慶人・笠井俊文著、『医療画像処理実践テキスト』（オーム社）4,200円

科目名	画像構築論	開講	半期	単位	1
配当	放4必(画像) 放4選(診療)				
担当者名	近藤 啓介 <small>こんどう けいすけ</small>				

講義のねらい

近年のX線撮影ではCT(コンピュータ断層撮影)やMRI(核磁気共鳴映像法)などが普及してきています。これらの機器は計測されたデータをコンピュータで再構築する処理が不可欠となります。本講義ではCTやMRIの画像構成手法を中心に3次元処理などの基本的な画像処理について解説します。

講義の内容・授業スケジュール

CTの画像再構成処理
MRの画像再構成処理
3次元処理

履修上の留意点

演習形式で行うので、積極的に受講すること。

成績評価の方法

出席状況とレポート及び試験により評価する。

教科書

岡部哲夫・瓜谷富三編集、『医用放射線科学講座14 医用画像工学』(医歯薬出版株式会社)

科目名	画像伝送論	開講	半期	単位	1
配当	放4必(画像) 放4選(診療)				
担当者名	小林 正明 <small>こばやし まさあき</small>				

講義のねらい

近年ではPACS(Picture Archiving and communication System)が普及し、放射線科部門のみならず院内での検査画像運用が広くデジタル化されてきています。そのため、医用画像情報システムを構築し、運用を管理することも技師の重要な業務となってきています。本講座では、医療用画像データ伝送の基礎を学ぶとともに、院内画像情報システム構築を推進する為に必要な事項についても学びます。

講義の内容・授業スケジュール

H19年度後期12回の授業を行います。内容の概要は以下のとおりです。

- 医用画像情報システム(PACS)について
- コンピュータネットワーク技術の基礎
- 医療情報システムとセキュリティ
- DICOMについて：医療用画像データの世界標準インターフェイスであるDICOMの概要について学びます。
- システム運用：デジタル画像情報システムの構築例について学びます。

履修上の留意点

DICOMなど教科書になっていない領域の情報もあるので、講義を良く聴いてください。

成績評価の方法

試験及びレポートにより評価します。

教科書

特にありません。

参考書等

日本医療情報学会 医療情報 医療情報システム編 ISBN4-88412-264-X
日本医療情報学会 医療情報 情報処理技術編 ISBN4-88412-266-6

その他

授業は、パワーポイントによるプレゼンテーションを中心に行います。主な内容はレジュメとして準備します。

科目名	計算機言語論	開講	半期	単位	2
配当	放3選				
担当者名	こんどう けいすけ 近藤 啓介				

講義のねらい

今日、病院で取り扱われている医用画像の多くは、デジタル信号化され画像処理されている。画像処理を行うためには、画像処理ソフトを利用する方法もあるが、新しい方法で処理する場合や、開発をするためには、自らプログラミングする必要がある。
この授業では、プログラミングのための基本的な知識を習得する。プログラミング言語はC言語を利用します。

講義の内容・ 授業スケジュール

変数とは
変数による計算
繰り返し文
分岐文
サブルーチン
出力
 Σ の計算
ソートプログラム

履修上の留意点

画像処理言語論の受講にあたっては、この授業にてC言語の知識を習得している必要があるの
で、画像処理言語論の受講予定者は必ず受講すること。
授業の半分は演習を行います。積極的に受講すること。

成績評価の方法

出席状況とレポート及び試験により評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	医療宗教学	開講	半期	単位	2
配当	放3選				
担当者名	吉津 ^{よしず} 宜英 ^{よしひで}				

講義のねらい

この科目のねらいを明らかにするためには皆さんが受講する他の科目との比較を行うのが有効かと思えます。まず「仏教と人間」という科目ですが、これは建学の理念とも関連し、広く宗教への認識を持ってもらった上で、仏教や禅の思想の特色を把握してもらうことを目的にしています。また、「臨床医療人間学」I・IIもこの科目と関連すると思えます。特にIは生命倫理に焦点を合わせており、IIは医療人の社会性を問題にしています。この医療宗教学はこのIIを宗教的人間観から補完することを目的としています。それは医療人と患者との関係を考えて見ることを意味します。治療する人も治療を受ける人も共に同じ人間であるということは自明なことですが、対等な人間関係を維持することは難しいことでしょう。ただ「人間は必ず死ぬものである」という事実から、仏教などの宗教を援用して、死は医療人にとっても、また患者にとっても決して敗北ではないという観点を示します。また身心一如・生死一如・自他不二の人間観を明らかにし、余裕を持った医療人になってもらう一助としたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず様々な宗教や哲学、さらには現代の科学思想の人間観を広く取り上げてみたいと思えます。皆さんもそれぞれ人間に対する考え方を持っていると思えますが、皆さんがいずれ治療を行う患者さんはそれぞれ個人的に多様な人間観を持っていると想像します。その人間観を理解した上で、治療の内容を十分に説明し、相互の人間関係を築きながら治療を進めてゆくことは大切だと思います。この科目は人間観、人間を見る眼を鍛えるために古典的な宗教の知識や現代の心理学や哲学の知見を提供できると思えます。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書きとめ、全体を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、2回ほど課題提出をお願いし、最後に1月に試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しない。出来るだけプリントを配布します。

参考書等

講義の中で随時紹介します。

その他

私の講義の最中でも挙手して質問して下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請します。授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

科目名	医療経済学	開講	半期	単位	2
配当	放3選				
担当者名	ながやま くにこ 永山 くに子				

講義のねらい

日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する

講義の内容・
授業スケジュール

SBOs

- ① 国民医療費とは何かの説明でき、日本における課題が理解できる
 - ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる
 - ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる
 - ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる
 - ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる
 - ⑥ 医療の財政的な側面を理解する
 - ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する
- ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑤は試験とする

履修上の留意点

一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

- (ア) 出席
- (イ) レポート
- (ウ) グループワークへの参加度

教科書

特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。

参考書等

- ① 鶴田忠彦『日本の医療経済』（東洋経済新報社） 3,296円
- ② 川淵孝一『進化する病院マネジメント』（医学書院） 3,000円
- ③ 池上直己『日本の医療』（中公新書） 720円
- ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』

その他

履修上の留意点に準じます

科目名	医療統計学	開講	半期	単位	2
配当	放3選				
担当者名	近藤 啓介 <small>こんどう けいすけ</small>				

講義のねらい

医療に関する多数のデータを整理・解析しようとするとき、統計学の知識が基礎となる。授業では統計学の初歩的事項から実用的な統計手法までを解説する。特に、統計学の理論を理解するだけでなく、実際の業務に役立つ手段として身につけることに重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

- ・統計とは
- ・検定と分散分析
- ・相関と回帰
- ・生存分析
- ・重回帰分析
- ・ROC解析

履修上の留意点

毎週演習をおこないます。自習をしっかりとすること。

成績評価の方法

演習とレポート及び試験により評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	量子論	開講	半期	単位	2
配当	放3選				
担当者名	金子 順一 <small>かねこ じゅんいち</small>				

講義のねらい

量子論はミクロの世界を記述する理論であり、原子の振る舞いや、放射線に関連した現象の理解には欠かせないものである。本講義では、量子論が必要とされた経緯から始め、古典論では説明することのできない諸現象を、量子論の手法で解説を行う。波動方程式の導出を行い、基本的な系における解法の説明を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義は、主に以下の内容について行う。
1. 光の諸現象
 2. 波動と粒子
 3. 原子の構造
 4. 波動方程式の導出
 5. 基本的な系での波動方程式の解

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価を行う。

教科書

必要な資料については、プリントを配布する。

科目名	医学特論	開講	半期	単位	2
配当	放4選				
担当者名	嶋田 守男 <small>しまだ もりお</small>				

講義の内容・
授業スケジュール

実際の症例による画像の技術評価すなわち単純レントゲン撮影、US、CT、血管撮影3D像それぞれについて画像の検討を行う。また短い時間で、しかも冠者に侵襲が少ない方法で診断するための手段について授業を行う。

成績評価の方法

出席率、小テスト、学期末の試験から評価します。

科目名	医療生物学	開講	半期	単位	2
配当	放4選				
担当者名	蜂屋 順一 <small>はちや じゅんいち</small>				

講義のねらい

最近急速な進歩と著しい発展をみせている新しい医療技術工学のうち、特に注目すべきものをとりあげてその概要を解説する。放射線医学技術以外の医学分野での最先端の技術について広く知識を得ることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 遺伝学の基本
2. 遺伝学的検査と診断
3. 分子遺伝学に基づく治療
4. 臨床上注目すべきバイオ技術
5. 臓器移植の現況と問題点
6. 人工臓器の現況と将来
7. 医療におけるロボット利用
8. ナノスケール技術の医療応用
9. その他

履修上の留意点

これまで学んだ放射線関連の講義、実習とは異なる分野となるが、広く医学の現況と動向を知る大切な機会ととらえて基礎から真剣に取り組んで欲しい。

成績評価の方法

定期試験の結果および出席状況により評価する。

教科書

使用しない。必要に応じてプリント、資料などを配布する。

科目名	最新医療技術	開講	半期	単位	2
配当	放4選				
担当者名	吉川 宏起 <small>よしかわ こうき</small>				

講義のねらい

医療における技術開発は目覚ましい。本講義では最新画像診断技術学を中心に新しい治療技術について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

内視鏡や腹腔鏡を用いた侵襲の少ない治療技術の進歩とそれに応じた放射線診断技術の変遷について講義する。機能をできるだけ残す温存療法の進歩とそれに応じた放射線治療技術について講義する。

履修上の留意点

1年～3年次の解剖学と病理学の復習を行っておくこと。

成績評価の方法

出席率と授業中の小テスト、定期期末テストによる評価。

教科書

特になし。プリントを配布。

参考書等

特になし。

科目名	放射線検出器工学	開講	半期	単位	2
配当	放4選				
担当者名	小川 雅生 <small>おかわ まさお</small>				

講義のねらい

既存の放射線検出器はごく限定された性能しか持たず、限られた目的にのみ使用される。この事は新しく開発されている検出器についても同様である。

検出器の性能・応答特性は検出器に使われる検出原理・素材・構造から形成されるが、検出器の使用にあたっては、これらの情報を基礎として目的の計測との整合性を考慮することが不可欠である。ここでは、新種の検出器を含めて、それぞれの検出器について、前述の観点から考察する。

講義の内容・授業スケジュール

主たる項目とその学修順序は凡そ次の通りである。

- 1) 種々の検出原理
- 2) 検出器の性能指標
- 3) 半導体検出器
- 4) 電離箱の構造的諸問題
- 5) シンチレーションカウンタ・フォトダイオードシステム
- 6) ファイバー検出器
- 7) 固体飛跡検出器
- 8) イメージングプレート
- 9) TSEE検出器
- 10) アミラン線量計
- 11) 蛍光ガラス線量計
- 12) ESR線量計
- 13) ダイヤモンド検出器

成績評価の方法

定期試験の他、授業の中で行う小試験および出席状況により評価する。

教科書

使用しない

科目名	放射線感光化学	開講	半期	単位	2
配当	放4選				
担当者名	やまもと ゆうすけ 山本 裕右				

講義のねらい

放射線の感光材料としてはフィルムが最も一般的であり広く使用されているが、本講義においては、医療分野でフィルムと組み合わせて使用される増感紙、および放射線に対する新しい感光材料として近年使用されている輝尽発光体について、放射線と物質の相互作用に注目して解説する。増感紙については、まずラジオルミネセンスについて触れ、発光機構を説明すると共に、種々の増感紙材料の化学および発光特性について解説する。また、輝尽発光体については、輝尽発光の発光機構について説明し、種々の輝尽発光体材料の化学および発光特性について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 放射線による発光現象の医療への応用
2. 増感紙に用いられる発光体とその特性
3. 輝尽発光とは
4. 輝尽発光体の歴史
5. BaFX:Eu 発光体の特性と発光機構
6. その他の輝尽発光体の特性
7. ISPの自然科学への応用
8. 輝尽発光現象の線量測定への応用

成績評価の方法

試験およびレポート、平常点。

教科書

使用しない。

参考書等

S.Shionoya and W.M.Yen ed., Phosphor Handbook, CRC Press(1999).

科目名	放射線化学特論	開講	半期	単位	2
配当	放4選				
担当者名	やまもと ゆうすけ 山本 裕右				

講義のねらい

本講義においては、固体の放射線化学のうち、特に、放射線と固体との相互作用を利用した放射線線量測定に関係する領域について解説する。まず、イオン結晶、共有結晶、ガラスについて放射線の固体への効果を概観し、固体に残される放射線効果と格子欠陥の関係、空孔と捕獲中心などに触れながら、放射線のエネルギーがいかんして固体中に蓄積されるか、また、蓄積されたエネルギーをいかんして開放するかを解説する。さらに、以上の事を基礎として、熱ルミネセンス、エキソ電子放出現象について言及する。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 固体の化学
2. 結晶の不完全さ、格子欠陥
3. 放射線と固体の相互作用
4. 放射線による発光現象
5. 熱ルミネセンスとは
6. グロー曲線の解析
7. 熱ルミネセンスの放射線計測への応用
8. 各種TLDの特性

成績評価の方法

試験およびレポート。

教科書

使用しない。

参考書等

S.Shionoya and W.M.Yen ed., Phosphor Handbook, CRC Press(1999).

科目名	放射化学特論	開講	半期	単位	2
配当	放4選				
担当者名	<small>はらだ かずまさ</small> 原田 和正				

講義のねらい

核医学で用いられる放射性同位元素および標識化合物についての各論を学ぶ。現在、放射性医薬品として使われている放射性核種は^{99m}Tc-テクネチウムをはじめとして、¹³³Xe-キセノン、⁶⁷Ga-ガリウム、¹²³I、¹²⁵I、¹³¹I-ヨウ素など多種にわたる。これらの核種を利用した核医学検査技術学的な面については3年次の「核医学」で既に学んでいるが、本講義においては*in-vivo*放射性医薬品の体内での挙動を理解するうえで基礎となる事項を中心に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

^{99m}Tc-テクネチウムを中心に以下の内容について講義する。

1. テクネチウム（発見の歴史、核的性質、化学的性質、製造法、ジェネレータ、標識化合物の性質と標識法）
2. キセノン、クリプトン（希ガス発見の歴史とその存在、化学的性質、核的性質、製造法、⁸¹Rb-^{81m}Kr ジェネレータ）
3. ガリウム、インジウム、タリウム（発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法）
4. ヨウ素（発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法）

成績評価の方法

定期試験と平常点により評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会）1,680円 講義には必ず持参すること

科目名	放射線学特論	開講	半期	単位	2
配当	放4選				
担当者名	近藤 啓介				

講義のねらい

今日、病院で取り扱われている医用画像の多くは、デジタル信号化され画像処理されている。画像処理を行うためには、画像処理ソフトを利用する方法もあるが、新しい方法で処理する場合や、開発をするためには、自らプログラミングする必要がある。

この授業では、プログラミングのための基本的な知識を習得する。プログラミング言語はC言語を利用します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 医用画像情報総論
 - ・医用画像の特徴
 - ・画像の認識と表現
 - ・画像のデジタル化
 - ・画像のフーリエ変換
2. 画像形成理論
 - ・基礎理論
 - ・画像入力
 - ・検出器の感度
 - ・断層画像再構成法
3. 画像評価
 - ・評価法
 - ・鮮鋭度の評価
 - ・MTFの測定法
 - ・鮮鋭度の因子
 - ・雑音（粒状性）の評価
 - ・雑音（粒状性）の因子
 - ・SN比の概念に基づく評価
 - ・視覚による評価
 - ・信号検出理論
 - ・ROC曲線
4. 画像処理
 - ・濃度変換
 - ・フィルタ処理
 - ・画像間演算
 - ・データ圧縮
 - ・三次元表示
 - ・応用と解析
5. 医療情報
 - ・画像管理
 - ・画像伝送
 - ・文書情報
 - ・画像情報システム・医療情報システム

履修上の留意点

毎週演習をおこないます。自習をしっかりとすること。

成績評価の方法

出席状況と試験により評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	診療機器システム学	開講	半期	単位	2
配当	放4選				
担当者名	近藤 啓介				

講義のねらい

診療機器は病院情報システム、放射線部情報システムやPACSなどのサブシステムであると同時に、それ自体システムとみなすことができる。そこで、まず、システムの信頼性をどう捉えるか、理論の基礎を解説する。次に、実際のシステムを操作を学びながら、利用方法を学ぶ。また、最新の解析装置や特殊な測定装置も体験しながら、その仕組みを理解する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ・システムの信頼性
 - 平均故障間隔
 - 平均修理時間
 - 信頼性
 - 可用性
 - 保守性
 - 完全性
 - 安全性
- ・システムとシステムズ・アプローチ
- ・システムの操作方法の実習
- ・解析装置の実習

履修上の留意点

実際にシステムを利用しながら学ぶので、積極的に出席すること。

成績評価の方法

レポートの提出と実習の取り組み状況から評価する。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介します。

科目名	医用材料工学	開講	半期	単位	2
配当	放4選				
担当者名	瀬尾 育式 <small>せお やすつく</small>				

講義のねらい

生体工学を学ぶに当たり必要な工学的・生物学的・医学的考え方から、臨床問題、先端技術までを講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 臨床工学技士と医用材料
- 2 医用材料の種類
医用金属材料／医用無機材料（バイオセラミックス）／医用高分子材料／生体由来医用材料
- 3 医用材料の応用
- 4 材料・生体相互作用と医用材料の生体適合性
- 5 医用材料の滅菌
- 6 医用材料の安全性評価
- 7 医用材料の基礎

履修上の留意点

講義の内容が多いので、自習してください。

成績評価の方法

中間試験、定期試験および、出席状況により評価する。

教科書

日本生体医工学会 監修 臨床工学シリーズ12『医用材料工学』（コロナ社）2500円

専門教育

科目名	画像構築論II	開講	半期	単位	2
配当	放4選				
担当者名	高野 正雄 <small>たかの まさお</small>				

講義のねらい

医用画像診断分野ではX線画像形成システムをはじめ、CT、MRI、超音波など多様なモダリティが使用されている。これらのシステムの違いは画像形成に使用される「線源」に有る。本講ではこれらの画像形成システムを分解し、各要素の特性と画像形成の仕組の源点を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1.物質とX線
- 2.人体とX線
- 3.X線の検出
- 4.検出信号とノイズ
- 5.検出信号の画像化
- 6.X線以外のモダリティ

履修上の留意点

毎回配布するプリント内容について、討論をし、考え方を深める。欠席をしないように注意して下さい。

成績評価の方法

授業中の発言とレポートにより評価。

教科書

プリント配布。

参考書等

毎回配布するプリントに記載。

その他

ゼミ形式でおこないます。

科目名	放射線被曝管理論	開講	半期	単位	2
配当	放4選				
担当者名	はぶ、たけし 羽生 毅				

講義のねらい

国際放射線防護委員会ICRPによる放射線被曝勧告の基本は、行為の正当化・防護の最適化・個人の線量限度である。対象とする放射線源は“人工的に管理された放射線”であり、自然放射線（近年は対象に含む？）と医療被曝が除外されている。

診療放射線技師の職務は、放射線データ提供による医療寄与のみならず、被曝行為者として患者被曝線量を常に認識することが肝要である。

講義の副題を“見える放射線量”として、患者被曝に関する国際的な資料と検査における具体的な被曝線量を連係させる。

講義の内容・授業スケジュール

国連科学委員会UNSCEAR・ICRP・国際原子力機関IAEAの患者被曝に関する刊行物解説。放射線検査に対比した皮膚入射吸収線量簡易換算NDD法・内部被曝線量MIRD法等のシミュレーションによる患者被曝線量評価。

履修上の留意点

既習の放射線管理学・放射線管理学実験を整理しておくこと。

成績評価の方法

出席状況ならびに定期試験により評価する。

教科書

プリントを配付する。

参考書等

UNSCEAR・ICRP・IAEA等の刊行物

IV 「日本語」・「日本事情」科目

「日本語」
「日本事情」

IV. 「日本語」・「日本事情」科目

(対象：外国人留学生・帰国生)

《日本語科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本語入門I a	放随意	半期	1	大石 真理子	237
日本語入門I b	放随意	半期	1	大石 真理子	237
日本語入門II a	放随意	半期	1	大石 真理子	238
日本語入門II b	放随意	半期	1	大石 真理子	238
日本語I a	放随意	半期	1	佐野 典子	239
日本語I b	放随意	半期	1	佐野 典子	239
日本語I a	放随意	半期	1	多田羅 哲子	239
日本語I b	放随意	半期	1	多田羅 哲子	240
日本語II a	放随意	半期	1	佐野 典子	240
日本語II b	放随意	半期	1	佐野 典子	240
日本語II a	放随意	半期	1	多田羅 哲子	241
日本語II b	放随意	半期	1	多田羅 哲子	241
日本語III a	放随意	半期	1	多田羅 哲子	242
日本語III b	放随意	半期	1	多田羅 哲子	242
日本語III a	放随意	半期	1	湯村 礼子	243
日本語III b	放随意	半期	1	湯村 礼子	243
日本語IV a	放随意	半期	1	石川 守	244
日本語IV b	放随意	半期	1	石川 守	244
日本語IV a	放随意	半期	1	湯村 礼子	245
日本語IV b	放随意	半期	1	湯村 礼子	245
日本語V a	放随意	半期	1	石川 守	246
日本語V b	放随意	半期	1	石川 守	246
日本語V a	放随意	半期	1	多田羅 哲子	247
日本語V b	放随意	半期	1	多田羅 哲子	247
日本語VI a	放随意	半期	1	石川 守	248
日本語VI b	放随意	半期	1	石川 守	248
日本語VI a	放随意	半期	1	多田羅 哲子	249
日本語VI b	放随意	半期	1	多田羅 哲子	249

「日本語」
「日本事情」

《日本事情科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本事情I〔地理〕	放随意	半期	2	高橋 健太郎	250
日本事情II〔自然〕	放随意	半期	2	清水 善和	251
日本事情III〔歴史〕	放随意	半期	2	井上 桂子	252
日本事情IV〔思想〕	放随意	半期	2	菅原 光	253
日本事情V〔社会〕	放随意	半期	2	山田 信行	254
日本事情VI〔政治・法律〕	放随意	半期	2	三竹 直哉	255

日本事情VII〔文学〕	放随意	半期	2	坂口 博規	256
日本事情VIII〔文化・芸術〕	放随意	半期	2	佐藤 美奈子	257
日本事情IX〔経済〕	放随意	半期	2	小杉 修二	258
日本事情X〔経営〕	放随意	半期	2	鈴木 幸毅	259

科目名	日本語入門I a	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	おおいし まりこ 大石 真理子				

講義のねらい ▶ 日本語で短いプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語初級学習者のためのクラス

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語入門I b	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	おおいし まりこ 大石 真理子				

講義のねらい ▶ 日本語で、さまざまな社会問題についてのプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語初級学習者のためのクラス。

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語入門II a	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	大石 真理子 <small>おおいし まりこ</small>				

講義のねらい 日本語で短いプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 日本語中級学習者のためのクラス

成績評価の方法 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語入門II b	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	大石 真理子 <small>おおいし まりこ</small>				

講義のねらい 日本語で、さまざまな社会問題についてプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 日本語初級学習者のためのクラス

成績評価の方法 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語I a	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	佐野 ^{さの のりこ} 典子				

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語I b	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	佐野 ^{さの のりこ} 典子				

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

「日本語
事情」

科目名	日本語I a	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	多田羅 ^{たたら あきこ} 哲子				

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語I b	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子				

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高め・より深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語II a	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	さの のりこ 佐野 典子				

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

「日本語
事情」

科目名	日本語II b	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	さの のりこ 佐野 典子				

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語II a	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子				

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
テープで自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	日本語II b	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子				

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
話し言葉と書き言葉の違いを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・討論を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめることによって論理的に話したり書いたりする練習をする。
テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	日本語III a	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	多田羅 ^{たたら} 哲子 ^{あきこ}				

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。敬語の使い方、くだけた言い方、改まった言い方、この場合どういえば自然かなど、場面や相手や立場などによって適切に使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語III b	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	多田羅 ^{たたら} 哲子 ^{あきこ}				

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・
授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠などについて話し合い、文章にまとめる練習をする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語III a	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>				

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	日本語III b	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>				

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	日本語IV a	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語の基本を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語V・VIの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分を概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語V→VIに引き続いて深くじっくりやっていきます。

履修上の留意点

日本語IVは、日本語Vと日本語VIの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。授業順序は日本語V→日本語VI→日本語IVの順でやっていまして、できれば、日本語Vを取り、次に日本語VIそして最後に日本語IVをとってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

日本語
事情

科目名	日本語IV b	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を作り上げるために日本語IVaに引き続き日本語の基礎文法の最終部分をじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語IVaの続きの部分を行っていきます。日本語の基礎の最終部分から中上級の始めの部分を行っていきます。

履修上の留意点

日本語IVaの続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業態度重視しています。

科目名	日本語IV a	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	湯村 礼子				

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

課題作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	日本語IV b	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	湯村 礼子				

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	日本語Va	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。日本語の基本となる部分、呼称や指示詞などからじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Vは、日本語VIと日本語IVの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。

履修上の留意点

この日本語V→日本語VI→日本語IVの順に進み、全体として日本語の基礎が復習できるように構成されています。この授業をとられる方はこの三つをセットで取ることをおすすめします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

日本語
事情

科目名	日本語Vb	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語 Va に続けて、日本語のしっかりした基礎をつくることを目標にしています。

講義の内容・授業スケジュール

日本語 Va の続きをやっていきます。

履修上の留意点

日本語 Va と同じです。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	日本語V a	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>				

講義のねらい

読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。特に今、話題になっているニュース等について読んだり説明したり意見を述べたりする力をつける。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。期末テストも行う。

教科書

プリント配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語V b	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>				

講義のねらい

読むことを通して日本語の読解力、表現力も高め、時事的問題について読んだり読したり文章で意見を述べたりする力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

各自関心のある内容の記事等を読み、内容を発表する。その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。

成績評価の方法

平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。期末テストも行う。辞書を持ってくること。

科目名	日本語VI a	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語の基礎文法を日本語Vに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語V a、bで行った日本語の後の部分をやっていきます。講義内容は日本語V→日本語VI→日本語IVの順番で構成されています。したがって本授業は日本語の基礎の中間部に当たります。

履修上の留意点

日本語VIは、日本語Vと日本語VIの三つの科目で日本語の基礎文法の復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人は日本語IV、V、VIの三つをとることをお勧めします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

日本語
本事情

科目名	日本語VI b	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語の VIa の続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。

講義の内容・授業スケジュール

日本語 VIa の残りの部分を行っていきます。内容は日本語の基礎文法の間部分後半になります。

履修上の留意点

この授業は、日本語 VIa の次の部分をやっていきます。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	日本語VI a	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>				

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し、感想や意見を述べる。
現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自調べ、確認しながら細部まで理解して読む。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語VI b	開講	半期	単位	1
配当	放随意				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>				

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。
現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても復習し、確認しながら理解していく。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本事情I〔地理〕	開講	半期	単位	2
配当	放随意				
担当者名	高橋 <small>たかはし</small> 健太郎 <small>けんたろう</small>				

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、最初に、日本の地理的特徴や、日本人の文化や生活の地域性について説明する。

その後、受講生2-3人で1つの班を作り、班ごとに、日本の各都道府県の地理的特徴について調べ、授業で発表してもらう。

また、駒澤大学の周辺地域、つまり東京近郊地域の特徴や変容を理解するために、大学の外に出て、見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

頻繁に教場で作成してもらう小レポート、班ごとの発表の内容、学外見学のレポート、および学期末レポートで評価する。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科目名	日本事情II〔自然〕	開講	半期	単位	2
配当	放随意				
担当者名	しみず よしかず 清水 善和				

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1) アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2) 現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3) 自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

第I章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

第II章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の流れ
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

第III章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

第IV章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

第V章 自然保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

日本語
日本事情

成績評価の方法

レポート（2回）と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」（清水執筆）を紹介する。また、それを英語に翻訳した「web版教科書（English version）」も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する（漢字にはできるだけ読みがなをつける）。なお、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著わした「web版教科書（English version）」を用意する。

科目名	日本事情Ⅲ〔歴史〕	開講	半期	単位	2
配当	放随意				
担当者名	井上 桂子 <small>いのうえ けいこ</small>				

講義のねらい

本講義では、19世紀以降の日本と中国大陸の文化、人事交流を中心に、大きな歴史の流れの中で両国の人びとがどのような交流し、相互理解に努力したかを学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 19世紀－鎖国政策の中での日本の他国関係
2. 中国商人の「唐風説書」の役割
3. 江戸幕府貿易船で上海に行った明治維新のキーマン
4. 日米和親条約と中国
5. 明治維新と中国の反応
6. 駐華公使森有礼と清朝の李鴻章の会談から見えてくるもの
7. 清末の改革維新と日本との関係
8. 孫中山と日本
9. 民間交流と日中関係
10. 戦争中中国大陸で反戦活動
11. 日中国交正常化への道のり

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行い、全般的な講義内容を説明します。特別な予習、復習は必要ありません。

成績評価の方法

出席回数と課題レポートで評価します。

教科書

必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

授業のなかで適宜紹介します。

その他

希望があれば、その日の要点を中国語でも話します。また、中国語で発言してもかまいません。

科目名	日本事情Ⅳ〔思想〕	開講	半期	単位	2
配当	放随意				
担当者名	すがわら ひかる 菅原 光				

講義のねらい

近代日本の代表的な思想家を取り上げ、その生い立ちを含めた人物像、並びにその思想内容を紹介し、考察するという形で近代日本思想史を学んでいくことが本講義の目的である。講義では、まずは取り上げる思想家達が活躍していた時期の時代的特点を押さえるところから出発した後、森有礼、福澤諭吉、西周ら、代表的な思想家について学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ、以下の項目に沿って行う。

1. ガイダンス
2. 文明開化とは何か？
3. 森有礼の思想
4. 西周の思想
5. 福澤諭吉の思想
6. 田中正造の思想
7. 武士道
8. 教育思想

履修上の留意点

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席回数と、授業態度、授業の最後に実施する小レポートの評価とを合わせ、総合的に評価する。授業回数のうち8割の出席、小レポートにおいて用紙の8割を埋めることが単位取得の最低条件である。20分以上遅刻した学生、授業態度の悪い学生は、出席としてカウントしないので、注意してほしい。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

科目名	日本事情V〔社会〕	開講	半期	単位	2
配当	放随意				
担当者名	やまだ のぶゆき 山田 信行				

講義のねらい

この講義では、主として第2次世界大戦後に日本社会が経験した社会変動をふまえて、日本社会の現在と将来を展望する。適宜ビデオ教材などを使用し、日本社会の様々な問題を理解しやすいようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

主な内容は、以下の通り。カッコ内の回数は、当該の項目が授業に当てられるおおよその回数。

1. 戦後日本の社会変動（4回）
2. 現代日本の基本的趨勢（4回）
 - （1）情報化
 - （2）少子・高齢化
 - （3）グローバル化
3. 現代日本の社会問題（4回）
 - （1）若年者問題－フリーター、ニート
 - （2）学力低下問題
 - （3）格差問題

履修上の留意点

ほぼ毎回講義の内容に関するメモを配布するので、それをもとにノートを取るようになってほしい。継続的な出席は、講義の理解を促進する。

成績評価の方法

学期末レポートと平常点による。

教科書

なし。

参考書等

適宜指示する。

その他

希望があれば、その日の要点を英語でも話します。また、英語で発言してもかまいません。

科目名	日本事情VI〔政治・法律〕	開講	半期	単位	2
配当	放随意				
担当者名	三竹 ^{みたけ} 直哉 ^{なわや}				

講義のねらい

日本の政治について知り、みんなで意見交換します。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎マイノリティ

履修上の留意点

出席と授業参加を重視します。

成績評価の方法

平常点によります。ただし、出席が少ない人、発言が少ない人などには、期末テストを行う可能性があります。詳細は最初の授業で説明します。

教科書

指定する予定はありません。

その他

I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

科目名	日本事情VII〔文学〕	開講	半期	単位	2
配当	放随意				
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろき</small>				

講義のねらい

本講義は、日本語を母国語としない外国人留学生等を中心に、日本の文学作品を歴史的な流れに立って紹介し、日本の美意識を含めて文化の諸相に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

日本の古代の文学から近代の文学まで、作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれの時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。

- 1、ガイダンス、日本文学のジャンル発生
- 2、古代前期の歌謡
- 3、日本神話・伝説・説話
- 4、古代前期の詩歌
- 5、古代後期の文学とその美意識(1)
- 6、古代後期の文学とその美意識(2)
- 7、中世の文学とその美意識(1)
- 8、中世の文学とその美意識(2)
- 9、近世の文学とその美意識(1)
- 10、近世の文学とその美意識(2)
- 11、近代の文学とその美意識(1)
- 12、近代の文学とその美意識(2)
- 13、日本文学の特質

履修上の留意点

第1回にガイダンスを行い、半期の講義内容を概括するとともに、日本文学に対する受講生の興味・関心を喚起したい。半期の限られた時間の中で日本文学を要約する上で、中心となるのは時代背景の理解と美意識の把握であることを確認したい。なお古典文学の文章は現代語表現と違うので、出来るかぎり現代語に置き換えるか、現代語を添えて紹介する。

成績評価の方法

レポートにより、授業において特に興味・関心を持った内容について受講生自身の所感をまとめてもらう。レポート評価(90%)を中心に、受講姿勢(出席状況・関心の度合等々、10%)を加えて評価する。

教科書

必要に応じて適宜プリントを配布する。

参考書等

授業内で紹介する。

科目名	日本事情VIII〔文化・芸術〕	開講	半期	単位	2
配当	放随意				
担当者名	佐藤 美奈子				

講義のねらい

「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いにきちんと答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」と呼ばれるものが時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからではないでしょうか。よって、本授業では「日本文化」を明らかにすることを目的にはしません。むしろ、近代日本において「日本文化」がどのように捉えられてきたのか、という問いに重点を置くことにします。それによって、「日本文化」を通して「日本人」がどのようにアイデンティティを形成してきたのかを、明らかにしていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、明治中期に影響を持った政教社の国粹主義思想を一つの軸として取り上げます。政府の欧米化主義を批判する中で展開された国粹主義思想は、「日本文化」をどのように捉えたのでしょうか。なぜ、そのような思想的潮流が明治半ばに現れたのでしょうか。こういった国粹主義思想の物の見方は、現代日本にどのような影響を与えているのでしょうか。授業ではまず、こういった問いを考えるために必要な基本的知識（幕末から明治にかけての歴史的・社会的背景）を学びます。その上で、国粹主義思想が何を訴えようとしたのか、それはどのような社会的要請と呼応するものであったのか、その後どのような影響を残したのかを考えていくこととします。

履修上の留意点

授業開始後の入室（遅刻）は、授業の妨げとなるためいっさい認めません。また私語等のマナー違反にも厳しく対処することにします。

成績評価の方法

期末試験、及び授業時に実施される小テストの総合点で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合は原則として点数は与えられません。

教科書

特に指定しません。

参考書等

授業時に適宜、紹介します。

その他

講義形式。授業は基本的に日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

科目名	日本事情IX〔経済〕	開講	半期	単位	2
配当	放随意				
担当者名	小杉 ^{こすぎ} 修二 ^{しゅうじ}				

講義のねらい

日本で学ぶ外国からの留学生の皆さんとともに、主として日本がたどってきた 経済成長というものを理解し、同時に日本語・日本の文化についても理解してもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

経済成長という、経済現象を生物のように扱うこうした用語は何時生まれたのか？はっきりしたことはわかりませんが産業革命以後であることは間違いないでしょう。つまり、産業革命以前は超安定社会、あるいは超停滞社会だったのです。経済の拡大は時にはありますが、ごくたまにおきる事柄でした。継続的に1-2%の経済の拡大が起こるようになったのが産業革命です。これでもそれ以前に比べれば、革命的变化だったのです。

経済成長を測る用語に「経済成長率」というのがあります。例の年・%というやつです。これはお金を借りた時と同じ「複利計算」になります。年利20%でお金を100万円借りれば、4年でいくらになるでしょう。複利計算では（銀行から借りた時と同じです）、207.36万円になります。180万円と答えた人はお金をうっかり借りないほうがいいでしょう。

20%の成長が何年も続くことは考えなくてもいいでしょうが、7%成長が10年続くと元の数の2倍に増える、というのを知っていれば、いかに複利計算がすごいかわかるでしょう。そういう経済成長が今世界のあちこちでおきています。日本の高度経済成長期は年率約10%の成長が19年も続きました。それは19年で終わりましたが、もしそれが100年続いていたら、日本経済の規模は最初の1万3800倍というとんでもない数値になっていたでしょう。

この授業では、経済成長率とは何か、第2次世界大戦後の日本の経済成長は以下に始まったか、経済成長とはどういうことなのか、それはどんな時に起こるのか、その結果はどのようなのか、成熟経済と経済成長、新たな成長の種、経済成長と心、経済成長と地域環境問題、経済成長と地球規模環境問題等について考えます。

日本語 日本事情

履修上の留意点

出席不良は単位があげられません。

成績評価の方法

出席点と試験による。

教科書

特にありません。

参考書等

特にありません。

その他

ビデオを利用した映像とプリントで行う予定。

科目名	日本事情Ⅹ〔経営〕	開講	半期	単位	2
配当	放随意				
担当者名	鈴木 幸毅 <small>すげき こうき</small>				

講義のねらい

日本企業の現状と課題について講義し、併せて環境対応の実際について話します。

履修上の留意点

教科書は使用しませんが、必要に応じて参考書は指定します。
講義に際しては、プリントを多く使います。

成績評価の方法

出席を重視します。プリントを音読してもらいます。1回か2回、簡単な課題レポートを提出してもらいます。以上の総合で評価します。

そ の 他

質問（授業中の）を歓迎します。